「ごみの減量化・資源化意見交換会」について（報告）

平成２９年５月

弘前市環境管理課

目　次

１．開催日時及び場所、出席者数 1

２．開催内容 2

３．主な意見内容（項目別） 2

４．主な意見の割合 3

５．主な意見交換内容（中学校区別） 4

全 中 学 校 区 4

第五中学校区 7

第三中学校区 １４

石川中学校区 ２２

津軽中学校区 ２８

第二中学校区 ４０

船沢中学校区 ５１

新和中学校区 ５５

北辰中学校区 ５７

第一中学校区 ６４

東目屋中学校区 ７２

第四中学校区 ７５

常盤野中学校区 ８２

相馬中学校区 ８３

南 中 学 校 区 ８６

東 中 学 校 区 ９２

１．開催日及び場所、出席者数

No.	実施日	地区区分	会場	時間	男	女	総数
1	H29.1.27 （金）	全中学校区	市民文化交流館 ホール	18:30～20:30 （30分延長）	37	13	50
2	H29.1.28 （土）	第五中学校区①	弘前市総合学習センター 大会議室	14:00～15:30	26	5	31
3	H29.1.28 （土）	第五中学校区②	弘前市総合学習センター 大会議室	18:00～19:30	10	1	11
4	H29.1.29 （日）	第三中学校区①	弘前市第三中学校 体育館	14:00～15:30	21	10	31
5	H29.1.29 （日）	第三中学校区②	弘前市第三中学校 体育館	18:00～19:30	3	2	5
6	H29.2.5 （日）	石川中学校区①	石川小学校 体育館	14:00～15:30	4	2	6
7	H29.2.5 （日）	石川中学校区②	石川小学校 体育館	18:00～19:30	2	0	2
8	H29.2.11 （土）	津軽中学校区①	中央公民館岩木館 大ホール	14:00～15:30	12	2	14
9	H29.2.11 （土）	津軽中学校区②	中央公民館岩木館 大ホール	18:00～19:30	1	3	4
10	H29.2.12 （日）	第二中学校区①	弘前地区環境整備センター 管理棟2階研修室	14:00～15:30	13	3	16
11	H29.2.12 （日）	第二中学校区②	弘前地区環境整備センター 管理棟2階研修室	18:00～19:30	5	2	7
12	H29.2.26 （日）	船沢中学校区①	船沢公民館 第1会議室	14:00～15:30	1	0	1
13	H29.2.26 （日）	船沢中学校区②	船沢公民館 第1会議室	18:00～19:30	0	4	4
14	H29.3.12 （日）	新和中学校区①	新和地区体育文化交流センター 体育室	14:00～15:30	0	0	0
15	H29.3.12 （日）	新和中学校区②	新和地区体育文化交流センター 体育室	18:00～19:30	1	0	1
16	H29.3.18 （土）	北辰中学校区①	北辰学区高杉ふれあいセンター 研修室	14:00～15:30	4	2	6
17	H29.3.18 （土）	北辰中学校区②	北辰学区高杉ふれあいセンター 研修室	18:00～19:30	2	0	2
18	H29.3.19 （日）	第一中学校区①	市民文化交流館 ホール	14:00～15:30	26	8	34
19	H29.3.19 （日）	第一中学校区②	市民文化交流館 ホール	18:00～19:30	4	0	4
20	H29.3.25 （土）	東目屋中学校区①	東目屋ふれあいセンター 研修室	14:00～15:30	7	0	7
21	H29.3.25 （土）	東目屋中学校区②	東目屋ふれあいセンター 研修室	18:00～19:30	1	0	1
22	H29.3.26 （日）	第四中学校区①	市立観光館 多目的ホール	14:00～15:30	11	6	17
23	H29.3.26 （日）	第四中学校区②	市立観光館 多目的ホール	18:00～19:30	4	2	6
24	H29.4.2 （日）	常盤野中学校区①	岩木嶽さわやかホール 和室	14:00～15:30	0	0	0
25	H29.4.2 （日）	常盤野中学校区②	岩木嶽さわやかホール 和室	18:00～19:30	1	1	2
26	H29.4.9 （日）	裾野中学校区①	農村環境改善センター 農事研修室	14:00～15:30	0	0	0
27	H29.4.9 （日）	裾野中学校区②	農村環境改善センター 農事研修室	18:00～19:30	0	0	0
28	H29.4.16 （日）	相馬中学校区①	中央公民館相馬館 研修室	14:00～15:30	1	2	3
29	H29.4.16 （日）	相馬中学校区②	中央公民館相馬館 研修室	18:00～19:30	2	0	2
30	H29.4.22 （土）	南中学校区①	千年交流センター 研修室	14:00～15:30	18	4	22
31	H29.4.22 （土）	南中学校区②	千年交流センター 研修室	18:00～19:30	2	1	3
32	H29.4.23 （日）	東中学校区①	総合学習センター 大会議室	14:00～15:30	8	9	17
33	H29.4.23 （日）	東中学校区②	総合学習センター 大会議室	18:00～19:30	7	1	8
計					234	83	317

２．開催内容（各回共通）

①開会

②あいさつ

③ごみの減量化・資源化にかかる情報提供、意見交換

情　報　提　供：弘前市都市環境部環境管理課

コーディネーター：ひろさき環境パートナーシップ２１

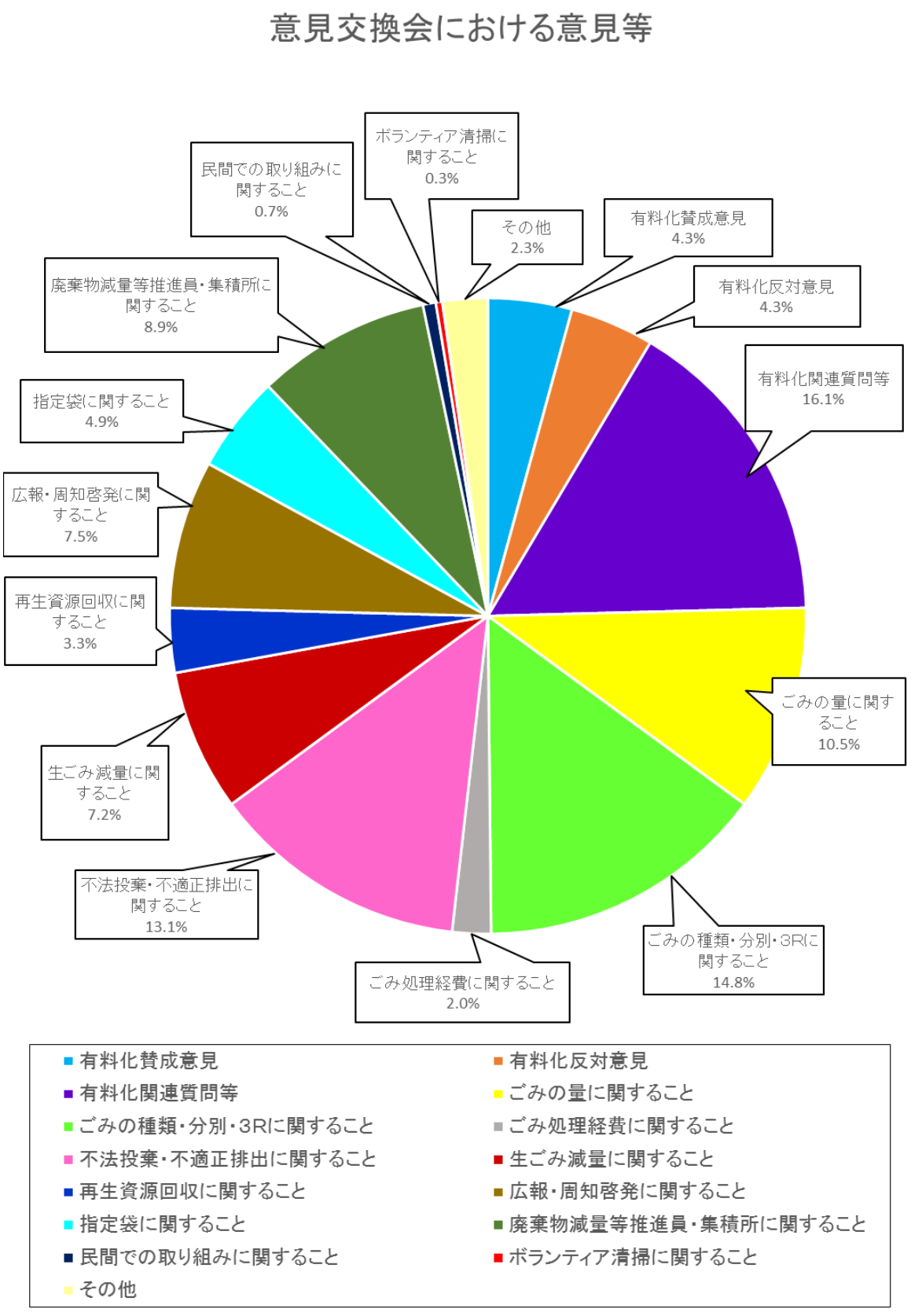
④閉会

※全体で１時間３０分～２時間

３．主な意見内容（項目別）

番号	項　目	件数
①	有料化賛成意見	13
②	有料化反対意見	13
③	有料化関連質問等	49
④	ごみの量に関すること	32
⑤	ごみの種類・分別・3Rに関すること	45
⑥	ごみ処理経費に関すること	6
⑦	不法投棄・不適正排出に関すること	40
⑧	生ごみ減量に関すること	22
⑨	再生資源回収に関すること	10
⑩	広報・周知啓発に関すること	23
⑪	指定袋に関すること	15
⑫	廃棄物減量等推進員・集積所に関すること	27
⑬	民間での取り組みに関すること	2
⑭	ボランティア清掃に関すること	1
⑮	その他	7
	合　計	305

４．主な意見の割合


意見交換会における意見等
ボランティア清掃に関すること 0.3%
民間での取り組みに関すること 0.7%
その他 2.3%
有料化賛成意見 4.3%
廃棄物減量等推進員・集積所に関すること 8.9%
有料化反対意見 4.3%
有料化関連質問等 16.1%
指定袋に関すること 4.9%
広報・周知啓発に関すること 7.5%
再生資源回収に関すること 3.3%
ごみの量に関すること 10.5%
生ごみ減量に関すること 7.2%
不法投棄・不適正排出に関すること 13.1%
ごみの種類・分別・3Rに関すること 14.8%
ごみ処理経費に関すること 2.0%
有料化賛成意見
有料化反対意見
有料化関連質問等
ごみの量に関すること
ごみの種類・分別・3Rに関すること
ごみ処理経費に関すること
不法投棄・不適正排出に関すること
生ごみ減量に関すること
再生資源回収に関すること
広報・周知啓発に関すること
指定袋に関すること
廃棄物減量等推進員・集積所に関すること
民間での取り組みに関すること
ボランティア清掃に関すること
その他

５．主な意見交換内容（中学校区別）

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
全中学校区	平成２８年度の１人１日当たりのごみの排出量は減少する見込みなのか。	確定値ではないが、現状の傾向で推移した場合、平成２８年度の１人１日当たりの家庭系ごみ排出量は７５０グラム程度になると推計しております。
全中学校区	平成２５年度をピークとして家庭系ごみの排出量は減少傾向であると認識してよいか。	認識のとおり、家庭系ごみの排出量は減少傾向にあります。
全中学校区	一般廃棄物処理基本計画における、平成３７年度の家庭系ごみ１人１日あたりの排出量目標値を６７０グラムとしている根拠はなにか。	現在の全国平均値を１０年後に達成できように設定しました。また、中間目標値として、５年後の平成３２年度には９８０グラムを目標としております。
全中学校区	「家庭系ごみ及び事業系ごみともに大型ごみが多い」という記載があるが、具体的に大型ごみとはどのようなものを指すのか。	弘前市では一般的に４５㎝以上のごみを大型ごみとしており、規格の理由はごみ処理施設の破砕設規格が４５㎝となっているためです。
全中学校区	平成２４、２５年度の家庭系ごみ１人１日当たりのごみ排出量が弘前市及び青森県で増えている原因はなにか。	水害ごみが関係していると考えられます。
全中学校区	燃やせるごみの中に資源ごみが含まれているという説明があるが、そもそもこのような調査をどうやって行ったのか。	職員が集積所から１回につき２００キログラムのサンプルを採取しています。それを、計量等の資格を持った事業者に分類を依頼しています。平成２７年度は家庭系ごみ、事業系ごみを７回ずつ実施しております。
全中学校区	「廃棄物減量等推進員の活用推進」とあるが、具体的にどういった事を考えているのか。	他の自治体を参考に活動の手引きを作成し、活動内容を示していきたいと考えております。また、現在の報償費の制度内容についても見直しを進めている段階です。
全中学校区	「現在実施している地区別意見交換会などでの市民の皆様からの意見を踏まえ、市の方針を決定する予定」とあるが、いつまで、どのように方針を	意見交換会については４月下旬までを予定しています。そのため、市の方針は４月下旬以降となります。できるだけ速やかに表明したいと考えております。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	決めるのか。	
全中学校区	町田の清掃工場などに対して見学ツアー等を企画すれば、ごみについて関心を持つ市民も増えると思う。	町田の清掃工場では、構成市町村の小学４年生の社会科見学先にもなっており、町会などからの見学も随時受け付けしております。このような取り組みを周知し、普及させていきたいと考えております。
全中学校区	有料化になった場合、指定された袋に入ったもの以外、収集しないということなのか。	指定袋を導入した先進自治体では、指定袋以外のものは収集しないということで実施しております。
全中学校区	食べキリ運動には反対である。健康上、多く食べられない人や、お酒の席ではあまり料理に手を付けられない人もいるので、お持ち帰り運動を進めてほしい。	１１月より食べキリを推進しているが、「食べきれない料理は仲間で分け合おう」、「それでも食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう」ということで、１人で食べきってもらう趣旨ではないため、ご理解いただきたいと思います。
全中学校区	答申内容に、「不法投棄を誘発するものは対象外」とあるが、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ全てが不法投棄を誘発すると思う。	ボランティア清掃をしたものや、剪定枝などの特に不法投棄を誘発しやすいと思われるものについて、このような表現で審議会から答申を頂いたものです。
全中学校区	有料化した場合、大型駐車場を持っている施設等では、ごみが捨てられたりすることが予想されるが、対応はどうするのか。	有料化の有無に関係なく、監視体制等、取り組みを強化していく必要があると考えております。
全中学校区	実際問題、スーパー等へ不法投棄が起こると、店側は費用が発生してでも回収せざるを得ない。それに対し、行政側が負担するなどの対策は考えているか。	私有地の場合は、管理者がごみを捨てられないように管理するのが原則であり、それに対し、市が全てを負担することは難しいと思われます。市や管理者、市民にとってどのような方法が良いのか模索していく必要があると考えます。
全中学校区	前回に続いて、今回も意見交換会に参加しているが、このような機会があり、非常にうれしく思う。ごみの減量化・資源化を進めていくのは非常に良いと思うが、それがなぜごみの有料化に繋がってしまうのか。市民全体の意識を高めるための努力を１～２年かけても行うべきである。	有料化については、ごみの減量化・資源化を進める上での方策の一つとして検討をしております。今後もこのような機会を設けながら、ごみの減量化・資源化に何が有効なのかを検討していきたいと考えております。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
全中学校区	有料化に賛成です。１年も２年も待っていられない。できるだけ早く、できるだけ高めの金額に設定してもらい、有料化を実施してもらいたいと思う。	未回答
全中学校区	有料化に反対です。消費税の例をとってみると、逆進性があるということで批判の的になっている。まだ消費税の場合は、物を買わなければそれで済むが、ごみというものは必ずしもそうではない。つまり、貧しい人ほどごみ負担が高くなる有料化は反対である。 また、全国市区町村の６３．１％が実施しているとのことだが、逆を言えばその６３．１％以外については、有料化をしていないということである。私は有料化をしなくてもごみ減量化・資源化が非常に進んでいる自治体があると聞いている。そのような自治体に大いに学ぶところはあるのではないか。	お話のとおり有料化している自治体は６割強、弘前市ではごみの袋は指定されていないが、それ以外にも指定袋制を取っている自治体が多く見られる。そのような自治体では、有料化ではなく、手数料収入はないが、袋に排出元を記載する欄を設けるなど対応をしている。それ以外にも、いろいろな事例を調査し、今後もお示ししていきたいと考えています。
全中学校区	目標値の何割かまでは無料で配布する。そういった方法もあるのではないか。つまり、私は有料化そのものに反対ではなく、このままだと反対ということである。もう少しきめ細やかにできるのではないかと思う。	今後の検討材料とさせていただきたいと思います。
全中学校区	ボランティアについて、桜まつり期間などに家の前をきれいにしようということで、独自に行ったものについては、自分たちの購入した袋で出すことになるのか。	今現在も、ボランティアを行う人たちに対しては、デレキの貸与やごみ袋の配布を行っています。仮に有料化になったとしても、申請等をいただければ減免措置というものをとることになると思われます。
全中学校区	まだ有料化が決まっていないということだが、答申を見ると１リットル当たり０．６７～１円ということで、１枚当たり最大４５円、それが３０枚セットとなると１，３５０円。今現行	仮に有料化をするのであれば、有料化についての具体的な実施計画を策定した上で、意見交換会を別途開催したいと考えます。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	のグリーンの袋が２５０円であるため、大幅な値上げになるのかと思う。青森市は１５円程度、八戸市は３０円程度、北海道はもっと高いようだ。そのようなものが具体的になった後、このような意見交換会を行うつもりはあるのか。	
全中学校区	条件付で賛成である。とにかくやるのであれば、だらだらとするのではなく、早めに決めてほしい。結局、皆さん宙ぶらりんの状況になっている。やるならさっさとやって、それでフィードバックを繰り返していけばいいと思う。そして１０年後の目標もあるわけだから、それまでに何回も意見交換会を重ね、その上で、新しい施策を行っていくべきだと思う。	未回答
第五 中学校区	いくら分別をしてもごみの排出量は変わらないので、ごみの減量化にはならないのではないか。	分別している、かん・びん・ペットボトル等の資源物もごみの総量には入ります。 分別をするイコール、ごみが減量するということではありません。ごみの総量としてはカウントされるので、ごみの減量の効果となるものはごみを出さないようにするか、市のカウントとならない民間、スーパーで集めている資源回収に出してもらうとカウントされません。これは全国統一の方法です。
第五 中学校区	基本計画の中での１０年後に減量するという目標の達成は難しいのではないかという懸念がある。数値に出る部分が全然効果がないのであれば取り組みに力が入らないのでないかなと感じる。具体的に資源化はどれくらいを目指すのか、全国的に資源化は何%なのか含めて提示しないと、なんとなく有料化するとごみが減るというような思い込みで進めるのは良く	ご意見いただいたとおり市民の皆さんにリサイクルをすればごみが減ると思われている方が非常に多くいます。国全体で大事なのは３Ｒのうちの発生抑制、ごみを出さないリデュースが一番大事だと進められています。弘前市もリサイクルは再生資源回収運動や、１２分別で非常に積極的に前からご協力いただいて集まっています。ごみの総量が多いということで、今後は発生抑制がごみの減量には大事だということで周

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	ないと思う。	知に取り組んでいきたいと思っています。
第五 中学校区	紙類をごみ箱に捨てることをやめた。全部封筒に入れて１ヶ月に１回リサイクル屋に持っていっている。しかし、今の話を聞くと私のやっていることは意味がないことなのか。	自分で紙屋さんに持ち込んでいただくと市のごみのカウントになりません。一番減量に効果がありますし、紙屋さんに持っていくことで確実にリサイクルに回っている。市のリサイクル率には反映されませんが、状態としてリサイクルになっていますし、市のごみのカウントにならないので、市としては非常に望ましいです。
第五 中学校区	答申が出る前に説明会を開いてもらいたかった。ごみは、３０年前は個人で焼いたりしていたのを地球規模の環境を配慮して、自宅で焼いてはいけないということでやっているはず。ごみの収集・焼却というものは地方自治体の公の仕事で、個人でできないものをやるのが公の仕事である。そのために私たちは税金を支払っている。	今後はこういった機会を増やして現場の声を聞いて進めていきたいです。一般廃棄物の処理責任は市町村にあります。安定的に衛生的に処理するのが市の責任となっています。自治体によって、収集・焼却・最終処分の仕方というのはそれぞれ人口や産業構造や事情にあわせて行っています。経済的にも皆さんの負担にならないように考えています。
第五 中学校区	他の自治体の回収業者が多く、弘前市の業者が少ないからとは考えられないか。回収する業者を増やせばごみが減るのではないか。	民間で紙を集める業者に普段出していただけると、市のカウントにはなりません。 民間事業所にリサイクルの資源物、紙に限らず、例えばかん・びん・ペットボトルとなど回収しているところが増えて、お出ししてもらえればごみの減量に繋がります。 今後は業者ともお話して進めていければと思います。
第五 中学校区	リサイクルできる物も、ごみと言っていますよね。市の考え方に疑問を思っている。分別したら資源ですよ。だから分別したら資源が裕福になる。	分別していただいているものはすべてごみではなくて、資源物としてリサイクルされています。こういったことを多くの方が知らないかもしれないので、広く周知していくことが大事だと思っている。
第五 中学校区	埼玉ではコンポストの補助金があり活用させてもらい、今も利用している。生ごみが重いのでこういうことは必要だと思うので普及させてほしい。	生ごみの減量というのが一番大事で、重量的にも一番多いです。電動生ごみ処理機の貸出事業を行っていますが、今後は補助制度を検討したいと思います。
第五 中学校区	色々やっているのはわかったが、広まっていないのは周知が足りないか	検討材料とさせていただきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	らではないか。それが、総量がワーストのほうにきている原因だと思う。事業系についてはがんばってきているなと良くわかります。引き続きこういう方向でがんばっていかないと減量化・資源化は進まないと思う。それは１年や２年でできるものではないので、１０年ぐらいのスパンでみて計画的にやっていく必要がある。	
第五 中学校区	有料化については賛成です。燃やせるごみの減少化、資源ごみは各町内において何か活動してもらって活用の仕方を考えるしかない。	検討材料とさせていただきたいと思います。
第五 中学校区	弘前市が青森や八戸に比べてなぜ燃えるごみが多いのか理由を知りたい。再生資源回収運動の普及を進めてほしい。	弘前市が他市に比べて多いのは、決められた指定袋が無く、緑色の町会の斡旋袋以外のスーパーの袋や、ダンボールで出しても収集しているということが燃やせるごみが多い要因の一つだと考えています。再生資源回収運動については、町会、ＰＴＡ等にご協力いただいており、報奨金を活用してもらっています。参加団体を増やしたり、集めたものを保管する場所の補助金等を拡大したいと思っています。また、周知の方もしていきたいと思います。
第五 中学校区	将来の話はわかりませんが、スーパーの袋はどう扱えば良いのか。指定袋ができた場合、その中に、袋を捨てて出せば良いのか。指定袋で出さない場合はどうなるのか。	有料化、指定袋はまだ決まったわけではないという前提です。指定袋を導入している自治体では、容器包装は中身が確認できれば袋を指定していません。そういったほうにレジ袋を使ってお出しいただくような自治体もあります。弘前市でどうするかはまだ決まっていないため、皆さんとお話しながら、また決めていくことになると思います。
第五 中学校区	有料化には概ね賛成ですけど、減量化・資源化を徹底的に進めていけば有料化は必要ない。減量化・資源化という概念と有料化という概念は全く別	廃棄物減量等推進審議会の中で全国の状況を見たうえで有料化というのは、ごみの減量化・資源化の方策ではないかという答申になったもので、資料に示させてもらい

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	物で、いきなり有料化は必要だという流れになるからおかしなことになる。概ね賛成だけれども、こういうやり方をされると反対したくなる。減量化・資源化の先に有料化があるというのは無理があると思う。	ました。市の目標値というものはあるんですけど、それに達すれば終わりというものでもないのではないかという審議会でのお話もありました。審議会の中では、一つの方策としてやるべきものであって、そのほかに色々なことを継続してごみの減量化を進めていくべきだと意見がありました。
第五 中学校区	ごみ処理経費の現状で、１人これだけ経費がかかっているということを強調して言わないと、有料化ということに実感がわかない。広報、ＰＲ活動するときには金額が大きな影響を及ぼすと思うので、そこを強調していくのが良いのではないか。有料化した場合、プラスチック主体の回収方法まで検討しているかどうか。	ごみの減量化・資源化を進めていって、弘前市は色々なごみ処理施設を持っていますので、みんなで努力して、次の世代の子供たちに無駄な経費がかかるものを作らないということと、費用のところについても詳しく周知していきたいと思います。プラスチックについては、平成２０年度に分別を止めているような形になっています。プラスチック自体が複雑化し、リサイクルに向かないということもあり、平成２０年当時、約半分は燃やしていました。お金をかけて回収して、二酸化炭素も出すということもありまして、総合的に判断して財政的な面や環境的な面を考えて止めたものです。技術が新しくなり、リサイクルしたほうが良いようになれば情報提供をしていきたいと思います。
第五 中学校区	有料化なった場合、指定のごみ袋以外で出した場合、それは回収されませんよね。その場合集積所に残ったままで、誰が処分すればいいのか。町会で指定袋に入れて出せばいいのか。	有料化に関してはまだ決まってはいないので、一概にどうするとかは言えませんが、一般的に有料化している自治体では、不適正排出というのが問題になっています。現在、他自治体の情報を集めて研究しており、有料化するというときにはまたこういった場を設けて、みなさんの意見を聞いて決めていければと思います。
第五 中学校区	生ごみ処理機の補助率は青森県が約１５％で断トツに低い。次に低いのが北海道で約２９％だった。最高が神奈川県で約９７％だった。有料化有り無し関係なしに早急に補助金制度を	３～４年前にモニター事業ということで、市で電動生ごみ処理機を購入して市民の皆さんに使い勝手を見てもらいました。そして、事業が終わった後に貸出制度というのは行っています。他の自治体のように

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	作るべきだと思います。	電動生ごみ処理機の補助金制度を前向きに考えたいと思います。電動ではないコンポストについては、周知して推進していきたいと思います。
第五 中学校区	仙台市では電動コンポストが２分の１の補助ですが、こういうのを使えばごみが減ると思います。弘前市は出せばなんでも持って行ってくれる。春先であれば、タンスとか家具類がどっさり出ますが、うちの町会は市の補助も受けて、ごみボックスを全部で３５ヵ所ぐらい設置しておりできるだけ溢れない様にしている。２年前に泉野に多目的ホールができました。ごみ減量のために資源ごみの回収を昨年度からやっているけど、置き場としてコミュニティ施設の中にステーションを作ってもらえないかと市民協働政策課のほうにお願いしたのですが、町会で利用するのであれば有料になるとのことであった。そういうことであれば、ごみを減らすために色々考えているのに相反することだと思いますので、できるだけ町会の要望を聞いてもらって何かしら作ってもらえないか。もし、市でお金がないということなのであれば、私の方で１００万なり２００万なり出して施設を作りますので、無料で貸していただけるように何とか環境管理課の方からも説得していただきたいと思います。	環境管理課の立場としては、衣類の回収ボックスも置きたいと相談したことがあります。スペースもなく、狭くて利用者の方が困るとだめなので、遠慮してくださいと言われて置けませんでした。町会がスペースを借りて管理もきちんとやるので、置かせてくださいということに関しては、環境担当としては置かしてもらいたいなと思います。小学校のＰＴＡでやっている再生資源回収運動の置き場を小学校の敷地に提供しているような所もあると聞いています。市全体の施設の使い方になると思います。全庁的に置いていただきたいという方向でお話したいと思います。
第五 中学校区	昨年、諮問があって答申がありました。それが９月だとすると、およそ５ヶ月経っていますけど、当初からこの意見交換会を答申が出た後にやるはずだったのか、突如、答申後、意見交換会で話を聞いてみたいとなったのか。それから、ごみという定義、この	ごみ有料化は全国の自治体でもされております。答申いただいて、それを踏まえて市民の皆さんから意見を聞こうというのは、予め決めていたことです。１１月に意見交換会を開かせていただいて、様々な意見がでました。５回の意見交換だけで判断するのが難しいという結果で全３３回、中学校

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	１１分別に分かれているものが全てごみと解釈していいのか。資源化ということで分別をしてもごみとして出した場合、全体量は変わらないのではないか。その辺の解釈をどのように考えているか。意見交換会をいくらやろうが、答申で出ていた有料化のほうに踏み切るのではないかと懸念がある。そういう懸念を払拭するために私は今もっともっと地域の意見交換会の皆さんの意見を汲み上げて有料化をするよりは、地域の実情、あるいは処理の仕方、もっとやりやすいように汲み上げてほしい。例えば、水キリや食べキリとかもありますけど、話のあったコンポストは、生ごみの処理には絶大な威力を発揮する。それだけみても、全家庭の普及とかアパートの方には無理かもしれないので業者との連携とかの取り組みがあってもいいと思う。	区回って意見を伺いながら総合的に判断したいと至ったものです。有料化についてはこの意見交換会を踏まえての方針決定ということになりますので、これからの意見交換会で色々と意見を聞いていきたいと考えております。容器包装、古紙類というのはリサイクルに回る資源物ということになります。容器包装ごみという表記を、今年度から改めさせて頂きました。分別をしてリサイクルの資源物を多く出せばごみが減るのかというと、そういうことではありません。リサイクル率は上がりますけれども、１人１日当たりのごみの量には、資源物も総量に含まれるというルールで全国統一です。どうすればごみを減らせるかというと、３Ｒのうちの発生抑制が一番大事です。今後も、機会があるごとに市民の皆さんに情報提供をして周知していきたいと思います。コンポストは単純に量が減りますので、その状態で出していただくだけで量が減ります。
第五 中学校区	ごみ処理経費、年間３２億円、市民１人当たり１年間１８，０００円、月にすれば１，５００円位の感じになりますよね。それを日割りすると５０円くらいになります。経費、支出が他の市町村と比べて適正なのか、遥かに経費が高いのか教えていただきたい。事業系ごみですが削減の目標がすごい量になっているが、この事業系が本当に現状からしてこれだけの削減できると見ているのか、あくまで理想なのか。	ごみ処理経費ですが、人口規模や焼却施設を何基持っているか、建設費を返すためにお金が必要なのか、そういう様々な事情が各自治体あります。そういったものをすべて均したときに弘前市が高いかというと、およそ平均ぐらいです。事業系の目標は１０年の長い目標で中間目標、その年の減り具合を見ながらということであります。不可能ではないということで、取り組んでいきたいと考えています。
第五 中学校区	神戸市で燃やすごみ減らそう生活トライアルということで、家庭系ごみの関連施策やっている。神戸市の商店街で地域の通貨、エコポイントを平成１２年度から始めており、他にも小型	検討材料とさせていただきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	家電のリサイクル回収事業とか公民連携でやられて、色んな施策がある。市民のみなさんに各都市でこういうのをやっていますよとお知らせしてほしい。それを市民や事業者がやってみようとか思うかもしれない。	
第五 中学校区	紙は宝の山ということで、周りから集めて貯めております。ただ、よその方にそれを勧めますと、置く場所がないということで、中々協力していただけない。缶もためて学校のＰＴＡの回収の方に出しています。そういう気持ち、関心を持つことが大事だと思う。女性がごみ出しや料理をすることが多いと思うので、女性に関心を持たせるのが大事だと思います。	検討材料とさせていただきたいと思います。
第五 中学校区	単純に役所がお金を取りに来ていると思ってしまう。ごみの不法投棄をよく見かけるので有料化すれば増えるのではないかと思ってしまう。	今でも不法投棄というのはものすごく多く、タイヤ、洗濯機等、市で収集しないようなものが捨てられている。市の収集に出せないので、山に捨てようというのは有料化のお話とは別に非常に多くあります。また、市内の集積所の不適正排出も有料化とは関係なく、今までも問題があります。有料化以前に今からでも不法投棄の対策は強化していきたいと考えています。
第五 中学校区	泉野町会では資源ごみの回収をこれからも勧めていこうと思っていたが、再生資源回収運動では実際の市のごみの減量には繋がらないということで、勧めていけばいいのか悩む。	再生資源回収運動は、その実施団体の活動費として活用していただきたいという趣旨もあります。そして、資源物として回収されたものは、適正にリサイクルされるので、リサイクル率にも貢献しています。燃やせるごみの割合で資源ごみが色々入っておりますので、資源を有効活用する再生資源回収運動というのは欠かせない取り組みだと思います。
第五 中学校区	缶とかトラックで集めに来る人がいる。それはダメだということでごみを持ち帰れば窃盗ですと看板を立て	持ち去りは非常に市民の皆さんからも連絡あります。弘前市内、特に経常的に軽トラックとかで回っているようです。他の自治

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	たが、逆にくれてやればごみのカウントにならないのか。再生資源回収運動も勧めていきたいが置き場所がないのが問題である。私個人として、有料化は賛成です。市としてはお金がかかりますし、近隣の市町村でも有料化はしています。厳しい状況なので答申をいただいて、こういった説明会をしていると思います。平川市は袋に名前を書いたりしている。そこまで徹底するのか。大型ごみについて改ざん防止のシールということで、それを剥がして自分のものに張ったりした場合どうするのかとか、これから踏み込んで考えていったほうがいいのかなと思います。	体だと持ち去り禁止条例で罰則を決めて対応していますが、弘前市は条例もなく罰則もない状態です。実際、持っていってもらったほうが減るのは事実です。例えば、紙もちり紙交換に出した場合、ごみの減量にはなります。ただ、皆さんに、ちり紙交換に出して下さいとなるかというとそうはなりません。持ち去りについては今後、他の自治体を参考に考えていかなければならないなと思っています。大型ごみのシールについては、他の自治体でよくやられているのを参考に答申ということです。これは答申のお話で、市で決まったことは何もないということでご了解願えればと思います。
第三 中学校区	資料２７ページの意図的に減らすものができないものや、不法投棄を誘発するようなものとは何なのでしょうか。	審議会では、例えば紙おむつ等、生理現象に伴って出されるものというのは量も結構出ますし、非常に減らすことが困難だと意見が出されました。また、不法投棄を誘発するものについては、例えば公園等のボランティア清掃で出されたものがあります。街路樹の剪定したものや、落ち葉、草木、こうしたものをそのままにして置きますと、市の美化にも繋がりません。こうしたものに関しては有料ではなくて、無料にして皆さんの協力を促すまたは妨げないような形が良いのでないかと意見が出されました。
第三 中学校区	広報でごみの情報が少ししか載っていないと見逃すこともあるので、もっと大きく見せて目に付くようにしたらどうでしょうか。	広報ひろさきで毎月、ごみ減量速報として平成２７年度から載せさせていただいています。広報ひろさきは月２回発行していますが、様々な市の情報を載せているので、環境部門で毎月大きく掲載スペースを取れないという事情もあります。今後は、例えばごみについて特集した広報誌を発行できればと考えています。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	ごみ処理経費の現状ということで約３２億円という数字がでておりますけど、有料化すればどれくらいの試算になるのか金額を知りたい。	審議会の中で、各世帯どのくらいの負担になるのかという試算をした資料で簡単に計算した金額では、大体年間で手数料として約２億円と考えております。ただ、他の有料化をしている自治体では有料化をするための経費も発生しており、それらを精査したものだと思います。有料化が決まったわけではないので、踏み込んだ計算はしていません。
第三 中学校区	大型ごみで収集車がバリバリ壊して運んで行きますが、焼却だけじゃなくて、安く売る等再利用したらどうでしょうか。衣類の回収ボックスですけど、素晴らしい背広でなければ受け付けないようなニュアンスでした。おじいちゃん、おばあちゃんが着たような服も回収したら良いのではないでしょうか。	例えばリサイクルプラザで月１回程度、展示して引き取ってもらう取り組みを行っている自治体も多く、当市でも検討していきたいと考えています。衣類の回収ボックスですが、下着や靴下は回収できません。それ以外であれば、Ｔシャツ等よっぽどボロボロでない限りは、出せるような形になっており、非常にみなさん活用している状態です。平成２８年度から設置場所を増やしていきたいと考えています。できる限りお住まいの近くに出す場所があるような形を取っていきたいと思っています。
第三 中学校区	他の市町村よりごみが多いと言いますが、どういったごみが多い等分析をきちんとしているのか。その理由付け、根拠を示してほしい。有料化をすればごみが減るみたいな感じになっていますが、市民の協力がもっと必要で、有料化はその後の話だと思う。	１人１日当たりで比べますが、全国では、１人１日４７３グラム、これに対して弘前市が６１０グラム、全国の１．２９倍出しているという状況です。こうしてみると、弘前市は燃やせるごみが全国から見ると多いです。その中で、燃やせるごみが８２％、まだ何も使われていない食品が６．３％、ペットボトルや資源化できる紙が９．３％入っている状況でした。燃やせるごみとして捨てられているごみの中で、資源化できるものは資源化をする。また、使われていない食品もありました。これらを買う際になるべく計画的に買うよう心がけるように取り組みを進めていきたいと思います。生ごみの３キリ運動で重量はもちろん減りますし、買い物の際に心がけをしてもらいたいということで取り組んでいるところです。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	清原町会の一部で場所が確保できない理由で、ごみ集積所が無い。各家庭のご好意により、1ヶ月交代で各家庭の屋敷の中にごみを集積していますが、朝早く出勤して違う町会の人がわざわざ来て置いていく。車のホイール、ワイパー等置いていかれたこともありました。張り紙をして、持ち帰ってくださいと対応している。それが間違ったものなのか、故意なのかわかりませんけれども、市が収集しないものは誰が負担になるのでしょうか。	不法投棄、不適正排出については、有料化に関わらず各町会からご意見いただいております。不法投棄の問題は一番関心があることですので、市民の方々が何を求めているのかを聞いた上で、対策を決めていきたいと思います。他の自治体であれば、町会がすべて処理するのではなく、自治体がどうしても処理できないものについて収集している。自治体として何か協力できることを検討していきたいと思っています。
第三 中学校区	有料化は決まっていないので、試算はしていないということでしたが、逆だと思う。市民に訴えるためにはまず試算ありきだと思う。有料化すれば2億円ほどの収入となるとお話がありましたが、私は意外に思いました。有料化によって、半分くらいは賄えるものだと思っていました。それであれば、市民にそこまで負担をかけないで、違う方法もあると思いますので試算は大事だと思いました。	未回答
第三 中学校区	私たちの町会では、広報も配布していますし、広報を見る方はきちんと分別もしていると確信しています。ですが、この地域はアパートが非常に多いです。恐らく半分以上アパートに住んでいるじゃないかと思います。その方のところには広報はいきません。実際に書き物で配らないと見ることはほとんど無いと思います。アパートの人が出すごみと、一般の町会に加入している人が出すごみを比べたことがありますか。	昨年度1回だけ見たことがあります。プラスチックが多い印象があります。
第三 中学校区	私は大富町のところを回りました。アパートを見たが、分別はほとんどさ	ごみの日程表の関係ですが、町会加入の方に配布ということで、町会長はじめ配付

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	れていません。町会も見ました。70～80％はきちんと分別されていました。アパートの人は分別がされていませんでした。中身はめちゃくちゃです。プラスチックだろうが何でも缶でも入っています。全部とは言いませんけど、要するに何曜日に捨てるのかも知りません。そういうことをきちんとやって、市役所の方で何でもいいからやって、それでも仕方がないとなれば私たちも納得します。やることはまだまだあると思います。有料化の話なんて止めて下さい。もっとやることをやってから、こういう意見交換会をしていただきたい。	させていただいております。配布についてご尽力いただきありがとうございます。アパートや集合住宅に関しては、市内にあります不動産協会等から不動産会社を通して必要量を事前に伺っており、それぞれの不動産会社がアパートに配付してもらうよう対応しています。市内のアパートや集合住宅にはそのような形で配付はされていますが、協会に加入されていないアパートや引越しなどで手元にないということもあると思います。行き渡るように随時配付や、ホームページに掲載、支所や出張所でも配付できるような形を取っております。
第三 中学校区	数年前、近くに住んでいた大学生が何曜日に何を出せばいいのかわからなくて、困っていますというのがあって、カレンダーをコピーしたことがあります。本当に知らないと思います。弘前大学等にご協力をいただいて、ごみ分別の曜日を周知徹底すれば良いと思います。それから、各アパートの大家さんにもぜひその点を徹底してもらうよう、お願いしたらいいのではないでしょうか。	今年度、弘前大学文化祭に周知キャンペーンをやらせていただきました。例えば、新入生のオリエンテーションで、弘前市のごみのルールを周知できるように進めていきたいと思います。
第三 中学校区	ごみ処理のためにお金を使わないような処理の仕方は、工夫されたのでしょうか。例えばコンポストですけど、肥料にするようなことや、切った木をどこかに持っていけば無料で回収してもらえるようなお金の処理の方法を考えてもらいたい。弘前市は市民税や保険料が高い。そして年金は下がりました。お金がかかるものは出して下さいというのはわからなくはない。お金がかからない方法をどれくらい考えていますか。	ごみを減らすことはもちろん必要なことですけど、市民の皆様の負担というのはいくらでもお金をかけてもいいものではないと思います。お金をかけない取り組みということで、まずは周知啓発です。とにかく出向いて行けるところは出向き、市民の方々に色んな情報をお伝えすることが最初だと思っています。お話いただいた、コンポストですが、生ごみを堆肥化して野菜を栽培するという循環が大事です。コンポストについても検討して進めていきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	スーパーでは、新聞とか雑誌とか１ｋｇ１円で集めています。そういうのをどこでやっているのかを啓発活動とかしていただきたい。有料化についても高齢者は厳しくなってきているし、もっと知恵を出して先にやってみるべきではないでしょうか。	広報等で周知していくことが大事だと思います。
第三 中学校区	コンビニ、スーパーからでる弁当の生ごみが 630 万トン程捨てられているとあった。戦時中に生まれたものとして、弁当等捨てられるのを見ると非常に勿体無いと思う。コンビニやスーパーで捨てられるごみが多いので行政指導とかできないものか。	事業系、食品関係、飲食店、コンビニ、スーパーから出る食品のごみは、ものすごい量になっています。食品リサイクル法では定期的に食品廃棄が出る大手のスーパーは、リサイクルすることを義務付けられ、リサイクルは進んでいる状況です。小規模の店舗やスーパーやコンビニは、法律の義務外でしたので、自分たちの意識でリサイクルに回すか、廃棄するか判断しています。展開検査で持ち込まれるごみを開けた結果、手付かずの弁当やおにぎりが含まれている現状があります。スーパー等に働きかけて、取り組んでいこうということで進めています。市内のスーパーによっては消費期限が近づいているので、値引きしますというようなスーパーさんもあります。ご家庭でなるべく食品ロスを出さないようにしてもらえればと思います。
第三 中学校区	ごみの減量化・資源化ということで賛成ですが、手順の進め方が疑問である。ごみの有料化というのは、私は新聞報道で初めて知った。手順としては、まずは広報とかあるのですから周知しながら意見を吸い上げてから、答申をいただくというのが手順だと思います。今回のことは有料化するための意見交換会なのではないかと思ってしまう。	廃棄物減量等推進審議会の中で有料化は検討しなければならないと意見が出ました。その意見を踏まえて、審議会に諮問したものです。有料化ありきということではなく、答申によって話し合う材料ができますので、そこで初めてお話したいということで考えて、意見交換会しているところです。今後は、定期的にこうした場を作っていければと思います。
第三 中学校区	全国の自治体の状況とか出ていますけど、ただ数字的なものだけじゃな	従来であれば、答申のまま市の施策に反映されていくケースが多々あったわけです

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	くて、具体的にこの問題をどうやって解決するのか、やっていくのかを載せないと話のしようがない。そこまで出していただくと意見交換として、どうだとかできると思う。今、資料を貰ってどうですかと言われてもなかなか案が出てこないので、例えば他の自治体でこういう対策をしているとか、その辺まで具体的に出していただくと議論しやすいと思う。	が、今回はご意見を伺って答申どおりで良いのかということを改めて聞こうというものです。意見交換会を開く中で、有料化もですが、ごみの減量についても考える機会というのが与えられると思い、開かせてもらいました。例えば有料化の値段が０．６７円から１円という幅があって、有料化をするのであれば何円でいきたいとかの話になるかと思います。今のところはやるかどうかも決めていないところなので、そこまで踏み込んでいないです。もし、実施するのであれば、実施するための説明会は開きます。その中で、こういう内容でどう思いますかと説明は必要だと思います。
第三 中学校区	テレビで福岡市の夜間収集を見ました。防犯対策にもなりますし、日中であればカラスがごみを散らかしますよね。弘前市で夜間収集はできないのでしょうか。	福岡市は夜間収集に加えて、自分の家の前にごみを出してもらっています。以前、夜間収集を検討したことがあります。夜だとカラスも寝ており、道路も空いていてメリットはあります。福岡市は積雪地ではありませんし、道路も細かくないです。弘前市はできないのかという話になったときに、毎戸収集にすると２０億円以上かかるという試算が出ています。そして、毎戸収集となりますと１日で終わらない可能性もありますし、雪に隠れてしまうことも考えられます。ただし、夜間収集に関しては、道路も空いていて渋滞にもならないので、可能性はあるとは思います。ただ、いつからやるという計画はありません。ご意見として承ります。
第三 中学校区	１年間福岡市に住んでいましたが、非常に便利は便利でした。ただ、夜は誰が出しているのかがわからなくて、不安ということもありました。勝手に知らない人が、アパートの前に出していてもわからないので怖いと思いました。あとはお金が非常にかかるということで、４５リットルごみ袋が１枚４５円で高かった。	ご意見として承ります。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	ごみの収集について、市の条例がどういう形になっていくのか、わからないですか。戸別の世帯で出すのか、どうなっていますか。	収集について具体的な、条例はありません。
第三 中学校区	条例が無いということは、どこに出しても収集するということですか。	条例や法律で決めているものはありませんが、内部の取り決めとして収集をするにあたっては、こういう条件で、例えば分譲住宅であればごみの集積所を作ってください、新築でアパートを作る場合は、アパート専用の集積所を作ってくださいと規則でやっていることはあります。
第三 中学校区	他の自治体をみますと、各世帯から収集するところも沢山あります。有料化になった場合は有料の袋を買うことになりますが、条例がないわけですから、集積所に置かなくても勝手に置けば、市としては収集する義務が発生する。そうすると、ごみが散らばって環境が悪くなる。推進員を増やして対応をとらせるとか、集積所を増やしたりすると良くなるのではないかと思う。	ごみの減量の前にごみの出し方、集め方、ルールというのは整えていくべきだと思います。廃棄物の法律で、市町村が責任を持って各市町村のごみをきちんと清潔に集めること。市民の義務は、市町村のルールに従ってごみを出して清潔を保持することが決められておりますので、法律がないという訳ではないです。自治体によっては、条例で定めて実施しているところもあります。毎戸収集と集積所に出すようなことが混在している状況なので、整理していくことは大事だと思います。
第三 中学校区	有料化になると、金額は別としてお家の前から持っていきませんということはありますか。	指定袋というのは全国のほとんどの自治体でやられています。が、弘前市はやっていません。指定袋以外は収集しませんとなれば、ルールを守っていない場合は不適正排出ということで回収はしません。
第三 中学校区	不法投棄の場合は、それは誰が処理をするのか。	推進員制度の充実や市のパトロールを強化するようなことを有料化とは別に考えていかないといけないと思っております。
第三 中学校区	前の会場で出たような内容を、資料に出してもらえば無駄な質問が減ると思う。	ホームページには１１月に行った意見交換会の内容は載せています。広報は紙面の都合ですぐ載せるというのは難しいので、ラジオでは周知したりしています。すべての市民に届くかというと中々難しいので、周知を強化していきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	ごみの推進員ですが、ごみを綺麗にするとかそういった役割はあるのですか。	推進員制度というのが、１２分別と合わせて制度を作った関係で、実際にこういうことをして下さいという手引きが有りません。新しく推進員になった方も何をやればいいのか、見回りでどこまでやればいいのか、実際にやったことを報告しなくていいのか、問い合わせが来ています。町会によっては２～３人のところや、推進員がいない町会もあり不均衡です。制度が始まり何年も経っており、見直しをしていきたいと考えております。
第三 中学校区	アパートの人や集積所がないような人が、町会の集積所に分別もせず捨てていく。また、大量に捨てられた場合、役員がそれを持ち帰り、少しずつ捨てている。少ない報奨金でがんばっている。まだ町会の人が捨てたのであれば我慢できるが、町会以外の人が捨てていくので悩んでいる。市内であれば毎戸収集しているところもあるが、全市でやれないか。	中心市街地であれば毎戸収集しているところもありますが、それを全市に拡大すると費用も勿論ですが、ごみを収集できるかというと、困難だと思います。他の自治体では有料化ではなく、指定袋を決めて、例えば名前を書いて出してもらっているところもあります。
第三 中学校区	文京地区のことしかわかりませんが、アパートが多く学生も多い町会で、卒業後、要らなくなったものを捨てていくというのが習慣的になっています。その辺は、大学の生協や大家さん等を通して対策が必要だと思う。不法投棄も日常茶飯事という感じで起きており、袋どころではないというのが住民としての意見です。	検討材料とさせていただきたいと思います。
第三 中学校区	ごみ集積所の補助金については、今後も継続するのか。	この制度につきましては大変好評です。予算が付く限り、続けていきたいと思っています。
第三 中学校区	ごみの集積所の場所が千差万別で、役員と色々検討してある程度は謝礼を出してやっているところもある。逆に置き場所を提供してくれる方もい	検討材料とさせていただきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	る。集積所の問題については、みんなの意識が高まっていけばもう少しよくなっていくと思う。お互いに協力していくことは、行政の方からの指導も必要だと思いますし、町会の役員も意識を高める運動をしていくべきだと思う。行政でも周知してもらいたい。	
第三 中学校区	生ごみを堆肥化したい場合はどうしたらよいか。	弘前市では電動の家庭用生ごみ処理機の貸出を行っていますが、補助制度はありません。貸し出しについての周知や、補助制度の検討をしていきたいと考えます。
石川 中学校区	ごみ袋の値段はいくらになるのか。	資料に書かれているのは、答申の手数料の金額で、例えば袋の値段が１５円で手数料が１リットル１円で４５リットルだと１枚６０円になります。
石川 中学校区	リサイクルの助成はどうなっているのか。パソコンの回収について聞きたい。	再生資源回収運動については、学校やＰＴＡ、町会等にお願いしてリサイクルのものを集めてもらっています。まず、回収業者の方から買い取ったお金というのが支払われます。さらにキログラム当たり４円が別に、市から報奨金という形で支払われます。実施していない町会もありますので、今後は協力していただけるように考えていきたいと思います。パソコンの回収については、パソコンと使わなくなった小型家電を宅配業者が自宅に回収に来るという取り組みを去年から始めました。これは周辺の自治体と協働で取り組んでおり、これは、弘前市のごみの量にはカウントされませんし、資源としてもリサイクルされますので、これからも続けていきたいと思います。
石川 中学校区	資料２７ページの有料化の対象をもう少し詳しく説明してもらいたい。	他の自治体で対象になっているものは、赤ちゃんや高齢者が利用している生理的に発生するような紙おむつが多いです。他に答申であったのは、医療用のストーマなど医療に伴って発生する物等を対象外にするのが望ましいと意見が出ました。不法投棄

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		を誘発するものは、例えば落ち葉や剪定枝等、ボランティアから出るごみに関しては有料化の対象外にして、例えば専用の袋を配っているような自治体もあります。有料化になるようなことがあれば、また市民の意見を聞いて、詳しく決めていくことになると思います。
石川 中学校区	有料化になっても変わらないと思うが、今現在でも不法投棄が多い。車のバンパーが捨てられていた。時間が経てば市で回収すると思うが、こういうものがどんどん増えていくのではないか。	不法投棄は有料化とは別に、以前から問題としてあり、例えば山の奥とか、河川等、人目の付かない所に、市で収集しない洗濯機や消火器、車の部品等が捨てられています。市としてはパトロールの強化や、町会の皆さんの協力で分別や処分をしていただいており、パトロールした結果、どうしてもということであれば回収しているところもあります。有料化となればルールを守らない方は、ますますルールを守らないで不法投棄や不適正排出をするのではないかと、意見をいただいています。有料化とは別に強化を考えていかないといけないと思っております。例えば、推進員にお願いしている早朝の見回りを市の職員も立ち会う、不法投棄対策にはカメラを設置、悪質なものについては警察と協力して抑止となるようなことを取り組んでいきたいと考えております。
石川 中学校区	集団回収のお話がありましたが、事業所を訪問しているように、町会に訪問してもっと協力してもらえばいいと思う。スーパーで資源になるトレーとかを回収していますけど、積極的に利用してもらうために、ここで回収しています、ポイントが付きます等、小さなことでもいいので市民に周知してほしい。生ごみについても、堆肥化することが一番の減量になると思う。	再生資源回収運動については、一昨年から出前講座のメニューに追加し説明しています。様々な機会に周知していきたいと考えております。スーパーの店頭回収については、スーパーに持ち込まれたものは、当市のごみの量にはカウントされないので、積極的に持ち込んでもらえれば、収集の効率化にも繋がります。自治体によっては、容器包装等の資源物は行政で回収せず、集団回収やスーパーに持参して下さいとしているところもあります。様々な排出先、選択肢があれば皆さん分別や排出が楽になると思う

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ので周知を強化していきたいと思います。生ごみについては、処理機で処理して頂ければ、減量にも効果があります。水きりや、堆肥化について周知していきたいと思います。また、生ごみの減量には、手付かずの食品や食べきれずに捨てられている食品が多く、家庭で１ヶ月２，０００円から３，０００円程無駄にしています。こうしたところも広報等で周知して食品、生ごみを減らせるようにしていきたいと考えております。
石川 中学校区	コンポストについては、堆肥化しても使う人も少ないだろうし、高齢者も多くなってきており、今時コンポストに力を入れるのは疑問に思う。電動処理機でたい肥化したものを使い道がなくてそのまま捨てるというのも、電気代をかけてまでして捨てるというのも循環としては疑問である。補助を出して終わりではなくて、それよりも堆肥化したものを使えるような仕組みを考える必要がある。	堆肥として使用することは、もちろん根本的なことなので、それが一番望ましいです。堆肥化の仕組み等については県で食品リサイクルを重点に、事業化してモデル地区を作って取り組んでいくようですので、積極的に参加して取り組んでいきたいと考えております。
石川 中学校区	リサイクルしてもごみの減量にはならないとお話がありましたけど、リサイクルした場合はこれくらい処分料の負担が減るような話もしてもらいたい。水きりについての説明がなかった。町会として水きりをがんばっているが減量には効果がないのか。次に、不法投棄について、石川地区は山の中に電化製品が多い。最近捨てられたものは少ないので、古いものを処理するよう市に相談したら、県が担当ですと断られた。一度綺麗にして見せることも大事なのではないか。	集団回収した場合等、広報等できちんと周知していきたいと思います。水きりについては、水を絞るだけで、１０％程の減量になります。３キリ運動の取り組みを周知していきたいと思います。以前から電化製品がそのまま捨ててあることについては、お話のあった通りだと思います。市が何でも回収できるかというと例えば、私有地にあるものを市が回収するというのは原則として難しいというのがあります。県でも場所を決めて回収を行っていますが、官地であれば国や県の管理しているところになります。不法投棄については、これから具体的に検討したいと思います。
石川 中学校区	集団回収で缶等を集めておいたら、業者が缶を持ち去ってしまった。なん	再資源回収運動で集めたものを持ち去ってしまうということで、町会によっては物

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	とかならないか。不法投棄についても、場所によって道路維持課とか環境管理課とか土地改良区とか面倒なのでどうにかならないか。私有地についても、協力して綺麗にしてもらいたい。若しくは、モデルケースとして、綺麗にしてもらって、その後どうなるかみてみれば言いと思う。	置小屋に置いたりしているところもあります。集めたものは、ごみではなくて資源物なので窃盗になります。警察に待ち伏せしてもらえば、捕まえることもできます。同じように、収集日にごみとして出されているものも持ち去られているというお話も聞いております。それに関しては、持ち去ることは禁止という条例が無いので、警察で動くのは難しいです。不法投棄については、検討していきたいと思います。
石川 中学校区	有料化は仕方ないと思う。	未回答
石川 中学校区	有料化は本当にしなければいけないのか。市としては有料化をしないと財政が厳しいのか。有料化をしないといけないのであれば、指定の袋をまずは作ってやればどうか。	有料化についてはまだ、決まっていることは何もないです。有料化を前提で意見交換会を開いている訳でもなく、財政的にということでもありません。もし、有料化するとなればまた、意見を聞きたいと思います。ごみ袋について、当市は指定袋というものがありません。県内で指定袋が無いところは、西目屋村、藤崎町、階上町、弘前市です。他の市町村は袋が決まっており、指定袋で出さない場合は収集していません。そして、それに手数料が上乗せになっている有料化実施市町村は半分あります。当市は現状、推奨袋はありますが、ダンボールやスーパーの袋に入れて出しても収集しています。ごみが出しやすい状況が、ごみが多い原因の一つだと思っています。
石川 中学校区	指定袋を決める等、様々なことも一緒にやれば、有料化はしなくても済むようになるのではないか。	青森市では去年の４月から指定袋を決めたところ減量効果がありました。排出ルールをきちんと決めて分別して出してもらうことで減量は見込めると思います。有料化する前に、指定袋の検討という貴重な意見として参考にさせていただきます。
石川 中学校区	指定袋の使用や、様々なアイディアを出して広報等で周知してほしい。それでも減量されないのであれば納得	周知については、毎月限られた紙面でごみの減量値等載せていますが、ごみに特化した広報を作成し、周知したいと検討して

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	すると思う。資料１４ページの「循環のまち弘前」についてはとてもいいことだと思う。実際にどういう形で取り組んでいくのかを、今すぐにはできないとしても、市民が見通せるようにしてもらいたい。他で聞く話だと、民間で油を集めたり、堆肥化したり、民間の業者で様々やっていると聞きます。弘前でもあればいいと思う。3キリ運動についても知らない人も多いと思う。こうした場で、実際にやってみせたりすることも良いと思う。	います。指定袋についても、まだ決まっている訳ではありませんが検討していきたいと思います。
石川 中学校区	とりあえず今の緑色の推奨袋を指定袋にして、暫定的に１年なりすぐ取り組んでみれば良いと思う。その際は、袋のサイズも何種類か検討してもらいたい。購入先についても手に入れやすいように、スーパーやコンビニ等でも買えるようにしてもらいたい。	検討材料とさせていただきたいと思います。
石川 中学校区	町の人が何でも言って呆れてしまった。ごみも除雪もそこの町会の底力になる。色んな意見を出し合って町会でやらなければならない。みんな自分ががんばらないで、市役所がやれば言いという。自分でやらないのに外部のせいにしている。私は、不適正排出があれば、写真を撮って何班から出ているということで回覧を回している。何かあれば相談して、段々良くなってきている。それは、みんなが監視しているという牽制があってよくなる。地域の人を刺激して力を出させるように、こういう例がありますよという周知が必要である。	未回答
石川 中学校区	ごみの有料化は賛成ですが、石川地区は特に不法投棄が心配である。	不法投棄については、今までの意見交換会でも話が出ており、袋が決まればそれに入れないで、捨てる人が増えるのではない

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		かということで皆さん心配されていました。不法投棄は、以前からあることで、今までは町会やその土地の管理者にお願いしていたが、例えば市で回収して綺麗にして、今後は捨てられないように対策を取るなど、強化していきたいと考えております。
石川 中学校区	燃やせるごみの不法投棄は少ないと思いますが、燃えないごみとかは川とかに捨てられていることが多く、心配である。	市で収集しない冷蔵庫や洗濯機、タイヤ、車の部品等、どこに出せばいいのか困るようなものが山や川に捨てられていることが多いです。確かに、生ごみをわざわざ山に捨てに行くような人はいないと思いますが、道路や他の集積所に、大鰐町や平川市の人が通勤途中に捨てたり、様々なパターンがあります。有料化とは関係なく、すぐに取り組んでいきたいと考えております。
石川 中学校区	山などに捨てられていることよりも、アパートに捨てられていたときに、最終的に町内の人の負担が増えることが心配です。	市内のアパートや町会の集積所、ルールを守らないで出されたものは町会の人が分別をして、次の収集日に出したり、市内全域にご負担をかけているということはあると思います。県内では弘前市を含め４市町村だけ、ごみ袋が決まっていません。ごみ袋が決まっていないので、スーパーの袋や汚くなったダンボールで出しても回収している現状があります。そうなると誰が出した不明であったり、ダンボールで出すと中身が見えない等あるので、ごみ出しのルールの強化をしていきたいと考えております。
石川 中学校区	ごみ袋に名前を書くことには抵抗はある。	名前や町会名を書くことは一例です。現在でも町会で斡旋している緑色のごみ袋には、町会によっては世帯主名を書かせたり、自分の家の番号を割り振りして書いたりしている町会があります。
石川 中学校区	有料化は、時代の流れなのかなと感じていて、消極的な賛成です。意見交換会は意見がある人が来るので、反対の人が目立ちますけど、仕方が無いと思っている人も結構いると思います。	新聞報道等で有料化が決まったのかと市民から問い合わせが多くありましたが、有料化については意見交換会で意見を広く聞いてから方針を決めるということで、今後も意見交換会は続きます。来れなかった人

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	ごみの有料化については、ごみが多いと問題になってから、スピーディーだなと感じます。生活が苦しい方とか、これまで分別がんばってきた人とかは、何かワンクッション置いてもいいと思う。	にも伝えてもらって、参加してもらえればと思います。
石川 中学校区	事業系については様々取り組んでいて、効果が出ているようなので今のままで良いのではないでしょうか。ごみ袋については、私は現在、町会の袋を使用しており、指定袋にするだけで効果は出るのか。	例えば、指定袋にすると今までダンボールやレジ袋等で出していた人が出せなくなります。今まで、きちんとしていなかった人が、半透明で中身が見えるのできちんとやらなければいけないと思ったり、他の自治体では指定袋を決めただけで、多いところでは２割程減ったところもあります。青森市は４～５％程減っていると聞いています。
石川 中学校区	農家でりんごを捨てている人がいるような感じがする。そういったのも何日かすれば回収してくれますよね。回収してくれるので、結局、不適正排出が無くならないということがある。	今後は対策と実態把握に取り組みたいと考えております。
石川 中学校区	計画が長すぎる。すぐに有料化にしてもらいたい。	これは計画の最後の年が１０年後ということで、有料化の決定するのが１０年後ということではありません。１０年間様子を見るということではありません。
津軽 中学校区	旧岩木地区でどれくらいの排出状況なのか知りたい。また、要望として岩木小学校ＰＴＡが団体として登録していて再資源回収運動を実施している。以前は無線を使って呼びかけて実施していたが、現在は無線が使えなくなった。資源回収運動での報奨金等は子供たちのスポーツの活動に利用しており、収入が減ることで親に負担がかかりスポーツができなくなったと聞いたこともある。今日の話とは関係ないかもしれないが、無線での呼びかけは啓発にもなると思うのでお願	岩木地区だけでの１人１日当たりいくらかというのは、現状はまだ把握していません。集計上は旧弘前市、岩木地区、相馬地区で分けており、旧弘前市からみれば岩木地区、相馬地区は多い状況ではあります。今後は、そういった数値も出して町会で説明するときは、情報提供できるようにしたいと思います。無線については、防災安全課で、市内の行政無線を昨年、全地域デジタル化しました。以前まではアナログで岩木庁舎や相馬庁舎から防災無線でアナウンスできましたが、現在はデジタル化により、システムが変わっている部分もあると思いますの

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	いしたいと思う。	で確認します。ただ、各小学校や町会ごとに設置している防災無線それぞれから、別のアナウンスをすることは可能です。そういったことを環境管理課から防災安全課のほうに働きかけることはできますが、防災無線として流せる情報のラインというのを決めていますので、再資源回収運動のことをアナウンスできるのかどうか、今回の意見を踏まえ協議していきたいと思います。
津軽 中学校区	資料１２ページの家庭系、事業系ともに大型ごみが多いということについて、主にどのようなものが多いのか知りたい。	事業系の大型ごみは基本的には鉄やプラスチックが多く、こういったものは産業廃棄物なので入ってきません。木製のタンスや椅子、テーブル等が事業系の大型ごみの分類となります。しかし、本来は対象外の物も分類が分からずに捨てられているということもあります。そのため、本来は産業廃棄物として処理しなければいけないものが、一般廃棄物として捨てられているため、事業系のごみが多いということもあります。
津軽 中学校区	事業者への締め付けをもっと厳しくしないと減らないと思う。分別については、やはり分からないということは行政側の責任もあるかと思います。家庭の方はがんばっているので、事業者の方をもっと厳しくしてほしい。資料２８ページの廃棄物減量等推進員の活用推進についてもう少し詳しく知りたい。	廃棄物減量等推進員については、各町会に大体２名程配置し、年間６，０００円お支払いしています。具体的には町会の分別の啓発等をお願いしており、市内全体では５００名程配置しています。しかし、配置されていない町会もありまして、制度自体も見直しをして、どういった業務をやってもらうのかパンフレット等を作って、活動をしてもらうという根本的なところから検討しています。
津軽 中学校区	推進員について例えば、月５００円でやってもらっているのを、月１，０００円になることはあり得るのか。	金銭面については、私たちだけで決められることでないので何とも言えませんが、もちろん報酬についても議論の対象にはなると思います。
津軽 中学校区	正直な話、月５００円でお願いしても受ける人がいない。先程５００人くらい配置しているということでしたが、推進員がいない町会の割合はどれ	市全体で３００町会あり、そのうち５０町会に配置されておりません。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	くらいか。	
津軽 中学校区	高屋町会では、真面目にがんばっている人がいるが、年間かなりの日数を６，０００円で片付けるというのは疑問である。高屋町会では町会で少し上乗せしてやっているみたいだが、お願いする身としては無理ですよ。残念ですが声をかけても鼻で笑われるような感じである。もう少し何とかならないでしょうか。	料金については検討していきたいと思います。その他にもやりやすい環境や、どうすればやってもらえるのか、金額以外でも何かあればお伺いしたいと思います。
津軽 中学校区	健康づくりサポーターというのは、短命県返上の関係でやらなければならない。ごみについてもそうですが、二人ということであれば、お金のことは財政的なこともあるかと思います。町会長や色んな人を含めＰＲしながら、連携についても追求していってもらいたい。	金銭的なところもですが、そもそも二人でいいのか、具体的にどういったところをお願いするのかも分かっていない町会もありますので、手引きを作ることも含めて検討していきたいと思います。
津軽 中学校区	廃棄物減量等推進員についてですが、推進員の会議等はあるのか。また、ごみのルールが守られていなくて、黄色いシールが貼られ残っているごみを、推進員がきちんと分別をして回収してもらうようなことがあります。出した本人はこれでも回収してくれると思ってしまう。町会によってやり方が違うと思うので、具体的に指導方法を検討し、統一した内容でやってもらいたい。	推進員への情報提供については、辞令交付式で現状等を説明しています。町会によって様々な状況があると思いますので、手引きを作成し、指導等についても検討していきたいと思います。また、推進員が分別をして下さることについて、前の意見交換会であった話では、収集業者がごみに出されたペットボトルの回収で、キャップが付いたものを業者がキャップを外してキャップだけ残して回収しているという話があり、これはやめてほしいと言われました。何故かと言いますと、キャップを付けたままでも大丈夫だと、ごみを出した人が思ってしまうということで、わざと残してほしいということがありました。町会ごとに状況が違うと思いますので、収集業者への指導も含めて検討していきたいと思います。
津軽 中学校区	推進員と一緒に管理をしていますが、分別が不完全で腹が立つというよ	近いところですと、平川市は名前まで付けているか今はわかりませんが、町会名を

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	り情けない感じがします。我々の方では分別が不完全で残されたものは、かごから出して道路の目が付くところに３日くらい置いておきます。生ごみはカラスがいるのでやりませんが、それ以外はしている。そこで、聞いた話だと、場所によっては名前をごみ袋に書いて出しているところもあるそうだが、そういうことは非常に嫌です。こういうことはしたくはないですが、意外と効果はあるのかなと思ってもいる。そういったことの効果とか、調査したことがあれば教えてもらいたい。	書いていないものは集めないとか、青森市も記入したものを集めています。いずれの場合も指定のごみ袋を決定してルール作りをきちんとしています。袋を決めている担当者に聞いたところ、導入時は賛否両論ありますが、一人ひとりの意識付けにより、ごみ出しの分別、マナーも良くなると話は伺っています。今後、検討していくことになるとは思います。
津軽 中学校区	城西団地で名前は書かないけれども、何丁目何番地とか書いて出します。変な出し方をするとお家に持って行って、分別きちんとして下さいと言えますよね。それによって意識も変わると思います。	特に城西町会はそういう取り組みをがんばっています。マンションとかは集積所に出すときに部屋番号を書いて出すとか、都心では名前を書くのはプライバシーの件とかあり、住所の下二桁を書くとか、町会の中で番号を割り振って記入し、町会の人だけがわかるような暗号を書いたりしているところもあります。今はまだ、袋も決まっていない状況ですが、今後ルール等を作る際は、そういった情報提供をしていく必要があると思います。
津軽 中学校区	賀田町会での悩みで、岩木庁舎や中央公民館の近くの集積所に、何も関係ないときに様々なごみを捨てていく。町内会でカメラを付けたらどうかとかあったが、まだそこまでは対策しておらず、どうしたら良いか。	特に被害に遭いやすいのが大通りで、車が多いところが目に付きやすく、通勤途中に捨てられてしまうということが多いです。ある町会ではそういったことが続いたので、通りではなくて一本裏の通りに集積所を設置したら、減ったというお話もありました。そういった事例も今後周知していければと思います。有料化している他自治体の人が、通勤途中に捨てている情報は町会から聞いております。
津軽 中学校区	先程、裏の通りに置いたら減ったという話がありましたが、大通りではな	マナーについては市の周知不足だと感じています。資料の１３ページにあるように、

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	くて公民館の裏です。あまりにもルールを守らない人がいるので、朝６時３０分から８時くらいまでずっと監視しました。そうしたら、見たこともない若いお母さんで間違いなく町会外の人が多分通勤途中に捨てている。夜中の１１～１２時くらいに捨てている人もいる。ここまでマナーが落ちているのかと非常に残念に思っている。袋に名前を書くとか世帯番号を書く等、やらないよりはやった方が良いとは思うが、ルールを守って綺麗な環境を作るにはすごい時間がかかると感じている。有料化になると思っているが、今よりもっと酷くなるのではないかと思っている。まずはマナーの向上から頑張ってもらいたい。	分別が面倒、分別をする必要性を感じない等、周知はしているつもりでしたが、こういった結果になったということで、やはり周知啓発するしかないと感じています。ただ単に広報で周知するのではなく、細かいところを説明するために町会に出向く等、地道な活動が大事だと思います。マナー作りについても強化していきたいと思っています。有料化をしているところの不法投棄については調査をしており、実際に有料化をしているところは、事前に不法投棄の強化をしています。有料化後の不法投棄の件数は、増加はしていない傾向にあります。ただこれは地域の差や、有料化前にパトロールやカメラを設置する等の対策を取っていたからだと思います。また、排出者が特定できた場合は、市で直接その方を呼んで注意しています。そういった情報を掴むことはなかなか難しいことだと思いますが、直接注意しないと止めないと思いますし、町会の人が注意してもトラブルになったりしますので、何かあったら連絡をいただければと思います。
津軽 中学校区	スーパーに行くと買い物にダンボールを斡旋しているところがあり、それを燃えるごみとして出している人も多いと思う。ダンボールに入れてのごみ出しについて何か対策を考えているか。駒越と藤代の間の集積所が燃やせるごみが同じ週で資源ごみが違う。それで、日にちを入れた看板を毎月取り替えている。そのため、日にちを入れた看板を作ってもらえないか。ちょうど藤代地区と境目の集積所で、場所は藤代にあり、お互いに利用している。駒越と藤代で収集日が違えば苦労している。	スーパーでダンボールを配っているので、結果、ダンボールに入れて捨てているということです。レジ袋を有料化してマイバックを利用してもらっているが、持ってきていない人のためにダンボールを出していると思う。結局、袋で持ち帰るより、ダンボールで持ち帰ったほうが、ごみが増えています。そういったことが当たり前になっている現状を、スーパーに働き掛けていくことが必要だと思っています。看板については、市で出しているカレンダーを希望があればラミネート加工して配付しています。集積所によっては、その加工されたカレンダーを集積所に貼っています。同じ集積所に違うナンバーの方が利用しているという

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ことであれば、特殊なケースなので、検討させていただきたいと思います。
津軽 中学校区	事業系のごみについてですが、当然個人もやる義務はあるんですが、事業主もきちんとやるべきなので、そこをきちんと対策してほしい。	検討材料とさせていただきたいと思います。
津軽 中学校区	資料を見ますと大型ごみが多い。衣類についても回収とかやっていると思いますが、他の自治体では、木製の家具を修繕して再利用しているところがあり、衣類についても破けたものとかをシルバー人材センターとかで作り直していたりするが、そういう考えはあるか。	リユースということだと思いますが、ごみを減らす段階としてはリサイクルも必要ですが、リサイクルの前にもっと大事なものがリユースだと思います。審議会でもリユースの取り組みについて意見が出されていまして、八戸市で既にそういったことを実施しており、お話を伺ったりしています。また、リサイクルプラザというのがありますので、プラザとお話を進めていまして、家具等を修繕して再利用できないか検討しているところです。衣類については、今のお話は初めてでしたが、非常に良い取り組みだと思いますので参考とさせていただきます。
津軽 中学校区	有料化した場合、ごみ袋が高くなれば低所得者の方や生活保護者の方が大変なので、そういった人たちへの支援はあるのでしょうか。	有料化については、皆さんからの意見を聞いたうえで、最終的に市で判断するということになります。まだ、有料化の対象とか、減免措置について決まっておらず、仮に有料化をやると決まった場合にはまた、意見交換会を開き、意見を聞いて決めていきたいと思います。
津軽 中学校区	町田市では袋の値段が６７円もする。市でスーパーやコンビニと協定を結んで、トレイやペットボトル等を集めるようにしている。生ごみに関しても、ダンボールコンポストを独自に作って配付している。首都圏ではよく活用されているみたいですけど、そういったスーパーやコンビニを活用する方法を検討してもらいたい。	民間での回収については、その通りだと思います。市内スーパーでも最近始めたと聞いています。本来、市民が頑張っても減らせない容器包装については、生産者が回収すべきではないかと思います。スーパーにはお願いはしておりまして、そういったところを進めていきたいと思います。もうひとつダンボールコンポストについてですが、過去にモニター事業ということで実施していましたが、確かに電動式となります

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		と金額が高くなります。安価で出来るダンボールコンポストは選択肢として良いものだと思います。ただ、予算の関係で、出来ていないところもありますが、有効な施策だと思っています。
津軽 中学校区	減免措置について考えていないということでしたが、おむつを多く使う乳幼児のいる世帯に無料の袋を配付するようなことは必要ではないかと思う。	資料２７ページの内容はあくまで、審議会での答申内容で、市としては決まっておりません。そして有料化の対象の注釈で、意図的に減らすことができないもの等は対象外とあり、生理現象に伴うおむつとかは対象外にするべきとの意見がありました。
津軽 中学校区	ごみの減量として、雑紙、その他の紙をどのように処理していくのか。	その他の紙、雑紙の分け方については、今までの意見交換会にでも分かりづらいと意見がありました。審議会でも意見がありましたので、県内での動向を調査しています。県内１０市だと、当市のようにその他の紙と雑紙に分けているところは、平川市、十和田市でした。それ以外の７市については雑紙ということになっています。例えば、その他の紙で捨てているティッシュの箱や、お菓子の箱は雑紙で出しています。そうなると、現在、その他の紙として捨てている、カップ麺の容器やヨーグルトのふたは「その他」のマークが付いていますが、雑紙として処理できませんので、燃やせるごみとして捨てる必要が出てきます。そういったところを議論している段階です。ただ、市民の立場からすると、雑紙として捨てる方が分かりやすいので、燃やせるごみが減るのではないかと思っています。今後、その他の紙と雑紙については、統一できるかということを技術的な面や収集日程の面で検討しています。
津軽 中学校区	雑紙とその他の紙を統一すると料金は変わってくるのか。	現状では、その他の紙も容器包装も収集委託費は同じです。雑紙だからお金がかからないと思うかもしれませんが、資源物というのは収集運搬費の兼ね合いで赤字にな

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		るか黒字になるかで、有価物若しくは廃棄物になります。ただ、どうしても収集運搬費のほうが高いので、収集運搬費がなくなるということはありません。仮にその他の紙を全部雑紙にしたとしても、収集運搬費はかわらない見込みです。現在、その他の紙は容器包装として引渡しはしておらず、最終的には古紙類として処理しています。経費的な面としてはあまり変わらないとは思いますが、市民の皆さんから見ると分別はしやすくなりますので、資源物は増えるのではないかと思っています。
津軽 中学校区	これまでの内容は市民向けだったと思いますが、これは小学校、中学校、高等学校にも教育として必要ではないか。例えば、学校の生徒がコンビニで買ってきたものを集積所にポイ捨てするのを多く見ている。学校教育が大事だと思う。	そこは当市の弱いところで、取り組みが遅れていると思います。小学３、４年生ではごみの循環ということで、授業で触れるところがあると聞いていますが、それ以上踏み込んだものがありません。当市の現状を知らない子供は沢山いると思いますので、検討していきたいと思います。
津軽 中学校区	プラスチックのごみについては、私も以前分別していた記憶があります。説明では、焼却に回しているという話でしたが、昨日の新聞では、青森市が月２回のプラスチック収集を週１回にするという記事が掲載されていました。そういった市町村では焼却の方に回していないという認識でよろしいのでしょうか。また、個人的な所感として、プラスチックの分別というのは、最初は面倒かと思いますが、次第になれてくるものだと思います。以前、プラスチックについては、燃やした方が安上がりだから燃やせるごみになったとどこかで聞いたことがあるのですが、それだけで燃やせるごみに回したというのであれば疑問です。プラスチックごみを減らせば、リサイクルに回るものが増えて、燃やせるご	平成２０年にプラスチックを燃やせるごみに変更した訳ですが、その理由の一つとしては、収集後に半分程度が燃やせるごみになっていたということが挙げられます。近年、プラスチックの素材も臭いに強い素材や、保温性が優れていたり、何層にもなっており、高度化してきています。素材の違うものを、全て一概にリサイクルすることが技術的にできなかったため、結果、半分程度がリサイクルされずに燃やされていたという事です。更には、収集運搬するための車両にかかる燃料代や地球に与える環境負荷、焼却施設で発電ができるようになったことなどの、お金だけではない、総合的な観点で判断したものです。一方、青森市では、その他プラスチックを分別して、収集していますが、焼却施設での発電能力や、分別収集するにあたっての費用や環境負荷を総合的に判断して、分別を選択していると思われま

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	みが減るということです。	す。どちらの考え方が良いという事ではなく、地区ごとの事情や特性を考えた上での判断になっていると思います。なお、今のお話については、全国的にも考え方が二分されております。
津軽 中学校区	燃やせるごみの中にプラスチックは入っているのか。	プラスチックは現在、燃やせるごみとして収集しているため、燃やせるごみの中に含まれています。分別収集をしているわけではないため、厳密に燃やせるごみのうち、どの程度が可燃ごみなのかということはわかりませんが、ごみの組成分析調査で集積所から収集したごみを一定量実際に仕分けして計量しているため、それを基に推計することはできます。推計を行ったものが、資料「６－２．現状の分析（家庭系ごみ)」です。また、「６－１．現状の分析（家庭系ごみ)」を見ていただければ、当市の燃やせるごみが６１０グラムとなっています。この中にもプラスチックが含まれていることになります。この中のプラスチックの分量を示さないと、プラスチックの分別収集を実施している自治体としていない自治体では不公平ではないかというご指摘かと思いますが、その他のプラスチックについては、このうちの約２０グラムではないかと推計しております。
津軽 中学校区	これまで古紙類や小型家電、衣類などの回収を行ってきているが、それはごみ減量に対して効果があったのでしょうか。	分別の変更そのものは直接ごみの排出量には影響しませんが、リサイクル率向上につながっております。資料「６－１．現状の分析（家庭系ごみ)」の例でお話しますと、ピンクの部分の資源ごみは増加し、黄色部分の燃やせるごみが減少することになります。つまり、ごみ排出量というものには資源物も含めた形で表現することになります。弘前市のごみ排出量はほぼ同様となっております。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
津軽 中学校区	これまでの分別はごみの減量に効果がなかったということですか。	ごみの排出量ということに対しては直接影響しませんが、リサイクル率に寄与するということになります。ごみを減らすためには、例えば、水切りをするとかそういった排出抑制を行う必要があります。
津軽 中学校区	平成２４年度・平成２５年度に増加している要因はどういったものが考えられるのか。	我々が把握している部分として、その２か年については、災害の廃棄物が多かったことが要因の一つとして考えております。
津軽 中学校区	有料化はごみ処理経費を不足する部分に充てるのか。有料化するということになると、現状のごみ排出状況を許容するということにならないでしょうか。要は有料化して収入が入り、それでごみ処理経費が足りるのであれば、結果、現状のごみ排出量でもやっていけることになり、減らすことにならないのではないでしょうか。	まず、審議会の経緯からお話します。現状、分別によるリサイクル推進などの取組が行われていますが、リサイクルの前の排出抑制の部分についても検討していく必要があるのではないかという意見、加えて、排出抑制の動機づけの一施策として有料化を検討してはどうかという意見が出ておりました。なお、弘前市では前計画の中でも、全国的な流れとなっている有料化の検討について記載をしているなど、これまでもごみ有料化を検討事項としていたところで、そのことについて、昨年改めて審議会へ諮問し、審議会の中で議論したところです。その後、審議会からは、有料化がごみ減量化・資源化に有効であること、有料化をする際に必要なおおまかな実施方法について答申をいただいております。したがって、有料化の検討にあたっては、ごみ処理費用が不足しているというようなものがきっかけで議論したわけではなく、あくまでごみ減量化・資源化を進める上での有効な施策として議論しております。なお、有料化の使途については、ごみ減量化・資源化に使ってくださいというご意見もいただいております。
津軽 中学校区	ごみ減量化・資源化ということについてなんですけども、これについてはやはり世代を超えて引き継いでいかなければいけない問題かと思います。ただ、その一方で、ごみというものは	これまで実施した意見交換会やアンケートなどで、過剰包装などが多くてごみを減らしたくても減らせないというお声を多くいただいております。また、近年ではスーパーマーケットなどでトレーや資源物の回収

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	買えばどうしても出るもので、こっちもどうかしてほしいと思います。例えば、スーパーで物を買ったときに、不要な包装などを捨ててくるようなシステムがあればよいのかなと思います。その他、週に２回燃やせるごみの日がありますけども、ごみ袋半分程度で排出する時もあります。有料化した場合には、４５リットルのごみ袋で出してもいっぱいになるまで置いておくわけにいかないので、その点の検討も必要なのかなと思います。	を行っているところが増えております。こういったことについては、市だけの取組だけではなく全国的な取組へつなげていく必要があると思います。そのほか、弘前市の家庭系ごみが多い要因としては、生ごみの排出量が圧倒的に多いということが挙げられますので、その点については、我々も減量化を進めるように訴えかけていく必要があると思います。続いて、指定袋については、まだ方針が決定した訳ではないですが、全国的にも既に有料化を実施している自治体の多くで４５リットル以外の１０リットル、２０リットルなどの小さな袋を作成しておりますので、仮に有料化を実施した場合は、そういった部分についても配慮していく必要があると考えております。
津軽 中学校区	「７－２．当市の課題と要因」というところで、「分別が不十分」という記載がありますが、やはりこの点については、市民全体の認識不足が大きいのかなと思います。個人もそうですが、業者もそうだと思います。その点を進めないとごみの減量化・資源化は進まないのかなと思います。私は、ごみを分けることに抵抗はありません。普段の分別時には、ごみごとに分けて置く場所を設定しています。そんなに場所もとらないし、面倒とは思わないです。その点が重要かなと思います。普段集積所に古紙類などを出しにいっても何もないときがあり、皆さんどうしているのだろうと思うことがあります。最近では、市役所の近くに雑紙などを捨てる小屋を設置していたりしますけど、私の周りではびんや缶などは分別日に出ていることは目にしても、古紙類が出ていることはあまり見ないような状況です。そのために	広報については、昨年、県でテレビコマーシャルを何回も実施するなど、再三、紙の分別が重要だということを周知しておりますが、そういった広報ひろさきを見ない人たちに周知する方法をきめ細やかに検討していく必要があると考えております。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	大事なのは、市民一人ひとりに周知啓発していくことだと思います。今日もこのような形で説明をしていますが、人数が４人しかいない。そうではなく、より多くの市民に浸透できるようなものを考えて欲しいと思います。広報も見ていない人も多いと思うので、そのような人にどう徹底させるかが重要かと思います。そのほか、市役所の中でも進んでいないのではないかと思っています。	
津軽 中学校区	紙類でも、マークの付いた「その他の紙」と、ついていない「雑紙」があると思いますが、例えばお菓子の箱でもマークがついているものもあるし、ついていないものもあります。そういったものの取扱いはどうすればよいのでしょうか。また、表示すること自体は決められているのか。	表示自体については、ルールとして決められております。マークのついているもののみ、「その他の紙」として処理していただいて、ついていないものは「雑紙」として処理していただければと思います。また、「その他の紙」と「雑紙」については、これまでの意見交換会においても、「分別がわかりづらい」、「分別がわかりづらいので結果燃やせるごみに捨てられている」などの意見が多く寄せられております。県内の他市町村では、２つの区分を１つに一本化している自治体も多いです。そのような自治体では、基本的に一本化できるものについて一本化し、できないものについては燃やせるごみとしており、その点についても検討を今後進めていきたいと思います。
津軽 中学校区	資料「９－５．家庭系ごみ６７０グラムへの挑戦」について、８～９月のごみが多くなっていますが、これはやはり生ごみが多いことが関係しているのでしょうか。	ご推察のとおりです。我々の把握している範囲でのお話となってしまいますが、夏については、水気の多いものが多く食べられるとともに、農作物も盛んに取れる時期でもあります。そのため、そういったものを食べた後の残渣が多く排出されるという傾向にあります。また、ここには記載されておりませんが、冬場のごみ排出量は少なくなっております。そのほか、先ほどお話しましたが、国の統計上、分別した資源物についてもごみのカウントに入ってしまうため、ご

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		みの分別だけでは劇的にごみを減量化するというのは難しい状況です。そのため、ごみの減量化のためには、先ほどの意見にもあったような水切りだとか、生ごみの総量自体を減らしていくような取組が今後必要になってくると考えております。
第二 中学校区	弘前市のごみが多いというのは説明の中で解ったが、6ページ４－３ごみ排出量の現状について、人口規模・産業構造類似３７都市との１人１日当たりのごみ排出量比較の説明で、確かに３７都市の中でダントツになっているが、県内3市と比べると青森や八戸と弘前を比べると産業類似都市なのか、弘前市が特別、青森、八戸と産業構造が違うのか説明の補足をお願いしたい。１３ページの当市の課題と要因について、例えば過剰包装や使い捨て商品・容器が多いと分析した内容があるが、これは弘前市に限ったものではないと感じている。確かに、買い物して包装のごみは本当に多いと思うが、そういう意味から言うとこれは一般的なごみの分析で、弘前市に限ったものではなく、弘前市が特別多いのは産業構造の背景があるのではと思っている。	一次産業が活発な農業、りんごが盛んであり、人口規模と産業構造が似ている他の全国の市町村となると実はなかなか無い状況です。そういった中でも、人口１７万ぐらいで人口が下から１０番ぐらいから２５番ぐらいの、ある程度の基準で環境省が集めているデータの中でピックアップしたのが３７都市になっています。その中で比べると１人１日当たりの排出量が一番多かったです。１３ページ、家庭系ごみの課題と要因の中の発生抑制が進まないのが、過剰包装や使い捨て商品・容器が多いということです。市民、事業者の方にアンケートを行った結果という事で、実際、過剰包装とか使い捨て商品・容器が多いのは全国的な話で、弘前市だけ特別これが原因だという事ではないと思います。逆に弘前市の特徴としては、その前の１２ページ、一般廃棄物は家庭系、事業系に分けるが、まず事業系の割合が非常に多く、家庭系、事業系どちらも燃やせるごみの割合が他の自治体に比べて多いという特徴があります。大型ごみも割合として総体的に量が多いといことが当市の特徴として挙げられます。
第二 中学校区	先ほど説明では第一次産業ということで、弘前は日本一のりんごの産地、集積地となると、その分野のごみは一般ごみなのか、家庭ごみなのか、事業所から出すごみなのか。	農家から出るりんごはどうなっているのかということで、例えば農作業で出た枝、りんごくず、少量で農作業に伴ったものであれば、庭で焼いたり、畑の中でりんごを鋤き込みして堆肥にしたりといことでやられている場合もあります。大量に枝等が出た場合は焼却施設に持ち込まれている状況もあります。商品でりんごを加工したもの、加工

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		の途中で出たものなど、産業廃棄物として分類されるようなものは民間の処分業者で処分されている状況になっています。先ほど弘前市が生ごみの量、燃やせるごみの量が多く、事業系も多いという話で、本来、産業廃棄物で処分されるようなものが例えば一般廃棄物として弘前地区環境整備センターに入ってきたり、家庭系ごみの集積所に事業で出たものが混入されるというような状況も考えられます。それについても、去年、一昨年から集積所のごみを集めて、開けて中身を確認したり、持ち込まれたごみを調査したり、現状を調査している状況です。
第二 中学校区	どこも同じようなやり方をしているが、弘前のごみが多い理由が分らない。具体的に、各地でどのような事務の仕方をしているのか。指導してくれれば減らせる。弘前は事業系が多いから、家庭系はそんなに悪くないと話をする人もいる。弘前は包装が多いと書いているが、そんなに変わってない。生ごみでプラスチックの容器(コンポスト)は畑が無い人がやってもどうにもならない。アパートの人なんかは、これを勧めたって全然ダメで、もっと具体的な指導してもらいたい。	意見あったとおり、どうゆう事を取り組んで下さい等、周知は広報にその都度、載せています。浸透しているのかというと、なかなかそうゆう状況ではありません。先ほど説明の中にもありましたが、例えばカルチュアロード、弘前大学文化祭でのイベント、ラジオ等でお話しさせてもらっています。広報も様々な記事を載せないといけないということで、ごみだけというのは難しいです。具体的には３キリ運動ということで、水キリ、食べキリ、使いキリして下さいというような事は取り組んでいます。お話のとおり、特に弘前だからといってこれが多いとかではなくて、全国的に同じようなものが出ていると思います。やはり割合としては、燃やせるごみ、生ごみ、手つかずの食品が多いです。そういった事への取り組みをしてもらいたいということに力を入れていきたいです。家庭でまだ食べられるのに捨てられているもの、賞味期限切れのもの、手つかずのもの等、一般家庭４人世帯で年間６万円程食べられるものを捨てているような状況です。
第二 中学校区	スーパーではダンボールをくれる。結局、ごみを入れて出てくる。その辺	持っていきやすいので、ダンボールを置いて利用していると思います。しかしそれ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	から市で取り組んでいかないと、この数字は変わらない。何かのアクションを起こさない限り、ごみは減らない。ダンボール配布を改善していかないといつまで経っても堂々巡りである。根本から変えないといけない。	はごみに出さないでリサイクルに回してもらえば良いです。市としてはお願いということで、指導していきたいです。燃やせるごみとして出さなければ良いと思います。
第二 中学校区	ダンボールに入れて出すと収集しない。ダンボールとして出すと収集するが、ダンボールにごみを入れて出すと収集されない。	ダンボールについて、明らかにリサイクル出来るようなものは持っていかないが、汚くなってしまったり、濡れてしまったものに生ごみを入れているものは収集している状況です。町会で推奨している緑の袋を使ってくださいとお願いしているが、中身が確認できるスーパーの袋でも収集している現状です。指定袋は、県内４０市町村のうち、指定袋が決まっていない弘前市のような自治体は他に３市町村しかありません。青森市も去年４月から指定袋を決めています。極端な話、肥料の袋、麻袋のようなものでも中によっぽど変なものが入ってなければ収集しています。それだとごみが多くなるという意見はもっともです。他の意見交換会でも指定袋が必要ではないかといった意見も出ています。
第二 中学校区	資料６ページに関連して、家庭系燃やせるごみの割合で生ごみが一番多いとのことだが、ごみの排出量少ない自治体で生ごみが極端に少ない自治体とかあるのか？	燃やせるごみの組成で、生ごみが何パーセントかという詳細分析について弘前市では２７年度から業者に委託して調べています。他の自治体でお金をかけて調べているところはなかなか無い状況です。分析しているところもあると思うが、いずれにしても、燃やせるごみのなかで生ごみの割合は少ないと思います。例えば、堆肥化が進んでいたり、生ごみだけ分別収集してメタンの施設に入れたりしている自治体もあります。燃やせるごみの収集日の他に生ごみの収集日があるところもあります。他の自治体の取り組みを弘前市と比較してお知らせできればと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第二 中学校区	弘前市も生ごみを資源化する検討はあったのか。そういったありとあらゆる検討をしたが、弘前市民の意識レベルが低くて家庭系燃やせるごみの排出量が多いという結論であれば、必ずしも有料化反対ではない。それしか手段がないというのであれば仕方ない。財政が厳しくて有料化している自治体もあると聞いている。弘前市は財政問題ではなく、ごみの減量化、低炭素社会、循環型社会を目指しているなかでの有料化検討であると思う。ディスポーザーはごみ減量化にすばらしく、運搬コストゼロであるが、ディスポーザーは環境負荷が大きくて大変なことになりますと教わったが、調べてみると下水処理場でも問題なかった。環境管理課と下水と担当が違うが、ごみも下水も連携しながらディスポーザーの検討をしてほしい。	ディスポーザーについて、わかる人、わからない人がいるので説明します。台所の排水溝にミキサーの羽のようなものが付いており、生ごみを細かく砕いて下水に流すという仕組みです。県内では十和田市でやっています。弘前市の生ごみが多い状況から生ごみ減量に繋がる可能性の一つとして視察し、参考にさせてもらいました。ただ、ごみではないので、下水処理場の問題になってきます。仮に弘前市でディスポーザーを実施した際、下水道にどのような影響が出るか細かいシュミレーションが必要です。検討は本格的なところまでいっていない状況です。
第二 中学校区	私の地区では９月、１０月になると畑からの生ごみが集積所に増える。こうしたのが、市の負担になっているのかとつくづく思う。広報誌で畑に還元することなど市の指導を徹底してほしい。堆肥化も考えているとあったが、平川市でバイオマス工場の稼働の計画を見た。平川でやれるのに、なぜ弘前でやれないのかと思う。生ごみの量が多いと言うだけでなく、市でどの辺まで検討が進んでいるのかお伺いしたい。	秋口に農業から出たものが多いということで、農家に限らず、市内の事業所等どういった状況で排出されているのか専任の職員を配置して事業所訪問等、現状把握を行っています。時期によっての取扱い等、広報で啓発していきたいと思います。平川市にあるのはおそらく、剪定枝をバイオチップにする工場かなと思います。メタンの方は八戸市が紙ごみ等をメタンにする施設の稼働の話かと思います。平川市の生ごみのメタンの施設の検討というのは把握していません。新潟県長岡市では、生ごみの日というのがあり、収集してメタンの施設に入れてメタンガスで発電しています。長岡は雪国なので冬期間の施設管理も難しいということも聞いたが、メタン、堆肥化もそうだが他自治体では様々な取り組みをやっています。弘前市でどうゆう方法が良いのか、みなさ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		んの意見を参考に考えていきたいと思います。
第二 中学校区	城北町会にごみボックス１４基ほど設置して、会員が４５０世帯ある。現在も不法投棄の実態もある。有料化になると回収されないごみの問題も出てくると思う。そいった管理について町会で検討しないといけないと思うが、仮に有料化になれば、ごみ集積所をやめて４５０世帯の各家庭の玄関前に有料袋でごみを出して収集することは可能か。また業者と検討されているのか。有料化のごみ袋、シールはどこで売るのか。	有料化は決定事項ではありません。意見交換会が４月まで実施予定で、みなさんのご意見を基に市の方針を決めたいと思います。有料化になった場合での話は難しいが、ごみの収集を１件、１件収集している市町村もあります。例えば板柳町は家の前に出して収集しています。当市も検討したが、現在、経費が年間５億円ほどかかっている。収集作業員、車両を多くして、全世帯収集とすると２０数億円かかります。併せて、雪の影響で、道路が狭く入れない、出してもらったごみに雪が被ってしまい探さないといけない、取りこぼしが発生する、屋敷が広い場合は玄関先まで取りにいく作業等で、その日のうちにごみを収集できない可能性があります。市としては集積ボックスの補助を活用して可能な限り集積所に出していただくことで進めたいと考えています。集積ボックスの補助も今後続けていきたいと思います。また、ボックス設置場所が無いところに対し、ネットに代えて折りたたみの収納枠も試験的に取り組んでおり、耐久性、使い勝手を見ながら補助制度を作りたいと考えております。集積所にルールを守らないで、置いていかれるというのは有料化とは関係なく、例えば指定袋で出して下さいとしても守らない人は出るかと思います。今でも、分別もしない、曜日も守らないというのは日常的に行われています。青森市では指定袋を導入した時に、朝、集積所での指導等、地道な取り組みを行っています。全て町会まかせではなく、市も予算をかけて早急に対応していきたいと考えています。
第二 中学校区	経済的にも、ごみ収集はステーションでという話があったが、弘前市内のある町内では、家庭から収集してい	市内中心部で毎戸収集しているところが多く、将来的にはまとめていきたいと考えています。逆に拠点回収しているところが

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	る。今後、ステーション以外の収集は全くダメなのか。	毎戸収集になるということは、無いと思います。毎戸収集のところは３軒、４軒でもいいので、まとめて下さいとお願いしているがなかなか進まない状況です。また、集積ボックスが設けられないのであれば、収納枠も用意して出来るだけ毎戸は少なくして、収集にかかるコストを減らしたいと考えます。
第二 中学校区	ステーションを利用できるのは町会員のみとしている。町会に加入していない人については集積所を利用できないので、市と相談して個別に回収してもらってくださいと指導した場合、回収してもらえるかどうか。	市としては町会に入っていない方に集まっていただき、新たに集積所を作っていただいております。複数世帯で利用するのであれば、一つの集積所として認めて対応しています。
第二 中学校区	資料６ページで宮崎県の都城市が弘前市と同じぐらいのごみの排出量ですが、有料化をしているのは知っていましたが、ごみの量が同じぐらいの理由はわかりますか。次に、資料２８ページの高齢者へのごみ出し支援事業についてですが、どういった内容なのか。また、年金暮らしで大変で、周りも有料化には反対との意見が多い。	有料化をしていても１枚当たりの手数料が少なかったり、金額に差が有り、例えば隣の板柳町も有料化をしていますが、１人当たりの家庭系のごみの量は多いというところもあります。有料化をしていれば少ないのかというと、料金の設定の仕方とかでも変わってきます。都城市の場合は、家庭系と事業系を混ぜた排出量になっていますので、弘前市のように家庭系は少ないが、事業系が多いということも考えられます。３７都市については、調査の方も詳しく調べているところでしたので、分かり次第お知らせしていきたいと思っています。高齢者へのごみ出しの支援事業について他の自治体では、高齢者や障がいのある方で、ごみ出しが大変な人のお家に直接ごみの収集者が伺い、ごみを集めるという取り組みをしています。または、集積所に持っていってあげて、併せて安否確認を行っています。弘前市としても、他の自治体を参考に総合的に検討していきたいと思います。
第二 中学校区	生ごみだけの収集をして、それをリサイクルしているという自治体があ	燃やせるごみの他に、生ごみだけの日を決めて、生ごみ専用の袋に入れて収集して

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	るとネットで見まして、設備にお金もかかっていると思いますが、どうなのでしょうか。	いるところもあります。それを、堆肥化したり、メタン発酵させてガスをとって電力として利用したりする自治体もあります。新潟県の長岡市にメタンガスの施設の視察に行きましたが、長岡市の方では有料化もしていて指定袋も決めており、家庭から出たもの、事業所から出た生ごみもすべて生ごみの日ということで集めており、上手くいっているようでした。お話し合ったように経費の問題については、堆肥化したあとに使う場所がないということで困っている自治体があったりとか、自治体の規模が小さかったりすると、農家の方で全部利用できるとかそういった人口規模とか産業構造に左右されますので、弘前市の今の状況に合った生ごみの資源化、エネルギー化というものを検討していきたいと思います。
第二 中学校区	事業系のごみについてですが、弘前市が３市の中で事業系が確かに多いわけですが、先般ごみの勉強会みたいなものが町会でありまして、ここのセンターに持ち込まれると、全て事業系のごみになるような話だったため、事業系のごみとはどういったものなのか知りたい。	一般廃棄物と産業廃棄物という区分がありまして、事業所から出されるごみのほとんどは産業廃棄物ということで処理をすることになっています。そういったごみは産業廃棄物を処理する民間の業者で処分しています。事業をしている方は責任を持って適正に処理してくださいということになっていますが、なかなか種類がわからないということもあって、本来産業廃棄物として処理しなければいけないものが一般廃棄物として捨てられたりしているのも事業系ごみが多い原因だと思います。あとは、資源物になるダンボールや紙類の混入も多く、リサイクルするところもあるのでそういったところに出すように周知、指導を強化していきたいと思います。
第二 中学校区	ごみの推進員をやっていますが、事業所でダンボールを扱っており、ダンボールとかに入れて家庭の集積所に捨てており、そういったのを推進員の立場として指導してくださいと、市の	町会で管理している集積所に事業所の人が出しているというのは、市内非常に多いです。市内に集積所は沢山有り、捨てられているごみの中からどれが事業所から出されているものなのかというのは判断が難し

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	方では言いますが、非常に感情的でリサイクルのほうに回すような考えはまったく持っていなく、弘前市としては事業系について対応を取るのが遅すぎたのではないかと思う。事業系への対策を頑張らないと減量には繋がらないと思う。	く、収集していたというのが現実です。ただ、例えば明らかに髪が多く入っており、近くに床屋があるとなれば、収集業者から連絡をもらい家庭の集積所に出していませんか、とか対応を取っており、きちんと事業系ごみとして処理してくださいと指導はしています。これは一過性ではなく、市内何千と事業所がありますので、今も１件１件事業所訪問していますけど、遅すぎたなという思いはあります。今後は周知等含め色々検討していきたいと思います。その方がもし家庭系として燃やせるごみの日に出していたとしても、そもそも分別をきちんとしていないので、指導は必要だと思いますし、個人的に恨まれるようなことがあれば大変なので、環境管理課にご連絡いただければ対応したいと思います。
第二 中学校区	家庭系ごみは２７位で事業系を足すとワーストということで、家庭の方を有料化にしようとする。事業系ごみは、ここに搬入されたごみと考えております。産業廃棄物とは違うごみで、前から若干有料でしたよね。前は何キログラムまでは無料でそれを超えた分が有料ということで、２８年４月からは金額が上がったということで、ワースト１の事業系はもう有料化していますよね。それなのに、２７位の家庭系を有料化するのはおかしい。次に、ダンボールとか資源物を回収していると思いますが、これをどうしているのか。資源として利用しているのか。資源物として回収したのに燃やしているのであれば、処理の仕方としておかしいのではないか。活用していないのであれば、活用する方法を模索していく必要がある。	まずは事業系ごみの料金ですが、平成２８年４月から今までの料金から倍になりまして、それまでは１０キログラムごとに５０円、４月から１０キログラムごとに１００円となり、１０キログラムまでは無料でしたが、それも廃止しました。そして事業系ごみにかかる経費のうち半分は、事業者の方が支払っていただく手数料で、残りの半分は税金でということになりました。本来であれば、事業所の人が出したごみは、事業者の人が全て負担していただくということが望ましいです。自治体によっては、すべて事業者に負担をしてもらっているところもあります。事業者に対しては、先程説明した、値上げや事業所訪問により平成２６年からみると２割くらい減ってきている状況です。それでどうしても集計物というのが国の方で発表するのが１年とか２年遅れるので、結果が出たら速やかに報告したいと思います。資源物については、事業所に無料で回収に行って、きちんと資源化するよう

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		なところの紹介をしており、雑誌、雑紙なども１００パーセント資源化されています。今まで容器包装ごみと書かれていましたけど、ごみではないということで容器包装と改めましてリサイクルもしています。どうしても不純物とかリサイクルできないものが混じっていれば除かれますが、容器包装と古紙類として集めたものはリサイクルに回っています。
第二 中学校区	有料化をしていなくて、減量の効果が出ているようなところの情報があれば、教えてほしい。	有料化は袋に手数料を上乗せしていますが、前提として全国の自治体で９割は指定袋というのは決まっています。弘前市は決まっていなく、推奨の袋というのはあります。まずはそこの排出ルールが他の自治体と違います。県内でも西目屋村と藤崎町と階上町と弘前市だけが袋が決まっていない状況です。他の自治体は指定の袋で出すことになっており、それ以外のもので出した場合は回収しないことになっています。そして、袋は決まっていて他にどういうことをしているかというと、分別を増やしてコンテナを置いてそれに分別して入れてもらい、リサイクル率が５０パーセント以上のところもあります。こうしたところは、人口や世帯が少ない自治体です。弘前は東北でもかなり大きい都市で雪国ですけれども、そういったことをできるかといったらなかなか難しいです。
第二 中学校区	青森市で指定袋をやっており、減量の効果がわかればお願いします。	青森市には職員が調査に行きまして、約５パーセント減ったとのことです。ただ、青森市では前から指定の袋はあるみたいで、今回改めて新しい指定袋を作製し、それで市民がごみについて考えるきっかけになったと思います。大きい都市は逆にごみに関してすごいお金を使っています。大きいところはお金があるので毎戸収集にしています。この人が何を出しているかわかるようになれば、ますます分別していくという考

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		え方です。弘前市の場合は、半分毎戸、半分拠点回収ということで、どうしても冬の収集の件とかありまして、弘前市としては拠点回収を増やしていきたいです。それを毎戸にすれば、今の収集が５億円かかっているのが、１０、２０億円となるかもしれません。そうなりますと、経費の３２億円が４０、５０億円となる可能性があるとすれば、それははたしていいのかどうかというのもあります。なので、今１８，０００円くらい負担してもらっているのが２０，０００円とか３０，０００円ぐらい税金をかけてやるべきなのかということになって、それはいかがなものかとなればいくらかでも拠点回収を増やしてごみの経費を少なくしていきたいと考えます。有料化しないで減量をしているところもありますが、そのかわり経費をかけているような面も逆にあります。
第二 中学校区	田舎館村とか指定袋を利用しており、それでないと回収しないというのを徹底している。そういうのを時間はかかるでしょうけど意識は出てくる。意見として、行政と町会や関係団体を繋いで協力体制を整えるのが大事である。	様々やるべきことはやってという考え方もありますし、全国で６割以上の自治体が有料化をしています。県内で指定袋をやっていないのが４自治体しかなく、要は当市がごみが出しやすいということもあれば、まずは指定袋も有効なのかなと思います。そういったことをトータルで考えて結論を出したいと思っています。
第二 中学校区	意見を言えば反対と思われるかもしれませんが、そうは思わないでください。まずは有料化と減量は別に協議しないと市民は今それで困っている。あとはやることが遅すぎる。有料化は時間をかけてやる必要はあると思うが、何でも回収してしまうため分別する必要を感じないとか意見があるわけで、推進員としてダンボールを容器としての排出を注意してもそれを持っていかれると意味がない。指定袋を	当市のごみが多い理由として考えられるのは、３分別だったのが１２分別になり皆さんにご協力していただいて分別は進んできています。資源化物としてリサイクルにされている量は、八戸と比べても決して少なくなく、多いときもあるぐらいです。また、再資源回収運動でＰＴＡや町会の方に協力いただいて資源物リサイクルというのは非常に浸透している状況です。そして、１人１日当たりのごみの量については分別されたものや再資源回収運動で集めていただ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	決めるとか、やることを早くやってだめだったら有料化の賛成もできるので検討をお願いしたい。予算がないといいますけど町づくり１％で予算６，０００万円も出せるんだから何かしら持ってきてどんどん住民の人に訴えていってもらいたい。そして努力をしていって有料化に向かっていけばいいと思う。新聞等で弘前市がワーストだということで、市民としてはイメージダウンがありますが、とりわけ弘前市民が他に比べて劣っているという意識はないと思う。分別が面倒とか意識の低さとかはあるのかもしれないが、過剰包装は弘前市に限ったことではないし、弘前市がごみが多いというのを周知するだけではなくて、同じような規模のところでどういったことをしているのかをもっと教えてほしい。そして、そこと比べて指定袋をやってないよねとか議論ができると思う。農家が多いので有料化になればごみを出さなければ良いということで、野焼きが増えるのではないかと思うが環境にはどうなのかなと。	いたものが含まれています。分別をすればごみが減ると思っていたのであればそれは非常にうまくない状態でした。分別イコールごみの減量ではないので、その辺の周知をしていきたい。なぜ、当市がごみが多いのかというと資源物は勿論リサイクルに回っていますが他に燃やせるごみが多く、生ごみが多い。燃やせるごみの中に資源物が含まれてきており、リサイクル率が低いです。そういった周知と一緒に他の自治体の取組も伝えていく努力をしたい。当市の場合そもそもが遅れている結果、減量に対しては袋も決まっていない、捨てやすい、何でも集めてしまうことを解消し、他の自治体で効果があることをやって色々な取り組みを協力していただけるような形にしたいと思っています。不法投棄や野焼きについても、有料化とは別に今までもあることですし、早急に対応していきたいと思います。
第二 中学校区	水キリをしたらどれくらい減るのか。	１０パーセントくらいです。あとは食べキリも大事で４人家族だと年間６万円くらい捨てられています。賞味期限が過ぎてそのまま捨てられていることが多く、使いキリとか食べキリが非常に大事なので、もっと周知していきたいと思います。
第二 中学校区	弘前市民は有料化をしなくても減量はできると思うので、有料化をしないでぜひ減量をお願いしたいと思う。	焼却場は町田と石川に南部清掃工場というのがありますが、可能性の話として例えば、ごみを減らしていけば焼却場は二つ必要ないということも出てきます。将来的な負担というのを減らしていくためにもみんなで協力していければと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
船沢 中学校区	私の周りでの反応だが、ごみの有料化は困るが、ごみを減らそうと思う人がいないような気がする。みなさんの意識が低いのかもしれない。個人がごみを減らそうという意識を持たないといくら有料化にしてもごみは減らないと思う。個別指導が必要ではないか。	先日、青森市にお伺いしました。今年度から、指定袋を決めてやっています。それだけではなく、集積所に立ってごみの分別の指導をするとか、集積所にポスターを貼って周知啓発するとか、市内を回ってごみの出し方について説明しているそうです。そういった取り組みもあって５％程度ごみが減っているとのことでした。青森市で効果が出ていることから、我々も出向いて地道に意識啓発していくしかないと感じているため、前向きに考えています。
船沢 中学校区	青森市ではごみのステーションが町内毎にあるようで、町会で推進員が一生懸命やっているとのこと。すごく厳しく、あれはダメ、これはダメと言われ、そうすると「うるさいおじさんがいる」と言っているが、そういった考えはいけないと思う。一生懸命やればやるほど、「うるさい」といわれるし、推進員の人も大変だと思う。しかし、厳しく指導しないとごみは減らないと思う。	平成２６年度で５７７人が町会に付いていただいています。実は推進員がいる所もあれば、いない町会もあり、５０町会ほど推進員がいません。そういった町会は、誰も何も指導できていません。そういった理由というのがお話しされたようなことかと思います。推進員の報酬や業務の内容、お話しあった他の地区を回る等も含めて検討したいと思います。推進員については一番地域に密着して活動できるので、大事にしていきたいと思います。
船沢 中学校区	推進員は、大抵、町内の人で決められている。顔見知りで、注意された方も嫌だし、推進員もやりたくないというふうになってしまう。可能かどうかはわからないが、顔見知りじゃない人が良いとか、あるいは大学生の人にアルバイトという形で推進員を担ってもらうとか、そういった意見は私たちが話し合った中で出ている。町内の中で町内の人が注意し合うというのは、嫌だ、やりたくないという人が結構いると聞いている。どうにかして、推進員という制度をうまく動かす方法を考えたほうが良い。	町会の環境美化の役割を持ち、ほぼボランティアです。報酬も安く、上げたいと要望しているが予算がつかず、大変申し訳なく思います。推進員の報酬が年６，０００円、月５００円ということで、大学生がやるかといえば、そうはならないと思います。また、町会の環境美化を役割として、町会の人にほぼボランティアでやっていただいているので、他の町会となるとますますやらないと思います。自分の町会は自分たちで綺麗にしましょうという気持ちでやっていただいています。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
船沢 中学校区	石川地区では、自分たちのところは自分たちで綺麗にするといった意識が高く、やはり環境美化という役割を充実してほしい、意識を持ってほしいといった働きかけが必要かと思う。	毎年３月に推進員を全員集めて説明会を行っています。
船沢 中学校区	町内の環境美化の役員がどうしたら綺麗にしていけるか、ごみを減らしていけるかを推進員含め町内みんなで考えることが必要である。	町会で環境衛生委員会もあり、こちらでも対応していますが、やはり町会の意識が大事です。
船沢 中学校区	プラスチック類の分別回収の中に、リサイクルされないプラスチック類もあったとしているが、これは容器包装リサイクル法で分別回収している訳で、国ではリサイクルできないプラスチックを把握したまま推し進めているのか。青森でも２、３年前から新たにその他プラスチックを分別回収している。青森ではどうして新たに取り組むようになったのか。弘前は止めたのに新たに始めている所も出てきているのはどうゆうことなのか。	国のリサイクル協会でも、全部が全部プラスチックになっている訳ではありません。プラスチックの原料として例えば作業服になる場合もあれば、サーマルリサイクルとして回収している場合もあります。また、コークスというセメントの材料を作る際の原料として使う場合もあります。国としても、そのまま物にするのではなく、複合化してリサイクルしています。弘前では分別収集によってリサイクル協会に渡していたが、焼却施設での発電や収集運搬費用、環境負荷を考え、止めるに至った経緯があります。全国的にも同じ考えで止めているところもあります。青森市の場合は、新しく焼却施設が出来たが恐らく収集量が多く、全て焼却できない状況です。余った分は委託して黒石で焼却しています。そうすると委託費が多くかかってしまいます。そこで、まずは自前の焼却施設のみで賄えるように燃やせるごみを減らしましょうということで、プラスチックはリサイクルに回し、燃やせるごみを減らしています。焼却施設の処理能力がもっとあれば、そのままでよかったかもしれません。また、リサイクル率に貢献するので始めたということもあるかと思います。容器包装リサイクル協会に渡すことでリサイクル率に反映されるが、一方では単純にパーセンテージが上がればいいのかといった疑問もあります。リサイクル率

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		を上げるためには収集費も処理費もかかります。当市の場合は収集費もかからず、熱回収を行っているが、リサイクル率には換算されません。同じサーマルリサイクルでもリサイクル率に換算される、されないということもあり、自治体によって違います。当市の場合はリサイクル率に拘らず、きちんとリサイクルされていることと、費用がかからない方法をとったものです。
船沢 中学校区	資料１２ページの家庭系及び事業系ともに大型ごみが多いのは何故か。	なぜ大型ごみが多いかは解明できていないところがあります。家庭系については、当市の場合は大型ごみとなる寸法が４５㎝以上ということで、寸法が小さいことも一つの要因かと思われます。また一般の家庭の人が、集積所に置けなかったに大型ごみを環境整備センターに搬入すると事業系ごみとしてカウントされていました。そういったところも事業系大型ごみが多い要因となっています。しかし、そもそも大型ごみが多い訳で、その理由は分かっていません。また、家庭系の集積所に事業系の大型ごみが出されていることもあります。周辺の平川市、黒石市は有料化しているが、当市が大型ごみの有料化をしていないということもあります。周辺の市町村から当市に大型ごみが持ち込まれているとの情報もあり、これも一つの要因かと思います。燃やせるごみは集積所から持ってきて調査分析しているが、来年度以降は大型ごみについても分析したいと思います。
船沢 中学校区	前に三沢市、おいらせ町に住んでいたが１０年以上前から有料化のごみ袋があった。町名と氏名を書かないと収集しない。近くに退職された方がおり、熱心に見張っていた。それぐらい厳しくしても良いと思う。今は集合住宅にいるが、２、３日前から出している。ごみはみんなの問題で弘前はさく	ルール作りだと思うが、意見交換会でも指定袋の話も出ています。有料化と指定袋は制度が異なり、指定袋はあくまで袋を決めるだけだが１枚１０円、１５円とかかります。有料化は更に手数料を上乗せして販売する。黒石市では１枚６０円、大鰐町では４５円と指定袋よりは高くなります。それが動機付けとなって、ごみを減らしましょ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	らが綺麗だといって来るが、ごみがあってがっかりする。公園の中のごみ集積箱もいらいと思う。全国あちこちでもごみゼロ運動というのもある。ごみは自分で持って帰るというぐらい強く言ってもいいと思う。カラスや毎戸で出しているのも見苦しい。全市民がちゃんとやらないと無くならないと思う。	うというものです。ルール作りは必要と感じています。強く言っても良いという意見も参考とさせていただきます。公園のごみについては、他自治体では持ち帰り頂くといったところもあります。１年間の当市のごみの総量からするとわずかではあるが、街づくりといった観点から意識啓発ということに市全体で考えていかなければと思います。
船沢 中学校区	資料６ページの弘前市のごみが一番多いというのを見ると本当に傷つく。同じ人口規模のなかでなぜ、弘前が多いのか。私が知っている市町村の範囲で、例えば同じような農村地帯でも１，０００グラム程度である。	当市のごみが一番多い理由として、意見交換会でも過剰包装が多いのではという話があります。プラスチック等が袋に入れる時に嵩張るので、市民のみなさんの意識感覚としては分かります。しかし、ごみの量というのは重さで測っており、重さの単位で測った場合、なにが原因かというと生ごみが非常に多いです。他の市町村では４０％程度のものが弘前では５０％近いときもあります。意見交換の場でもりんごの産地だから多いのではとご指摘頂くが、全国的にもみかんの産地もぶどうの産地もある訳であまり関係がないのかと思います。過去２年間の組成分析調査で、当市は食品ロスや余分に物を買っていることが多いと感じています。
船沢 中学校区	去年、今年の広報に出ている減り方を見ていると、だいぶ減っていると思う。	資料は２６年度のデータだが、２７年度データが３月に国から公表されます。広報を見ていただいているとおり、減ってきているのもみなさんご存知かと思います。ただ、全国的な傾向としてごみが減ってきているので、極端に弘前の成績が良いわけではありません。
船沢 中学校区	８月の生ごみが多く、水分も多い。季節限定で生ごみを堆肥化することは弘前で可能か。なにをやれば良いか。	やるとすれば、水きりが良いです。堆肥化もひとつの手段であり、他自治体でもやっているが堆肥を誰が使うかということで非常に悩まれています。そのままごみになるようであれば本末転倒であるため、リサイ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		クルよりもごみを減らす水きりからスタートした方が良いと思います。生ごみが多い時期に水きり強化ということも必要です。
新和 中学校区	家の車庫も燃やせるごみ以外の缶、ビン、雑紙で山になっている。新和小学校管内は新聞、雑誌、ビン、缶等資源回収をやっており、リサイクルに協力しているという気持ちもある。しかし、他市町村に比べると排出量が多い。普通の生活でごみを減らしても限度があるが、そのレベルはどこか。それに比べて、弘前市の排出量は多いのか。	資料８ページ、家庭系ごみの分析によると、資源ごみ、集団回収の数値をみると、他市に比べ当市の資源物が特に多い訳ではありません。ただ、燃やせるごみが全国の１．２９倍と青森市、八戸市に比べても多いです。燃やせるごみ６１０グラムの組成を９ページに記載しています。燃やせるごみの８２％は適正に排出されたものであるが、中には未使用食品が６．３％、古紙類が９．３％含まれていました。これらを分別してリサイクルするのは、もちろんです。しかし、集計上、資源物も含め一人一日当たりの排出量を出しています。集団資源回収もごみの排出量に含まれます。燃やせるごみに含まれる、未使用食品６．３％と古紙類９．３％を分別したからといって、当市のごみが少なくなるということではないが、リサイクル率が上がることについては有効です。ただ、それだけではごみの量は減らないので、燃やせるごみの８２％の部分を減らしましょうとしています。何をするかというと、水きりをして水分をなくすると重さも無くなります。また、それ以上に、ライフスタイルを見直し、不必要なものは買わないなどの排出抑制の取り組みをしていかなければいけないと思います。
新和 中学校区	資料を見ると青森、八戸、弘前を比べると弘前が全体の排出量が一番多い。しかし、弘前はいろんなごみの資源回収をやっているので、かなりリサイクルされているものだと思っている。	リサイクルは結構されており、量は多いです。ただ、説明したとおり、燃やせるごみの量があまりにも多いです。食べ残しや生ごみの水切りをしていない可能性があります。青森、八戸、弘前を比べて、制度的に何が違うかというと、八戸市では１０年以上前から有料化を実施しています。青森市は今年度から指定袋となり、指定袋以外は収集しません。そういった当市と違う影響が

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		排出量に関係していると分析できます。
新和 中学校区	仮に有料化しても、ごみ排出量そのものを減らす努力をしないと、ごみの量は減らない。	ごみになるような物を買わないといった意識を変えていかないとごみは減っていかないと思います。意識を変えていくには、どうしたら良いかといことも含め、みなさんから意見頂いています。
新和 中学校区	お金はかかると思うが、大々的なキャンペーンをやってはどうか。そもそも、行政がごみの減量化に取り組んでいる事自体、市民がどれだけ知っているか。それほど多くないと思う。	新聞等でごみの有料化が取上げられるようになり、また、市民に対し意見交換会も実施したのはここ１、２年の話で、ようやく取り組み始めたといっても過言ではありません。今まで、市としては減量を伝えてきたが、それが市民に伝わっていませんでした。広報にごみの量を載せ始めたのも去年の話です。去年の秋にカルチュアロードでキャンペーンをやった際のアンケートによると、約７００人から回答いただき、弘前市が県内で１番ごみが多いという事を知っていた割合が４割、知らなかった割合が６割でした。まだまだ、周知が不足していると思います。
新和 中学校区	幸いなことに、ごみの集積所に出して置きさえすれば、全部収集してくれるので何も不都合なく処分出来ていた。それだけ処理経費がかかっている。そういった現状を市民にお知らせし、減量に取り組みましょうという意識づけを行ってほしい。広報誌にごみの排出量を載せているが、どれぐらいの市民が認識しているか。広報誌を読んでいると思うが、集積所に持っていくと何も不都合なく処分してもらえる現状があるから、読み過ごしていると思う。	４月以降、広報誌の他にごみに特化した広報誌を年数回出そうと思っています。意見交換会の中でも、弘前市のごみの現状が分らないので広報誌に載せてほしいといった意見もあります。ただ、広報誌に掲載するスペースが無いので、ごみだけの広報誌を配ることで市民にお知らせしていきたいと思います。
新和 中学校区	年一回、１１月の下旬か１２月上旬に新和地区の公民館まつりが体育文化交流センター体育館で行っているので、良い機会だと思う。ご婦人方の	参考にさせていただきます。公民館まつりで、衣類回収ボックス、小型家電回収ボックスを使用するもの良いかと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	工作、小学生の絵、習字、安全協会の事故の写真パネル展示等がある。また、人も結構集まる。２日間あるので、そういった機会に一緒にやるのはどうか。子どもたちも来るし、親も来る。	
北辰 中学校区	農村部では田畑に行く途中で、よその区域にポイ捨てする。誰かが整理しなければならない問題が発生する。有料化にしたからといって不法投棄や得体のしれないごみが無くなる訳ではない。町会ではごみの推進員が整理して、適正に排出している。有料化によって、この問題は解消されるのか。	以前から他地区の人が通勤途中で投棄したり、同じ町会でも分別区分、収集日を守らなかったり、集積所以外へ不法投棄したりといった事は今までも問題になっています。実態として市内全域でも多く、推進員のみなさんにも非常にご苦労いただいている状況です。市が収集しない物が出された場合、基本的には集積所の管理者が処分することになっています。集積所に置きっぱなしになっていることについては、１か月～２か月様子を見た後、最終的に市が回収している状況です。市がすぐに収集してしまうと、全て市が収集しなければならなくなる懸念もあります。市指導員が市内集積所６，０００か所のパトロールを行っている状況です。有料化とは別に不適正排出、不法投棄への対策は推進員制度の見直しや、パトロールの強化が必要です。他自治体では市の職員が集積所での指導、監視カメラの設置などの取り組みを行っているところもあり、今以上に対策を強化していかなければなりません。
北辰 中学校区	分別して再度排出するまで面倒を見るまでは理解できるが、有料化になった場合は誰が負担するのか。推進員が自分で袋を購入するのか、または町会が負担するのか。お金まで負担させるのは考えられない。まだ決まっていない事だと思うが、個人や町会の負担にならないような体制を作らないと長続きしないと思う。	推進員の方に月５００円という少ない金額で活動していただいています。他自治体では、例えば町会に年額２、３万円を協力金として支払っており、その中で推進員の活動費や集積所の管理にかかる費用を賄っています。そういった事を参考にしながら制度の見直しを考えています。仮に市で有料袋を導入する場合は、ボランティアで出たごみ等は対象外とするなどの検討が必要です。町会の負担にはならない制度にしたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
北辰 中学校区	カメラを付ければ良いという話もあったが、電源をどうするのか、カメラは誰が買うのかといった具体的なものがない。町会に丸投げしてはダメだと思う。費用も併せて考えなければならない。	市の予算でカメラを数台購入しており、性能も良く電池で数週間稼働する。協力頂ける町会や土地所有者と一緒に進めたいと思います。今後、カメラを設置するときに町会に丸投げといったことは無いようにしたいと思います。不法投棄は犯罪だということを解らせるような、広報周知も進めていきたいです。
北辰 中学校区	推進員をやっており、担当が２ヶ所ある。新聞、ダンボール等の資源ごみが少なく、燃やせるごみが多い。緑の袋だけでなく、スーパーの白い袋もある。ペットボトルは洗ってフタを取るように書いて指導している。私自身は、ペットボトル、プラスチックは買い物時に出している。燃やせるごみは、新聞に包んで出しているが、良くないのか。	本当は新聞に出していただくのが良いが、生ごみの水きりということであれば問題ありません。台所の三角コーナーで水きりしてから、そのまま袋に入れて出していただくのが望ましいです。ダンボール、ビン、カン等は再生資源回収運動に出されているのが多いと思います。ペットボトルも再生資源回収の対象に出来ないか検討中です。スーパーの回収ボックスに出して頂くと、当市のごみの量にカウントされませんので、再生資源回収や民間回収に出していただくと市としては助かります。いろんな回収先があるということも周知していきたいと思います。
北辰 中学校区	亀甲町や紺屋町はダンボールにごみを入れて出している。集積所がなく、カラス対策だと思うが、それも燃やせるごみになるのか。あるスーパーでは１００～２００箱ものダンボールを積んでいるが夕方には無くなっている。ごみ出し用に使っていると思うが、それは良いのか。	町会で斡旋している緑の袋を推奨しているが、それでなければ収集しないわけではありません。また、毎戸収集地区でダンボールに入れて出している実態もあります。スーパーの袋や、米袋、肥料袋でも収集している現状です。指定袋が決まっていないのは、ごみが出しやすい状況であります。青森市では昨年から指定袋を決めてやっています。全国の９割は袋が指定されています。ダンボールは本来リサイクルに回せるので、毎回燃やせるごみに出すのは良くない状況です。集積所が無いという状況もあるので、市では折りたたみ収納枠を試験的に導入しています。毎戸収集が何世帯か集まって使用していただけると、カラス対策、ダンボール対策にもなるので進めていきたいです。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
北辰 中学校区	資源ごみは多くても良いのではないか。	燃やせるごみの中にダンボールやリサイクル可能な古紙類が入ったまま排出されています。これを分別して資源ごみとして出してもらうが、総量は変わりません。市民の方にリサイクルをお願いしてきたが、この状況だとリサイクル率は上がるが、減量にはなりません。市の周知も至らない部分もあり、リサイクルすれば減量になると市民の方は思われています。意見交換会でも、リサイクルすれば減量になると思っていたという意見も非常に多いです。燃やせるごみの部分で、水きりや食べ残しを出さないといったごみを発生させないことで初めてごみが減少します。また、スーパーの回収ボックスに出していただくと、市のごみの量にカウントされません。再生資源回収で集めたものは、リサイクルはされているが市のごみの量にはカウントされます。そういった具体的な説明も伝わっていなかったと思うので、今後は広報等で説明していきたいと思います。
北辰 中学校区	有料化実施の目途はいつになるのか。	決定事項は無いが、他自治体を見ると有料化実施までの期間は条例改正、説明会含めると約２年かかります。意見交換会で出された意見も内部で検討する時間も必要で、意見交換会が終了してすぐ決まるとはならないと思います。
北辰 中学校区	人口が７、８年で約１万人減少している。県外就職による人口流出、空き家増加、生活保護世帯の増加等、今後の弘前が心配である。また、市役所職員の削減、再任用の増加、指定管理での財産管理といったことは全て経費節約である。人口・世帯減少で税収が減る。国保料を高くしないといけないと検討しても進まない。人を減らし、仕事は安い所に委託する。こういったバランスからごみの有料化は必然的	前提として有料化は決まっていません。町会連合会が販売するごみ袋収益も把握しています。現在町会連合会で扱っている袋が１枚８円程度。他の自治体では手数料を含まない指定袋であっても、袋への印刷や破れにくい厚さのものと規格が決められることから１枚１５円程度です。町会連合会で販売することも可能だが、町会連合会だけで独占販売ということではありません。市民の利便性といったことから、スーパー、コンビニで販売を考える中では町会連合会

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	にやらざるを得ないと思う。今までは町会連合会で袋の斡旋を行ってきているが、袋を扱うのはどこの課で、どういった売買の仕方、収益を考えているのか。今まで町会連合会にポリ袋の販売を委託して特別会計で管理している。町会連合会は約２，０００万円で運用している。弘前市からは１，５００万円の補助を受けている。本来、市でやらなければいけない業務を請け負っている。内３００万円は保健衛生委員会等への支出として指定されている。一般会計で運用できるのは１，２００万円となる。ごみ袋で年間約１８０万円の収益がある。全体運用２,０００万円のうちの１８０万円と約１０％近い収益があり、運用に反映されている。有料化によって、町会連合会でごみ袋の販売をやらない場合、１８０万円の収益が見込めなくなる等いろんな事が想定される。旧弘前市で町会連合会が行う事業において、広報等の配布にかかる実費を分析した結果、約１億円の試算となった。合併後の岩木町、相馬村の雑務を含めると１億５，０００万円にもなる。運用費１,２００万円という金額は貢献度からいくと、１０％にも満たない。人件費等を上げないと各町会は四苦八苦である。町会長の手当は、１か月に１万円も付かない。農作業に行くと１日６,０００円の賃金なので２日で手当を上回る。そういった実態でやっている。ごみ袋３０円～４５円とあるが、どういった売買の仕方をするのか、町会連合会と縁を切るのか。見通しをお聞きしたい。	での販売も可能と思います。ただ、今までは町会連合会斡旋のごみ袋を使用して下さいとしているが、そのままの形で実施できるかは不明です。また、有料化実施によって手数料徴収事務が発生するとなると、大量の数を扱うため、他自治体では専門の業者に委託しています。各業者が業務を請け負う中で、町会連合会も参加するのであれば、それを妨げるものでもありません。他自治体ではシステムを使い、大量に扱っているため事務作業も多いです。こうしたことから今後、町会連合会で扱うのは難しいと思われます。ごみの日程表を配ってもらうなど、お金にすると何百万とかかるところを町会にお願いしています。本来お金に換算すれば全然足りないという事を強いているのは、ごみの部門だけでなく市全体の事でもあります。ありとあらゆる部門から配布や動員にお金が足りない状況では動きにくい部分もあります。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
北辰 中学校区	有料化になった時点では、１８０万円の収益は期待できないと思う。市全体の総会でも発言している。市と地域の町会とは運命共同体であり、協力していかなければならない関係である。１，２００万円の補助金は決して大きな額ではない。全体の１０％にも満たない額なので、倍の２，４００万円でもお願いしたい。市会議員の年収は５００万円～６００万円で、市会議員を２人削減すれば、１，２００万円財源が出る。２人ぐらい減らしてでも、町会連合会にあと１，２００万円倍増する勇気は無いのか。そうしないと、地域の町会が詰ってしまう。ごみだけでなく全体の連動、関係性を見据え、地域が有利になるような制度構築をお願いする。	未回答
北辰 中学校区	今現在、緑の袋を使用しているのは半分ぐらいか。	実数での割合は不明です。緑の袋も町会斡旋のものと、スーパーで売っているものもあります。集積所によっては緑袋が多いところもあれば、少ないところもあります。町会の組織率が高い地区は緑の袋が多いと思います。
北辰 中学校区	指定袋から始める考えはあるか。	意見交換会の中で、ルールが決まっていないことが問題ではないかといった意見も多いです。指定袋を決めるだけでも変わるのではないかといった意見もあります。青森市は２８年度から始めた結果、非常に効果も出ています。みなさん懸念されている指定袋以外の排出についても、市職員が毎朝、集積所に立って指導しています。予想よりはルールを守っているとのことで話を伺いました。指定袋を決めても、決めなくても全く分別しない方は一定数いるので、そういった方への対策は考えないといけません。まだ、方針は決まっていないので、具体的な話はできないが、まずは指定袋導入も

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		含め、不法投棄対策、不適正排出対策といったルールづくりを行っていくことが大事です。指定袋から始める可能性も無いわけではありません。
北辰 中学校区	最初から有料化ありきと感じる。有料化するために説明に回っているのか。もっと簡単に説明してほしい。自分たちには理解できない。	有料化実施のための説明、意見交換会だと多く意見いただきます。昨年９月に当市のごみを減らすためには、有料化が有効であるといった答申を頂きました。審議会から答申を貰うと、そのまま役所が実行するような流れが一般的であります。昨年１１月に意見交換会を行ったところ、ご意見あったように、答申内容をそのまま実行する説明会なのかといった意見が多くありました。また、１２月議会の一般質問でも、多くの議員から有料化の質問があり、市民のみなさんの意見を聞きながら考えていくと答弁しました。それを受けて１月末から４月末まで市内中学校区で意見交換会を行うこととしています。その後に市の方針をみなさんにお知らせします。こうしたことから、有料化ありきの意見交換会ということではありません。
北辰 中学校区	資料を見るとなぜ弘前市だけがこんなにごみが多いのか。前はスーパーでもばら売りだったが今はほとんど、かさばるプラスチック容器で売っている。どこの県も同じだと思うが、資料をみると弘前の人だけが消費しているように思える。都会の方がもっとごみが多いはずである。	１人１日当たりのごみの量は総量を人口と３６５日で割っているもので、全国のごみ量を比べるものです。その中で家から出る家庭系ごみ、商店、事業所から出る事業系ごみを足したもので全国の順番で比べます。家庭から出るごみは全国平均の１．１５倍、農業、病院、役所といった事業所から出るごみは全国平均の１．８５倍です。ごみが多いのは自宅から出るごみだと思われるが、家庭系と事業系を足したものが多い状況です。事業系ごみは全国と比べても２倍近く排出されていることもあり、県内４０市町村中、４０位となっています。平成１２年以前は、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの３分別で、その後１２分別になったが、ごみの量は当市だけ１５年間横ば

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		いで推移しています。全国的にごみの量が右肩下がりだが当市だけ横ばいなのはなぜかということで分析しました。分別は進んでいるが、燃やせるごみが多く、特に生ごみが多かったです。生ごみが多い理由は食べ残しや、水切りが不十分なことにあります。また、意見あったように、紙類は燃やせるのでそのまま燃やせるごみに入れている状況です。作りすぎによる食べ残しの廃棄や、消費期限の過ぎた手つかずの食品の廃棄も多いです。当市は町会斡旋の緑袋を使っているが、スーパーの袋や、肥料袋、米袋、ダンボールでも収集している状況です。ごみが出しやすい状況であることからごみの量も多いです。青森市では昨年４月から袋を決めており、近隣市町村も袋は決まっています。こうした袋を決めていないのも多い原因だと思われます。ただし、青森市は袋を決めているが手数料は取っていないので有料化ではありません。
北辰 中学校区	この地区ではある程度ごみは厳しくしている。廃棄物減量等推進員制度が始まった頃はごみを開けて調べたりしていた。最近、分別は良くなっている。	推進員のみなさんにご苦労いただき、分別は進んでいます。ただ、分別してもごみの減量にはなりません。資料１５ページの一番上のグラフの黄色部分にダンボール等が含まれています。まずはこれを分別してもらうと資源ごみになります。しかし、ごみの量は減りません。１２分別が始まって、分別を推進すればごみが減ると思っている市民が非常に多いです。燃やせるごみの部分で、水切りや食べきり、要らないものを買わないといった取り組みで初めてごみが減ります。分別の指導については、協力いただいているが、当市のごみ袋が決まっていないために袋の指導までは出来ません。
北辰 中学校区	当初、名前を記載する話もあったが、様々な問題があることから、班の番号を記載している。町会の人は誰のごみか分かるが町外の人は分からな	他から持ち込んで来たり、何も記入しなかったり、通勤途中に投棄していったりといったことも多いと思います。高杉は集積ボックスを設置してカラスの被害は少ない

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	い。	と思います。街中では集積所の場所も無く、自宅の前に出しているところではダンボールに入れている場合もあります。高杉地区であれば集積ボックスがあるのでダンボールで出した場合は収集しません。道路端の集積所に他市町村から通勤途中に投棄される事が市内全域で発生しており、町会、推進員にはご苦労頂いています。
北辰 中学校区	ごみの有料化になれば、問題が起きてくるのではないか。埼玉では各家庭に青いポリ箱があり、生ごみを入れて堆肥にしている。市で補助しているコンポストを畑で試したがネズミが付き、２、３本の樹の根が食害にあった。	庭、畑があるところはコンポスト設置している方が多いです。降雪地帯なので冬期間は出来ない、ねずみ、虫が付くといったことがあります。また、家の中や小屋、車庫で使える電動生ごみ処理機、ダンボールで作るコンポストは全国的に普及しています。当市でも、電動生ごみ処理機の購入補助を検討しています。コンポストは生ごみの量がだいぶ減るので有効です。
北辰 中学校区	最近は燃やせるごみが多くなってきた。スーパーでも大きなカップや箱に入っている。今の若い人は賞味期限が過ぎると捨ててしまう。昨日までだからといって、食べられない訳ではない。	スーパーによっては消費期限近くても見切り品として、安く売っています。市内の集積所から持ってきたごみを開けて調査しているが、手つかずの食品が多く入っています。
北辰 中学校区	去年、新聞で賞味期限が近いものを安く売っている記事を見た。賞味期限が１日、２日切れても害はない。もっと食べさせても良いと思う。	積極的に進めることはできません。宴会場で余った料理を持ち帰って体調を崩した責任の関係で持ち帰りは禁止にしている飲食店も多いです。全国的にも問題になっており、いろんな所で消費期限の見直しや、持ち帰りの許容等の動きもあります。一番大事なのが、使いきり、食べきり、水きりです。みなさんに周知していかなければなりません。
北辰 中学校区	町会の総会等、人が来る際に説明してほしい。	出前講座も申込みがあれば出向くが、今後は町会の定例会等に積極的に説明に伺いたいと思います。
第一 中学校区	各家庭で町会連合会斡旋のごみ袋を買っているか。町会の販売実績を見	緑の袋を使われていると思うが、これは市の指定袋ではありません。あくまでも推

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	ると１、２件で自分の名前しかないこともある。有料化で１袋３８５円とか５００円としているが買わない人が出てくるとそれはどうするのか。袋を買う人だけが高いお金を出して、袋を買わない人はどうするのか。各家庭で買わないとみんなに渡っていかないと思う。	奨袋です。コンビニの袋でも収集している現状です。審議会の答申では、他の市町村と同じく有料化をした場合は、指定袋を使用しないと収集しないとしています。このことから、買わざるを得ないことになります。現在は大きいサイズがメインとなっているが、例えば２０リットル、１０リットルといった小さいサイズを作って、小さいサイズに誘導することでごみ減量化を図るといった意見も審議会で出ています。
第一 中学校区	南大町ニュータウン町会で１３町会が集まっている。他市に比べて弘前市は遅れている。有料化することによって不法投棄が増えると思うがこれをどうやって防ぐのか。集積ボックスも古くなり、補助を作って大きいのを作ったが３０万円かかった。今でも町会以外からごみが入っている。これが有料化になると当然増えてくると思う。岩木山の麓に投棄されるのではないか。今月の町会役員会でそういった意見が出た。他市が先駆けてやっているので、弘前市も検討していると思うが、対策は考えているか。	審議会の中でも、不法投棄が増えるのでないかといった議論があり、併行施策として不法投棄対策をするよう意見が出されています。今現在も不法投棄に悩まされている町会の意見も多数頂いています。有料化を実施する、しないに関わらず早急に対策を取らなければいけないと考えています。具体的な方策としては、人員、頻度を増やしてパトロールを行う、カメラの設置を検討しなければなりません。他の自治体ではこうした取り組みを行っています。抜本的な対策ですぐに結果を出せるものはないが、地道な取り組みを増やして対策をしています。我々が、調査研究している自治体では対策をしていることもあるかと思うが、有料化実施後、不法投棄件数は増えていないと伺っています。
第一 中学校区	カメラ設置は現実的に対応できるのか。	私有地や山の中など、捨てられやすい場所への監視カメラや看板の個数を増やして設置しているのは他自治体でやられています。
第一 中学校区	単独の町会で申請した場合、補助金はあるのか。どこまで考えているのか。	具体的には設置に要する補助という方法や、設置費用については不明だが、カメラを数十台用意し各町会へ貸し出すといった方法もあります。現在、集積所の管理が町会という事で、不法投棄に関して町会で解決して下さいとしているが、先進自治体では一

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		歩踏み込んだ対応をしています。日常の集積所のトラブルで町会の方が悩まされているのを感じているので、有料化の有無に関わらず早急にやらないと市民の方にも納得していただけないと思います。
第一 中学校区	長野県が一番良いということだが、意識、啓蒙の問題かと思う。長野県の取り組み方も知りたい。	資料６ページに人口規模、産業構造の類似する自治体のごみの量を載せています。家庭系ごみ、事業系ごみの合計値であるが、平成２６年度実績で成績が良くありません。上位は長野県が続いています。長野県の取り組みも研究しているが、以前から周知啓発に取り組んでいます。また、子どもたちに対する環境教育や、電動式生ごみ処理機の補助を行っています。生ごみ処理機の補助は長野県以外の大部分でも行っています。生ごみを減らす取り組みを当市でも行っていかなければならないと考えています。
第一 中学校区	電動生ごみ処理機の補助は各家庭に対してのものか。金額はどれくらいか。	例えば５万円程度の機械に対して２万円程度補助するといった取り組みを行っている自治体が多くなっています。
第一 中学校区	推進員をやっているが、一番心配なのは、町会に加入していない人のごみをどうするかということである。現在は、スーパーの袋でもダンボールでも収集する。今後、有料化になった場合、町会にも入っていない人がごみ袋を買うとは思えない。アパートに住んでいる人は町会にも入っていないし、町会斡旋のごみ袋も買っていない。アパートの経営者にも意見交換会に来てもらって、ごみに対して考えてもらうことが必要である。町会以外の人に注意するとケンカになる。自分たちは税金を払っているのに何故ごみを出せないのかという態度で来る。何のために、毎回指導しているのかわからな	ごみに関心、興味を持って取り組みされているのは市全体の３割程度だと思います。ごみの全体量を減らしていくためには、関心のない市民にいかに徹底させるかが大事です。集積所のトラブルに関しては、市に相談いただければ担当から当事者に働きかけることもあります。仮に指定の袋でルールを守らない人がいた場合は、第一段階では収集しません。それでもルールを守らないのであれば、担当から個別に訪問してお願いするなど現場に足を運んで対応しなければいけないと考えております。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	い。昼の２時頃に持ってきたりする。町内に入っていない人を市はどう思っているのか。町会費も払わない、回覧板も見ない人が有料袋を買うはずがない。	
第一 中学校区	アパートオーナーに行政から通知するとういことはあるのか。	第一段階としては黄色のステッカーを貼って周知するが、それでも守らない人は結構います。そうした方には不動産会社を通して写真等添付して状況を通知しています。
第一 中学校区	現在、有料化されていないのでスーパーの袋でもなんでも良い。今後、有料化された場合には確実に指定の袋でなければならない。町会で売るのとスーパーで売る値段は同じでなければ、有料化に出来ないのではないか。	町会連合会で作っている袋は、推奨しているだけです。今後、有料化や指定袋になった場合は町会連の袋は無くなります。市が袋の規格を指定して業者が製造することになります。袋を買う場所がスーパーや町会連ということになるかもしれません。町会連が売るかどうかはまだわかりません。指定の袋は町会連の袋ではないので、勘違いしないようにしていただきたいです。有料化になった場合は指定した袋に手数料を上乗せしてスーパーなどで売ってもらうことになると思います。単純に袋の値段は上がります。町会連で売っている袋は、袋の値段に町会連の手数料が入っています。今後、町会連がどうするか市は関知しません。
第一 中学校区	町会が高齢化して、町会長を引き受ける人が居なくなっている。町会が無くなったという話も聞く。町会が無い場合はどうなっているのか。また、不法投棄の定義はどうなっているのか。	他の町会の人が、自分の集積所以外にごみを出した場合は不法投棄となります。通常の集積所にごみを出すが、収集日を守らないとか分別がされていない場合は不適正排出となります。不法投棄はごみを出して良い場所に出しているかどうかになります。他の町会の人が別の集積所に出すことや、山や川に捨てるといった、本来、ごみを出してはいけないところに捨てるのは不法投棄となります。また、通常のごみ集積所に出すが、ペットボトルのフタを外していないなどは不適正排出となります。不法投棄

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		は罰則、検挙があるが、不適正排出は罰則がありません。町会を廃止した、新しい住宅地で住民が少ないといったことで町会を作っていないところなどがあります。新規の毎戸収集は認めていないため、現在住んでいる人だけで集積所を作っていただき、代表を決めて申請してもらっています。町会に加入していない人は、加入していない人たちで集積所を作ってもらうようお願いしています。
第一 中学校区	町会から外れる人もいるが、その人にごみを出すなとは言えない。貸家、アパートに住んでいる人へ広報、ごみカレンダー配布の際、町会加入のチラシも入れている。収集日以外に出されたびんがずっと置いてあり、仕方なく持ってきたり、ペットボトルのフタを外すよう看板付けても守らない。袋について、むつ市ではスーパーなどで４０円で売っている。弘前市近辺で有料袋をやっているところはあるのか。青森市でやっていると聞いたことがある。	指定袋と有料化と２パターンある。指定袋は袋の製造費のみをいただくもので、青森市では指定袋１枚１５円程度です。有料化は弘前近辺で、黒石市、平川市、大鰐町、板柳町など周辺はほとんど有料化しています。一番高いところで、黒石市が１枚６０円で、大鰐町が４５円、平川市が３０円となっています。指定袋の値段に、市に入る手数料を加えた額になるので高くなります。
第一 中学校区	袋に名前を書いているのか。	自治体によって異なります。小さな自治体では記名を強制しているところもあります。他自治体をみると記入欄だけは設けているが、記名するかどうかは町会に任せています。マンションなどでは部屋番号を記入したり、町会の班番号を記入したり、いろんなパターンでやっています。仮に有料化になった場合は記入について別途伺いたいと思います。
第一 中学校区	町内に住んでいながら、町会から抜けたいという人はどう扱えば良いのか。	町会に必ず入るよう強制する事は難しいです。しかし、町会がなければ市の運営が成り立たないのは承知しています。町会加入の重要性を他の課と連携して、周知していく必要があります。また、ごみに関して興味

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		のない大部分の人に、いかに知ってもらうかが課題です。町会行事の際に市から伺うといったことも強化していかなければならないと考えています。
第一 中学校区	現在、推奨袋があるが、有料化の前に指定袋からの実施の考えはあるのか。	審議会からは、経済的負担による動機付けでごみの減量を図ることや、ごみに関心のない方にも関心を持ってもらうには、有料化の方法もとらなければならないのではないかといった意見を頂いています。意見交換会でも、有料化の前にまずはやれる事をやってからという意見もあります。意見をまとめて、総合的に判断します。
第一 中学校区	弘前が特にごみの量が多いですが、青森や八戸と比べても特別豊かな生活をしているわけではないと思いますが、なぜ弘前が多いのでしょうか。	例えば、青森市では有料化ではなく、指定袋制度というのを実施しておりダンボールでのごみ出し等は回収していません。そして八戸市はさらに有料化をしており、袋の金額に手数料というのが上乗せされています。当市は、現状は緑の推奨の袋はありますが、カラス対策にダンボールで出される方もたくさんいます。本来、ダンボールは資源となり、ごみということにはならないですが、燃やせるごみということで回収されています。他には市の責任でもありますが、周知啓発というのも取り組みが遅れていたということもあります。それにより市民の意識も低く、先程説明したアンケートのように、分別する必要性を感じないとかがあり、意識啓発が不足していたと感じております。
第一 中学校区	指定袋にしたとしても、ごみというのは出るものなので、それで減るものなのかと思います。後、分別をしてもリサイクル率が上がるだけで、総量は変わらないということなんですね。	確かに今言われたとおり、燃やせるごみに捨てられているダンボールやリサイクルできるものを分別しただけでは単純に資源ごみに回るだけですが、まずはリサイクルを推進するのも目的のひとつです。そして、もうひとつ燃やせるごみに含まれている水分を３キリ運動したり、ライフスタイルの

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		見直しということで、本当に必要なものなのか、ごみになってしまわないかという意識付けを図っていきたいと思います。そのために、何が有効なのかということをみなさんに意見を聞きながら取り組みを考えているところです。
第一 中学校区	一時期、コンポストの話があったと思いますが、どうでしょうか。	堆肥化についてだと思いますが、当市ではモデル事業として実施していました。出前講座でもダンボールコンポストについて市民に説明したり、町会連合会を通じて補助もしています。生ごみの堆肥化は、生ごみを減らすことは勿論、自然に帰すということで取り組みをどんどんやっていこうと考えています。また、他の自治体でも堆肥化については熱心にやられており、当市ではやっていません。電動の生ごみ処理機というのが５～６万円でありますが、これに対し補助をしていくとか全国的にやられていることなので検討していきたいと思っています。
第一 中学校区	大町町会ですが、私たちの町会はお金を負担することには慣れています。例えば道路維持課による融雪ですが、市が半分、町会が半分ということで電気代が１，０００円かかるとすれば５００円負担している。知っていると思いますが、大町は固定資産税が一番高い。我々は区画整理で土地を出しており、協力しているということでちょっと他から見ると態度が大きいかもしれない。ごみの負担については今まではなかったが、高い固定資産税を払っているので全部というのは馴染まない。また、土地を出して大変だということで毎戸収集をさせてもらっているが、いつまでもそれに甘えているわけにはいかないとも思ってはいる。	市民１人当たりのごみ処理原価は約１８，０００円ですが、有料化した場合の大まかな市民１人当たりの負担は答申での内容ですと約２，０００円となります。あくまで、ごみ処理費用を賄う目的というよりは、ごみ処理費用の一部を負担してもらうことによって、関心をもってもらい減らしていこうという意識付けをしてもらいたいです。そして、いただいたお金は環境施策に利用してもらいたいということもあり、例えば収納枠の補助等に活用し、ごみの減量・資源化に繋げていきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第一 中学校区	ごみ処理費用についてですが、中間処理費用が一番かかっていますが、油代とかなのでしょうか。	確かに焼却に一番お金がかかっております。他には、容器包装を分別したり、資源化するのにもお金がかかっております。油もそうですけど、施設そのものの建設費だとか施設を維持するのにお金がかかっています。今の重油については変動費ですけど、割合的には３割ぐらいです。なので、ごみを減らす目的として、施設の立替をするときにできるだけ小さいものを作れればそれだけ市民の負担が減るということになります。
第一 中学校区	今の弘前市の埋立処分場はあとどれくらい持つのでしょうか。	現在、弘前市に埋立処分場は２ヶ所あります。ひとつは十腰内、もうひとつは常盤野にありまして、大きさは十腰内の方が圧倒的に大きいです。常盤野の処分場の容量はいっぱいに近づいています。十腰内の方については、既存の場所がいっぱいなので新しい区画を作りまして、今年の１０月から供用開始予定で、基本的には１５年使うのを想定しております。
第一 中学校区	有料化についてはわかりましたが、３キリとかについてはどうやって周知する予定ですか。	やはり意識付けというのが一番大事で、意識付けがうまくいけばごみは減るのではないかと考えています。周知については、広報誌やイベント、ラジオ等情報発信はしていますけど、まだまだ時間はかかるのかなと考えております。今後は、それだけではなく、ごみに特化した広報誌を毎戸配布するようなことを考えております。また、各町会から大学生のごみ出しが良くないとか意見をいただいておりますので、スマートフォンにごみ出しのカレンダーや分別を盛り込んだアプリを作成し周知していきたいと考えております。後は、出前講座というのも行っていますが、申請がないと行けないので、町会の集まりがあれば、こちらから出向いて周知をしていければと思います。
第一 中学校区	事業系ごみというものも市が集めているのですか。	事業系ごみとは、事業所・商店・病院・役所等から出ているものです。そして、事業系

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ごみは一般廃棄物と産業廃棄物に分けられていて、例えばプラスチックとか金属等については産業廃棄物ということで、弘前の処理施設で処理すべきものではなくて、きちんと許可の持った民間の施設などで処理してもらうことになっています。その他の生ごみ等の一般廃棄物については、市の方で処理しています。収集運搬について家庭から出るごみについては、市が委託している業者が集積所から回収してごみ処理施設に持って来ています。事業系のごみついては、家庭系のごみの集積所には出せなくて、市で許可を出している収集運搬業者が幾つかありますが、ここと契約をして収集してもらい、ごみ処理施設に持っていくか自分で持っていくことになります。
東目屋 中学校区	事業系ごみが多い理由はわかっているのか。	事業系のごみは、全国平均の約２倍の排出量になっています。ここでの事業系のごみとは燃やせるごみ等の一般廃棄物のことで、他の産業廃棄物については業者の方にお願いをしているため、このごみの量にはカウントしていません。理由については、２７年度に持ちこまれたごみを開けて見てみた所、リサイクルできるダンボールや、書類などの紙類が極端な場合だと半分以上あったりとしたため、これらがリサイクルに回ればごみが減るのではないかということで、２８年度からはリサイクル可能な古紙類の受入を制限しました。また、こういった取り組みや事業所訪問などを行って、２割ぐらいのごみの減量に繋がりました。事業者が一般廃棄物と産業廃棄物の違いがわかっていなかったり、何でも燃やせるごみに入れていたというのもわかってきたので、周知等取り組みを続けていきたいと思います。
東目屋 中学校区	１２分別していたときと今の９分別で排出量はどうかわったのか。	分別の方は進んでおり、資源物として排出している量は他からみても決して少なく

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		はありません。ただ、分別イコール減量ではなく、リサイクル率は増えていますが、減量するためにはそもそもごみを出さないようなことが必要です。例えば、生ごみを減らす、水キリをしたり、食べ残しを出さないようにすることが大事です。今後はただ分別を進めるだけではなくて、こういったことも周知していきたいと思います。１２分別から９分別になったことでの排出量の変化については、これで増減したというのは直接的な要素にはなっていないと思います。
東目屋 中学校区	類似の都市をみると弘前市が悪いのはわかりますが、先進地とかを見てこれが違うなとかありますか。	類似の自治体を載せていますが、当市のように農業が盛んで、都市部もあって学生もたくさんいて、人口もあるような所は全国的にも珍しい都市にはなっています。他のところで何をやっているかといいますと、先程説明したようなごみ袋を有料化していて１枚５０円から６０円で売っているような自治体もあります。先進的に何かをやっているというよりは、当市があまりにもごみが出しやすい状況にあるので、多くなっています。他の自治体では有料化は別にして指定袋が決まっている所がほとんどで、当市は推奨の緑色の袋はありますが、ダンボールやスーパーのレジ袋とか麻袋とかで出しても現状、極端に変なものが入っていない限りは回収しています。他には、コンポストの補助や、資源回収運動の報奨金の見直し、収集の見直し、生ごみだけ分けて回収するとか様々な取り組みがありますが、これをやれば減らせるということはなく、排出量が少ない所は色んなことを以前からやっていて、結果が出ています。他の自治体が特別何かを頑張っているというよりは、当市がごみを出しやすい環境なので多くなっているのではないかと思います。
東目屋 中学校区	ごみ出しの状況を見ると、緑の袋で出している人は少なく、スーパーの袋	未回答

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	やダンボールで出しているのが多く見られる。今言われたとおり、出しやすい環境だと思う。何でも燃やせるごみに出して家から無くなればさっぱりしますよね。有料化をすれば、金がかかるのでごみを出さないようになると思った。	
東目屋中学校区	川崎の方では、スーパーの袋で出していたみたいですけど、その割にはごみが少なかった。これは、生活水準が関係あるのか個人のモラルの問題なのか。	都市部ではスーパーで白色トレイや新聞、牛乳パック等の回収を設置しているところが多く、そういったところに市民の皆さんが出してもらうと、スーパーが民間として独自にやっているということで市のごみの量にはカウントされないです。単純に市としてごみを減らすということであれば、スーパーや民間の回収の方に出してもらったり、ダンボール等も古紙を扱っている業者でも回収しています。そういったところに持ち込んでもらえると市の回収量にはカウントされません。ただ、皆さん様々な事情がありますので、今後は出し方でカウントされる、されない方法をきちんと広報や色んな場で周知していきたいと思います。
東目屋中学校区	生活そのものがごみを出す仕組みになっている。例えば納豆のからとか、お菓子の袋も大袋だけではなく、その中に小分けで袋に包まれていたりする。国のレベルになるのかもしれないが、生産事業者に何とかしてもらわないといけないのではないか。	国が事業者等に過剰包装を減らしていきましょうというのはもちろんあります。市として何ができるかというと、スーパーでダンボールをマイバックの変わりに使って下さいというのを、そのままごみ出しに使うのをやめてもらうようにするために、リサイクルに出してください等の張り紙をお願いしたり、マイバックを使ってもらうようなお願いはしていきたいと思います。
東目屋中学校区	有料化に向けてのスケジュールについてはどうなっているのでしょうか。	まずは４月まで意見交換会を行って、その後方針を決めることになるが、すぐに有料化ということにはならないです。他の自治体の例からいくと、方針を出してから１年半から２年程度かかっています。まずは

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		市の方針を出します。
第四 中学校区	なぜ、弘前市が他の市町村に比べて、家庭系ごみ、事業系ごみ共に多いのか。分析はしているのか。	要素は様々あるが、一番取り組みとして行わなければいけないのは、周知啓発です。みなさんに状況を説明して、なぜ、ごみを減らさなければいけないかという情報提供の取り組みが遅れていたのが一つの原因かと思います。他の自治体と違うところは、有料化を行っているところが多いです。更には袋を決めて出してもらう、指定ごみ袋方式を行っているところもあります。当市は緑の袋を推奨袋として使用して頂いているが、ダンボールでの排出でも収集しているといったルールが徹底されていないのも要因の一つです。資料６ページのとおり、ごみ排出量の少ない長野県では電動生ごみ処理機の補助を行っているなど、生ごみ減量の取り組みを強化しています。一つ一つの施策を細かく行っており、当市でも取り組みを進めて行きたいと考えています。
第四 中学校区	家庭系、事業系ともに分別を徹底すれば、まだまだごみが減らせる余裕があるのか。分別を徹底して、出来るだけごみの有料化は避けていただきたい。	結果的にリサイクルされるごみも当市のごみの量にカウントされています。イメージ図を資料１５ページに掲載しています。まずは、燃やせるごみに含まれる資源化可能なごみを分別して、リサイクルを推進します。分別をすることによって、ごみに対する意識が変わってきます。意識づけは大事であり、結果減量に繋がります。また、物を買う時にごみになるかを考えるといった、ライフスタイルの見直しや、生ごみの水きり、食材の使いきり、料理の食べきりといった３きり運動を行うことでごみの発生自体を減らすことが必要です。
第四 中学校区	３市の中で一番収入の少ない弘前市が、ごみが多いのは何故か、非常に疑問に思う。排出量の算出の仕方が違うのか。ごみの分別を徹底させて、紙パックなどの拠点回収を増やしては	青森市は現在、指定袋で行っています。黄色の袋を指定して、指定袋以外は収集しません。袋のサイズも大小設定しており、小さい袋に誘導しています。袋の製造費のみを市民に負担してもらっています。ごみも減

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	どうか。有料化を行えば、ごみが少なくなるという安易な考えでやらないでほしい。子どもが多い世帯はごみが多く収入が少ない。消費税と同じように弱い者ほど多く納めなければならない結果になる。また、一人暮らしは、ごみがそれほど出ない。それを大きな袋で出させて、３０円なり取るのは不経済である。	ってきているということで話を伺っています。八戸市については十数年前からごみの有料化を実施しています。指定袋の製造費に手数料を更に上乗せして販売しています。ごみの量は全国平均に近い状況です。収入の分析までは行っていないが、今後、分析を進めたいと思います。拠点回収については、資源物を回収できる場所を設置できればと考えています。民間事業者でも行っているので、市民のみなさんがいつでも出せる状況を作りたいと検討しています。袋の大きさについては、他自治体では何種類か作っており、一番大きいのが４５リットルサイズで、その他３０、２０、１０リットルで主に４サイズとなっています。大きなサイズを使うより、小さいサイズを使うように進めているとのことです。安易な考えでの有料化の実施はさけてほしいという意見については、今までの意見交換会でも同じような意見を多数頂いています。袋を決めて、指定袋からスタートする自治体もあれば、有料化から始める自治体もあります。様々なやり方があるので、みなさんの意見を伺いながら総合的に判断し、方針を決めたいと思います。
第四 中学校区	有料化することによって、どれだけの収入になるのか。市民税を少し上げることで済むのであれば、そちらの方が貧困家庭にとっては良いのではないか。	有料化が決まっていないので、試算はしていないが、答申の水準を基にすれば、市の収入は約２億円となるのではないかと審議会の中で意見として出されています。使途としては更にごみを減らすための併行施策に充てるよう意見が出ています。減免措置について、基本的には無しということで答申されています。しかしながら、意見交換会で同じような意見を頂いているので、意見を踏まえた方針決定になるかと思います。
第四 中学校区	周りの市町村ではごみ袋に名前や住所を記載しないと収集しないところもあるようだが、弘前市で指定ごみ	青森市でも指定袋を開始しており、ごみ袋に記入欄はあります。記入の有無は町会毎に対応してもらっているとのことです。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	袋となった場合はどう扱うのか。マンション、アパートの集積ボックスをみると分別されていない物が多く出されている。業者が黄色のステッカーを貼っていくが、最終的には収集している。もっと厳しく取り扱っても良いのではないか。	記入しなくても収集はするが、集積所の管理は町会や集合住宅でやっているものなので、排出ルールは町会で作っています。人口の少ない町村では記入させているところが多いです。人口の多い市では記入しているところが少ないのが実情です。指定袋についても未だ何も決まっていないことから、意見を伺いながら精査しなければならないと思います。収集の仕方について、現在、分別不十分なものは初回に黄色のステッカーを貼って収集しません。ただ、長期的に放置してしまうと集積所に置くスペースが無くなるといった町会の意向も踏まえ、２～３回目以降に収集しています。意見いただいたように、収集してしまうと排出者のためにならないことも承知しています。基本的には１か月間置くこととしているが、意向があるのであれば個別に対応することになると思います。全市的にも長期的に放置するのはやめてほしいという意見が多いので、収集せざるを得ない状況です。
第四 中学校区	弘前市近隣で有料化している市町村はあるか。	黒石市、平川市、大鰐町、板柳町、鶴田町、鰺ヶ沢町、深浦町が有料化をしています。
第四 中学校区	近隣から人が通勤してくるが、ごみも通勤してくる。ごみを弘前市に投棄する。他から持ってきているごみと、住民のごみと判別できるか。	弘前市周辺から弘前市に働きに来ている人は多いです。結果として、通勤途中に捨てられていくことで町会からも苦情をいただいています。ごみを誰が出したかを全て追及することは出来ないため、他から持ち込まれたごみの量を把握するのは難しいです。こうした事例は、市の境目の町会から連絡いただいています。市でも現場に出向き、排出元が分るようなものがあれば直接指導に伺っています。
第四 中学校区	市営住宅で、転居する方は分別せずに出して転居していく。こうした場合の取り扱いはどうするのか。	引っ越し時期のごみは、ひとつひとつ分別できずにまとめて捨ててしまう事がよくあります。今後は方法を検討します。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第四 中学校区	町会長兼市営住宅の管理者をやっている。良心に基づき困ると思うものは分別しているが、この状況がいつまで続くのか。推進員も誰もやってくれないので、仕方なく町会長自らやらなければならない。週４日分別を点検して、それに対し指導を行うと文句を言われる。喧嘩口論の元になるので直接指導もできない。	ごみの処分、管理に関して一生懸命やっているにも関わらず、周りから良いように言われないということは承知しています。市のフォローが足りない部分だと感じています。意見交換会では地域にまかせっきりになっていたごみの処理には限界が来ているのではないかということも伺いたい意図もあります。具体的な解決策をすぐに出せる訳ではないが、町会の状況も分っていない部分もあり、こうした意見を伺えるのは貴重です。口論の元になりそうな場合は環境管理課に連絡下さるようお願いします。
第四 中学校区	市営住宅の場合、所得が少ない人、母子家庭、高齢者の貧困者といった人だけになってしまった。母子家庭あたりは、入居時は母子だが元旦那だか恋人だかわからない人が一緒に荷物を運んで、そのまま居る。母子家庭の場合、本当に困るのは訳のわからない人が週に何回か来て、帰る際に好き勝手ごみを捨てていく。有料化になると不法投棄の的になる。今現在でも大変であるのに、有料化になると市営住宅や県営住宅、アパートなどの集積所に集中して投棄されると思うが対策は考えているのか。	集積所の管理に関して、有料化を実施した場合は不法投棄が増加する懸念についての意見は一番多いです。有料化実施については白紙状態であるが、他自治体では有料化の収入を使って不法投棄対策を行っています。町会、地域にまかせっきりになっていた部分を考えていかなければならないと思います。
第四 中学校区	現在のごみ袋の大きさは一人暮らしには大きすぎる。買い物時のレジ袋に入れて出している。小さい袋を作ってほしい。	小さい袋の需要もあることから、有料化する、しないに関わらず、考えていかなければならないと思います。
第四 中学校区	弘前市で廃品回収を行っている割合または団体数はいくらか。廃品回収を増やせればごみが減ると思う。学校でも回収を年２回行っているのを３回に増やすと良い。アパートに住んでいる人は溜めておくのが嫌なのですぐ捨ててしまう。	再生資源回収運動の実績団体数は、町会以外にも婦人会、ＰＴＡ等様々な団体があり、平成２７年度実績で１７８団体。その内、町会単位は６６団体です。市全体で３３０町会あるので、５分の１、２０％となります。再生資源回収の課題として、今後団体数を増やすことが難しいため、意見あったよ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		うに１団体あたりの実施回数を増やすことが必要です。中には１００万円程度の収入を得ている町会もあります。先進的に取り組んでいる団体の取り組みを紹介することも必要です。
第四中学校区	町会長にも宣伝して、回収を増やせるようお願いしてみてはどうか。マンションではやっているのか。やっていない場合は推奨してはどうか。自分の町会は廃品回収の収入でごみ袋を買って、町会の人に配布している。町会の人はごみ袋を買ったことがない。３３０町会に対し、６６町会、他団体を入れても１７８団体では足りない。広報、周知をしてほしい。	ご意見として承ります。
第四中学校区	ごみの有料化検討は弘前市のごみが多いということが原因なのか。	ごみ施策について審議いただく場として、弘前市廃棄物減量等推進審議会があります。この会議の中で、弘前市のごみが多く、市民一人一人が意識していかなければならないのではないかという意見が出ました。意識させるためには、全国的にも導入が進んでいる家庭系ごみの有料化の検討が必要ではないかという経緯があります。
第四中学校区	家庭系ごみだけを見ると、県平均並みではないか。	県平均よりはいくらか多い状況です。当市の課題は事業系ごみです。
第四中学校区	家庭系ごみの有料化は待つべきである。まずは、事業系ごみをどうするのかだと思う。	平成２８年度から、事業系ごみの処分手数料を倍にしています。紙ごみについても処理施設には持ち込みできない方針を打ち出しています。事業者からの苦情もあったが、リサイクルに回してもらうようお願いしています。まずは、事業系からという事で我々も考えています。家庭系ごみも若干ではあるが多いのも事実で、全国平均よりも差があります。有料化ありきではなく、全国的に導入されているのであれば検討が必要であると審議会から意見が出されています。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第四 中学校区	家庭系、事業系と分けているが、その定義はなにか。大きな事業体の場合や自宅で商店をやっている場合など、事業系でも千差万別あると思う。事業系のごみが多いのは、以前から企業、事業所に訴えかけが出来ていなかったのか。	会社、病院、市役所など事業活動を行っている全てが事業系となります。店舗兼住宅の場合は、店舗の部分は事業系として家庭のごみとは分けて、事業系と家庭系の両方に出していただきます。家庭系ごみは市で収集するので、集積所に出すことが出来ます。事業系のごみは市で収集しないため、自らごみ処理施設に持ち込むか弘前市が許可しているごみ収集運搬業者に委託することになります。また、事業系ごみは一般廃棄物と産業廃棄物に分けられます。産業廃棄物であるプラスチックや金属は市の処理施設で処理できません。事業者が処理できる施設に持ち込むか業者に運んでもらうことになります。産業廃棄物に該当しない生ごみや紙ごみなどは市で処理できます。
第四 中学校区	土手町商店街でも家庭系ごみが出されているが、店舗から出たものが見受けられる。市ではどういった指導をしているのか。	事業系ごみとして認識していない状態で出されていることもあるかと思います。我々の指導がされていなかったのは反省点です。市の収集運搬業者と連携して、あきらかに事業から出ているものがあれば報告いただいています。報告を受けて、事業所に直接訪問や、電話で指導をさせていただいています。
第四 中学校区	資料１７ページにごみを発生させない取り組みとして、マイバックの持参とある。先般、新聞でエコ事業所表彰にスーパー名が載っていた。そのスーパーでは今以てレジ袋を出しているが、なぜ表彰になるのか。	５つ程条件があります。条件をクリアする事業所については認定させていただく制度です。ごみについては適正に処理していることなどを条件としています。マイバックについては、強制までは出来ないので、お願いとして我々も働きかけをしています。現状のエコストア、エコオフィスの条件に該当していることから認定させていただきました。
第四 中学校区	町内単位で資源回収しているところもあれば、学校単位で資源回収しているところもある。ごみ減量になっているのか。	ごみの排出量とリサイクル率の２つの指標があります。再生資源回収をすると、今まで燃やせるごみに含まれていたものが、資源ごみに移行するが全体の量は変わりませ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ん。直接、減量にはならないが資源化に働きます。ごみを分別することで、燃やせるごみの内訳が見えてきます。ごみの「見える化」が進むことによって、ごみ減量に間接的に繋がります。
第四 中学校区	小型家電について、燃やせないごみで出している。家電量販店で小型家電回収しているがどちらでも良いのか。	公共施設に小型家電回収ボックスを設置していたが民間の施設の方が市民の利便性が高いということで、市内スーパーや電気屋にボックスを設置しています。１５センチメートル×２５センチメートルの投入口から入るもので電源が繋がっているものであれば入れることができます。現状では燃やせないごみに出しても、回収ボックスに入れても良いです。どちらでも良いが、燃やせないごみに出すとごみの排出量にカウントされ、リサイクル率も増えません。回収ボックスはごみの排出量にはカウントされるが、リサイクル率は高くなります。出来ればボックスを使っていただきたいです。回収ボックスを使える人だけではないので、燃やせないごみでも収集している現状です。
第四 中学校区	ちり紙交換に出すと市のごみの量にカウントされないとすれば、そちらに出して下さいとすれば良いのでないか。	ちり紙交換は市のごみの量にカウントされないことになるので、使っていただいて良いです。ちり紙交換、スーパーの店頭回収はごみの排出量を減らすということで良いです。また、市の行政収集に出すとリサイクル率が上がるのでどちらでも良いです。市としては、燃やせるごみに紙類を混ぜることは避けていただきたいです。市の紙類収集日に出すか、民間に出すか市民のみなさんが都合の良い方法を取っていただきたいです。いろんな選択肢を示していかなければならないと思います。スーパー等の店頭回収が活発になってきたが本来、一般廃棄物は市が処理しなければいけません。市が処理する責任があるので、全て民間に放棄する事はできません。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第四 中学校区	古着を出そうと思っているが、回収の可否はどの程度か。	基本は再使用です。東南アジア等で再度着ることになるので、例えば下着や汚れたものは避けていただきたいです。再使用できないものが入っていた場合は、工業用の雑巾になるので厳密でなくても良いです。回収ボックスに記載されている品目が合っていれば良いです。
第四 中学校区	衣類回収ボックスに入った物もごみにカウントされるのか。古着業者に持ち込んだ方が良いのか。	再使用なのでごみの量にカウントされません。ボックスに入れても、古着業者に持ち込んでも良いです。
第四 中学校区	こうした仕組みは意見交換会に来ないと理解できない。	市民のみなさんが理解しないと取り組みできないと思います。広報誌にも載せているが紙面も限られているので、来年度はごみに特化した広報を作成し、とにかく市民のみなさんに知ってもらうことを一番に考えて取り組んでいきたいと思います。
常盤野 中学校区	有料化にした場合、袋を買わないで出す場合はどうなるのでしょうか。	有料化とは基本的には袋を決めまして、その袋でなければ出すことは出来ず、回収もされないです。有料化している自治体の例を見ると、移行期間というのがあり、その間に周知したりしています。市としても、有料化になった場合には、こういった説明会をまた実施する必要があると思っています。
常盤野 中学校区	地域の人が分別をしないで出す分にはまだいいですが、我々観光地になりますと、通りすがりが多いです。ですから、収集日に関係ない日にごみが入っている。	観光についてのごみについては、有料化してもしていなくても起こる問題だと思います。現状具体的にこれだという対策はありませんが、そういう事情を踏まえながら、観光サイドと協議しながら進めていきたいと思います。
常盤野 中学校区	ごみを持ち帰ろうという意識は高くなっており、キャンプしたその場にはないけれども、帰る途中の集積所に入れている。それと、古紙とか廃品回収事業はここでもやっていますが、旧弘前市ではやっていますか。	再生資源回収運動は、どこでもやっていますし、頑張っているところはかなりの金額をもらっています。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
常盤野 中学校区	有料化は仕方がないと思う。名前とかも書くことになるのでしょうか。	まだ決まっていません。
常盤野 中学校区	全員書いてもらえば、排出者の責任も出て良いと思う。	現在でも町会によっては、ルールを決めて名前だと差し支えがあるので、番号を記入して出しているところはあります。
常盤野 中学校区	弘前は分別が大雑把過ぎると聞きますが、どうでしょうか。	県内で見ますと、分別の数は少なくはないです。そこまでは大雑把ではないと思いますけど、全国の中には４０分別とかありますけど、１７～１８万規模の人口で当市の分別数は普通だと思います。徹底しているかしていないかの差だと思います。
常盤野 中学校区	プラスチックが燃えるごみになったのが残念です。燃えるごみになるとダイオキシンはどうなりますか。	プラスチックは焼却効率がよくて熱にしやすい素材で、今の整備センターだと高熱で燃やすことができます。ダイオキシンは一定以上の温度で燃やすと出なくなるので、大丈夫です。後は、プラスチックを燃やせるごみにした経緯として、費用対効果の部分がありまして、確かに分けることによってリサイクル率には貢献しますが、実際に集めたプラスチックが全てリサイクルできていた訳ではありません。最近、プラスチックの素材が厚くなっていたり、何層にも重なっていたりして、集めてもリサイクルできない状況で、それを収集したり分けることにお金がかかっていました。
常盤野 中学校区	プラスチックについて、八戸や青森はどうですか。	八戸市は当市と全く同じです。青森市ではプラスチックは分けていますが、それは自治体の状況によって変わってきます。青森市では焼却施設に余力が無いため、とにかく燃やせるごみを減らさないといけないということもあります。なので、自治体の施設の状況や考え方で変わってきます。
相馬 中学校区	有料化なった時の袋は、大きさとかどうなるのでしょうか。	当市は現在、袋が決まっていなく、推奨の４０リットルの袋を使用していると思います。有料化や指定袋を決めている自治体は一般的には、４０リットル、２０リットル、１０リットル等、数種類作成しています。審

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		議会でも意見が出ているので、仮に有料化や指定袋というのを考えていくのであれば、より小さい袋も検討していかなければと思います。
相馬 中学校区	ごみが多く出ているということはわかるが、その分ごみを処理して売電し、県内で一番、売電収入を得ているじゃないですか。それがどれくらいになっているか知りたい。	ごみ処理経費が約３２億円で、売電収入は約１億円となっております。全体のごみ処理費用から見ますと、そこまででもないです。重要なのは、ごみを受け入れて売電するよりは、そもそものごみ処理経費を減らす方が一番重要です。
相馬 中学校区	理屈はわかりますよ。ただ、県内で一番の売電収入があるということはどうですか。	県内で一番だと思います。
相馬 中学校区	燃やせるごみが多いということですが、若い世代は賞味期限を気にしていることが多いのではないかと思う。まだ、食べられるのに捨てているのではないか。後は、水キリの周知ももっと必要だと思う。衣類の回収ボックスへ前に出したときにいっぱい入っていた。どれくらい回収しているのでしょうか。	当市では特に燃やせるごみが多く、今までの意見交換会でも過剰包装が多くてがんばっても減らせないのではないかという意見をいただいたが、実は生ごみの量が多いのでここを減らさないといけないです。以前、生ごみ水キリチャレンジモニターを実施し、約７パーセントの減量が見られました。これは水キリ器を使っての結果なので、単純にネットとかを使って搾るともっと減らせるため、１０パーセント程は減らせると考えています。次に、食品ロス、期限のお話ですが、国の示している情報だと、１世帯当たり年間１５，０００円くらいの食品ロスが出ています。こまめに期限をチェックしたり、これくらい損をしているということも周知していきたいと思います。衣類回収ボックスについては、平成２７年度につきましては約３１，０００キログラム、平成２８年度は回収場所を追加し、約４５，０００キログラム回収しています。
相馬 中学校区	１１月のときにもお話しましたが有料化には反対です。まずは事業系について再考し、家庭系については猶予を持って、色んな働きがけをするべき	ごみの量にカウントされて、リサイクル率にもカウントされています。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	だと思う。再生資源回収運動について集めたものはごみの量にはカウントされないのか。	
相馬 中学校区	有料化をするのであれば、毎戸収集をやめて町会ごととかにごみが多いところとかを把握して、多いところは有料化、少ない所は無料とかインセンティブをつけるべきだと思う。急に有料化とかされても、ごみを出さないように我々だと野焼きをしようとする考えになってもおかしくない。町会ごとに難しいということなのであれば、最低２６連合町会単位でも良いので区別してここはクリアしているとかなど、それくらいはしてもらいたい。	連合町会単位とかについても技術的に難しいです。まずは事業系に手をつけなければいけないということは意見を聞きながら感じており、それをしないで有料化というのは納得しないとは理解しています。ちなみに旧弘前市と、岩木地区、相馬地区では把握できており、岩木地区と相馬地区が悪いという状況になっています。
相馬 中学校区	先程、言われたとおりごみの量によって有料化するとかしないとかであれば賛成です。頑張っている地区と頑張っていない地区で同じというのはどうかと思う。そうやって分ければ悪いところも頑張ると思う。	３Ｒのうちのリユース、リデュースが上にあるような感じで、そもそものごみを減らすのが重要です。ただ、漠然とごみを減らすといってもわからないので、まずは分けるということをやって、資源物を適正に分けていくと残った燃やせるごみの内、例えばこれを買わなくてもよかったとか見直すことになります。そういったライフスタイルに働きかけていくことによって、減量に繋がっていくと考えています。なので、分けるということと、減らすということは全く違うことではありません。
相馬 中学校区	徳島の４０分別は減量に効果があるのか。	４０分別しても資源物もごみの量にはカウントされますので、直接的にはごみにはなってしまいます。ただ、４０分別することによって、燃やせるごみを見直すことによって要らないものを買わないようになったりすることで、長期的に見るとそういった自治体は減量に繋がっているのかなと思います。ごみを常に細かく分けていることで、常に見ているということになるので意識付けということで、ごみの減量が進んでいく

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		メカニズムはあると思います。
相馬 中学校区	山に捨てられた不法投棄は、土地の所有者が処理しなければいけないということは知ってはいるが、これはおかしいのではないか。そういうのを有料化になって手数料を取るのであれば回収してほしいと思う。そうしないと捨てられた人はたまったものじゃない。	有料化している自治体でもそういったお話は良くいただいており、いただいた手数料の一部を活用して、不法投棄対策をしている自治体はかなり多いと思います。あとは有料化の目的として、周辺の自治体では有料化しているところが多くて、その有料化している自治体から捨てられているという苦情が多く、今は町会や個人で処理してくださいと原則論をお願いしているところですが、それも含めてこのままで良いとは思っていませんので、処理する人が報われるような体制作りも必要だと考えています。また、不法投棄については、有料化する、しないに係わらず対策は考えていきたいと思います。
相馬 中学校区	不法投棄はこれから増えていくと思う。対策については講じていかないといけないと思う。個人的には処理してもらいたい。	それは、もちろん捨てられた人はそれでいいと思いますが、回収をしてしまうと捨てた人が捨て得になってしまう。市が積極的に回収するということになってしまえば、ますます捨てられるようになると思います。
相馬 中学校区	パトロールに来ている人ももうちょっと声掛けとかすればいいと思う。ただ通り過ぎるだけじゃなくて、情報を得た方が良いと思う。パトロールを見かけたことはあるが、声をかけられたことはない。山にいるような人に聞けば、もっと情報が集まると思う。不法投棄対策が一番重要だと思うので、個人任せにしないで、行政にももっとがんばってほしい。	何かしらの証拠が残っていて捕まえられれば良いのですが、これだという有効なものがなくて困っています。予算の範囲内で監視カメラを増やして、貸し出ししたいとは思っています。
相馬 中学校区	不法投棄の周知をがんばってもらいたい。	これをやれば無くなるというものはないので、今後もできることは地道にやっていきたいと思います。
南 中学校区	県外から転入されてくる人に、ごみの分別や資源化についてどういった	転入手続きの際に、ごみの分け方、出し方を渡しています。アパートに入る人も多い

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	説明をしているのか。	と思うので不動産会社を通してチラシを配布しています。
南 中学校区	転入手続きの際に、別室を設けて必ず説明と資料を渡しては如何か。	ごみだけではなく、様々な手続きがあると思うので意見を参考に検討させていただきたいです。
南 中学校区	平成１７年にごみの分け方・出し方の小冊子を出している。現在までにごみの区分も変わっている。新しい冊子を出す計画はあるか。２年前に推進員の委嘱状交付式に出た。その時も質問したが検討しますと回答があったが、その後何もない。	平成１７年以降、更新した冊子は出していません。推進員からも冊子を作ってほしいと要望が多いです。紙媒体だと経費がかかるので、経費がかからない方法として今年度からインターネットで５０音別に３，０００程の品目を載せています。その他、若年層向けに、スマートフォンアプリでごみの収集日をお知らせする等の取り組みも予定しています。また、インターネットは高齢者には扱いづらいという意見もあり、これまでの紙媒体での冊子についても予算要求していきたいと思います。
南 中学校区	経費の問題についてであるが、月２回の広報ひろさきが立派過ぎる。お金をかけて、ここまでして出す必要があるのか。広報の経費をごみ減量に回してはどうか。	担当部署が違うので詳しい内容は不明です。別の会議の中では同じような意見が出ています。新たな広報誌の発行方法については、発行回数やボリュームについて精査しています。
南 中学校区	昨年７月に出前講座を実施したが説明が一般的なものである。現在、緑の推奨袋を斡旋している。推奨袋を使わず、ダンボールで出す人もいる。ダメならダメと指導してほしい。	家庭ごみのルールとしては３段階になります。ルールが無く、何で出しても良い状態、袋が指定されている状態、指定の袋に対して手数料を加えた有料化の３つがあります。弘前市の場合は何もルールが無い状態である。町会連が出している袋を使うようにお願いはしているが、ルールとして固まっていません。ダンボールで出していても収集せざるを得ない状況です。最低でも指定袋は必要と考えます。全国でも９割、県内３６市町村で袋が決まっています。
南 中学校区	結論として、有料化になるまで混在したダンボールでも回収するということか。ダンボールに入れられると中身が見えない。推進員をやっているの	ダンボールへ入れる理由がカラス対策と言うが、ダンボール以外でもポリバケツでも収集しています。ダンボール以外に移行するように求めていかなければなりませ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	で、中身を点検しなければならない。	ん。袋を指定してこなかったのも事実で、推進員に苦労をかけてきたことも反省点です。
南 中学校区	高齢者は足腰が悪く、ごみ集積所まで持っていくのが大変である。デイサービスの際にヘルパーにごみを出してもらっている現状である。町会としてはごみの集積所をどこにするのか、どのように管理するのか苦慮している。集積所まで持っていく事ができない高齢者だけでも家の前に置いても良いのではないか。高齢者はお金も無く、わずかでも負担になるのは間違いない。減免措置が無いとのことだが、それで良いのか。また、ヘルパーは商売でやっているので、ヘルパーに出してもらったごみは事業系ごみになるのではないか。１人暮らしの高齢者にはごみ袋を配布してほしい。	ヘルパーが扱ったごみは、家庭系ごみと判断します。家庭系か事業系かについては、シニアパンション、老人ホームなど業を成している場合等は複合的に判断します。ヘルパーの場合は、普通に生活しても同じごみが出る考えで家庭系です。今後、人口減少も進み高齢者が増えてくると思います。ごみの集積所まで遠い、足腰が不自由な人に対して対策する必要があるのではないかということでごみ出し支援を検討しています。具体的には、高齢者を登録していただき、行政収集とは別に収集に出向く方法です。先進地である福島市を視察したが、結論としては経費がかかるので、費用対効果を総合的に判断しながら、検討を続けていきたいと思います。
南 中学校区	ごみ問題について、より強力に啓蒙していただきたい。教育の段階から進めていただきたい。厨芥ごみに関して、２～３年前に水きりモニターをやった。電動コンポスト、ダンボールコンポストの政策をやっているが、市民に徹底していないので、これらも進めていただきたい。環境問題、ごみ減量に真剣に向き合わないとごみは減らない。	ごみ減量の啓発活動を継続していかなければなりません。環境教育に関しては教育サイドとの打ち合わせ等行っていく必要があります。国の指導要領に沿った形で進めていきたいです。新たな事業として、生ごみが多く出る多子世帯に対し、水きり器具の配布を考えています。ごみに興味を持っている方は少ないので、興味をもっていない大部分に、いかに知ってもらうかが大事です。意見交換会や会合に伺って説明する機会を増やすことが大事だと考えます。
南 中学校区	インターネット光の普及率が全国で青森県が最下位である。県内でも、青森市、八戸市、弘前市で比べると弘前市が一番低い。事業所系のＬＡＮシステム構築はどうなっているのか。普及率が上がると紙を減らせるのではないか。	普及率は不明です。事業所訪問の際に見ると、伝票等紙で行っていることが多いです。市役所でもタブレットを使用して、会議を行う取り組みも始まっています。他のオフィスにも広げていけるように、事業所訪問で紹介することは、参考にさせていただきます。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
南 中学校区	ごみ減量の目標値を達成すれば、有料化はしないのか。有料化は既に世の流れである。市でも検討中と言っているが既定路線だと思う。有料化宣言をしてしまうべきである。そうすることで、ごみに向き合う人が増えてくると思う。	一般廃棄物処理基本計画の中で、家庭系ごみについて９５グラムの削減を目指しています。この削減量を達成するために、家庭系ごみの有料化を位置付けています。逆に言えば目標値を達成できれば有料化は必要無いことになります。定例記者会見でもお示ししたが、意見交換会の意見を踏まえ、早い段階で方針を出すとしています。
南 中学校区	事業系ごみとはどういったものか。	事業系については大きな会社をイメージすると思うが、店舗兼住宅についても店舗部分は事業系、住居部分については家庭系となります。家庭系か事業系か、はっきりわからない場合もあります。事業活動に伴うものであれば、事業所の大小は問わず事業系ごみと判断しています。事業所から出るごみは事業系一般廃棄物と産業廃棄物に分けられます。燃やせるごみ以外の不燃物、プラスチック等は産業廃棄物となります。
南 中学校区	事業所から出たごみは、家庭系ごみと同じく運ばれているのか。	事業所から出るごみは、事業者が焼却施設に搬入するか、収集運搬業者にお金を払って処理することになります。家庭系ごみとは別なルートです。収集運搬の段階は事業者の費用、処理の段階は処分量を頂くが、市が負担して処理しています。
南 中学校区	事業系ごみが１．８倍も多いのであれば、まずは事業系ごみを厳正にすべきである。食品を余計に作ったのは事業者の責任である。家庭系ごみ有料化は賛成であるが、事業所にも厳しくするべきである。	１１月に実施した意見交換会、１月から実施している意見交換会でも事業系ごみが当市のごみが低迷している要因であると意見をいただいています。現状では、家庭系ごみは無料、事業系ごみは有料で、１０キログラムごとに１００円いただいています。昨年から料金を倍にしています。また、清掃工場に持ち込まれたごみをチェックし、事業所訪問も行っています。平成２６年度実績で４０市町村中最下位となっているが、平成２７年度実績で最下位は脱出しました。県内で当市が一番ごみの排出量が減少しています。しかしながら、事業所のごみは多い

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ので更に減らせるように努力したいと思います。
南 中学校区	家庭系ごみ及び事業系ごみともに大型ごみが多いとあるが、大型ごみとは何か。	市の定義では、可燃性、不燃性のもので４５センチメートル以上の物が大型ごみになります。他市町村に比べて多く、３市で大型ごみを有料化していないのは、当市だけというのも多い要因です。
南 中学校区	大型ごみを収集した場合の処理はどうなっているのか。なぜ多いのか。	焼却施設で処理できる制限が４５センチメートルとなっているため、焼却施設で４５センチメートル以下に砕いて焼却しています。青森市は８００円、八戸市は５００円で有料になっているので、出来るだけ砕いて袋に入れた方が安いです。大型ごみとして出さない習慣があると思います。当市は集積所に出すと無料なので、ほとんど値が付かない物をわざわざリサイクルショップに持っていかない現状です。
南 中学校区	資料に大型ごみ２００円～８００円の手数料とあるが、どうやってお金を徴収するのか。	青森市や八戸市で行っている大型ごみの手数料徴収方法は、スーパー、コンビニで処理券シールを売っています。シールを購入すると自動的に手数料を収めたことになります。買ったシールを大型ごみに貼り付けて、自宅の前に出すと収集されます。
南 中学校区	分別が面倒だという意見があるが、もっとわかりやすくする方法はあるか。	紙類について、その他の紙と雑紙の２つの区分がわかりづらいと思います。分別の見直しを検討しています。
南 中学校区	近隣市町村の分別方法は同じか。	当市にならっているのがほとんどだが、その他プラスチックを分別しているところもあります。平川市は拠点回収としています。藤崎町の旧常盤は黒石清掃施設組合へ搬入している等の関連もあって、違う部分もあります。
南 中学校区	産業廃棄物のマニフェストのようなもので、ごみの帳簿を提出させるなどを事業所に求めるといった方策は考えているか。	ごみ収集業者については、許可を出す際に帳簿を作成させ、保有する義務があります。付議部分については随時拡充しています。事業所訪問の際に意識づけできればと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
南 中学校区	他の市町村ではごみの量は減っているのか。	人口が減っているので、焼却施設に搬入されるごみの量は年々減ってきています。当市の１人当たりのごみの量は、平成２５年をピークに減少傾向です。周辺市町村はあまり変わっていません。
南 中学校区	板柳町が平成１３年に有料化実施して２～３年は効果出ているが、以降、右肩上がりに増えてきた。原因はあるのか。	リバウンド現象というのが学説的に固まっています。手数料の料金水準が低い場合にリバウンドすると言われています。ごみ袋の料金が高くなることで最初はごみを減らそうとするが、徐々に負担を感じなくなり、元に戻ります。１リットルあたり、０．３３円まではリバウンドが起きやすいです。県内で見ると、板柳町、鶴田町は手数料水準が低いです。０．６７円以上は安定した減量数値を保っています。八戸市は平成１３年から有料化をしているが、更に下がっています。有料化だけではなく、減量方法を周知していかないとリバウンドします。
南 中学校区	ごみ袋には市町村名が記載されるのか。	有料化した場合は手数料を取ることになるが、条例で位置づけることが必要となります。効果をもたらすためには、袋には市名の記載が必要と思われます。
南 中学校区	環境管理課で販売するのか。	販売方法も様々あります。市民の利便性を考えるとスーパーやコンビニで販売するのが一般的です。
南 中学校区	資料２７ページの新たな取り組みに、市民が利用しやすいごみ集積所のあり方とあるがどのようなことか。	場所の制約もあって集積所を置けないところや、カラス対策を理由にダンボールで出している現状を解消するため、折りたたむことができる収納枠もごみ集積所設置補助の範囲として考えています。
南 中学校区	ひとり親世帯、貧困世帯へボランティアで食材を配ると聞いたことがあるが、弘前市で活動している団体はあるか。	フードバンクに関しては市内では存在しません。ある施設では余った食材を提供しているケースもあります。
南 中学校区	コンビニ、スーパーで処分する前に、提供することはできないか。弘前市で組織を作るとしたら、部署はどこ	環境部署でやっているところもあるが、福祉部署でやっているところが多いです。検討していきたいと思います。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	になるのか。	
東 中学校区	ごみ袋が指定となれば、ダンボールや米袋でのごみ出しはできないことになるのでしょうか。	袋が指定になりますと、今までカラスに荒らされる等でダンボールを利用したり、米袋を利用して出したものは収集しません。例えば、ダンボールであれば、ダンボールの収集日に出していただきます。カラス対策のためにダンボールを利用していたということであれば、ポリバケツを用意していただいて出してもらいたいと思います。
東 中学校区	ポリバケツを置くのは構わない。もう一つ考えてもらいたいのは、枝とかであればダンボールや米袋は破けないため利用価値がある。	剪定枝は袋に入れるのが難しいので、今までどおり袋に入れない等の検討が必要だと思います。今現在、有料化や指定袋制度についても決まっていませんので、方向性を決めてから対応を考えていきたいと思います。
東 中学校区	弘前市民は分別に関してそれなりにやっていると思うのですが、どうですか。	当市はリサイクルされる量は多いですが、燃やせるごみも多いです。特に生ごみが多く、未使用の食品も多いです。水きり等の３キリ運動をしてもらえれば減らすことはできます。
東 中学校区	燃やせるごみに雑がみを入れていますが、雑がみの扱いはどうすれば良いですか。	みなさんにごみの出し方・分け方というのが配付されていると思いますが、古紙類のところに雑誌・雑がみというのがあると思います。雑がみは燃えるごみではなくて、雑誌・雑がみの日に出していただきたいです。よく、市民のみなさんからどれが雑がみなのかと聞かれますので、この辺に関しては市として周知不足かと思います。分別についてわかりやすいものを、周知していきたいと思います。
東 中学校区	ごみの有料化については十数年前も話題になりました。ですがその時は取り止めになったそうです。取り止めになった理由についてですが、一つは税金の二重取りになるのではないか、もう一つはプライバシーを侵害するのではないか。私が記憶しているのは	税金の二重取りについては、現在、当市の処理経費は３２億円かかっています。有料化したとしても、３２億円を賄う事はできないです。１～２億円の収入になるくらいです。有料化については、それで経費を賄うということではなくて、ごみを減らしていこうという動機付けのためです。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	その二つの理由で取り止めになったと思っている。この問題は解決されたのでしょうか。	
東 中学校区	ごみの経費については、市町村の実態に応じて国が補助を出すべきである。プライバシーの侵害は非常に大変な問題で、袋に個人の名前を書くわけですよね。有料化なった場合にはこのプライバシーに関して特に配慮する必要があると思う。もう一つ、現在ごみの収集に関して２つの方法で回収していると思います。ステーション方式、毎戸方式があると思います。有料化なった場合はどの方法で収集するのでしょうか。	他の自治体を参考にしますと、欄は設けておりますが名前を書くかどうか、番地を書くかどうかとかもその町会で決めているようにしているところがありますので、そういったのを参考に有料化や指定袋制度を実施する際は検討していきたいと思います。有料化する、しない関わらず、毎戸収集は止める方向で計画を立てています。ただ、旧市街や道路の狭い地区は集積所を確保する場所が無いということで、どうしても止められない所もあります。
東 中学校区	ごみ袋の有料化には賛成です。ですが、袋の強度をいくらあげても破れます。実家の平川市で使っています。確かに大きい袋と小さい袋があります私個人は生ごみをほとんど出していません。コンポストを使っています。剪定枝は細かくして出していますが、破れるので袋を二重にして出している。後は、田園町会では４ヶ所道路維持課のところに集積所を設けている。実際は道路維持課では困ると言われる。環境管理課のほうに相談しても不透明な答えしかいただけない。町会でがんばろうと言うときに市で対応できないと言われると毎戸収集にしてもらわないといけないと感じている。なので、環境管理課と道路維持課でもう少し話し合ってほしい。	道路維持課では道路として作ったところに、ごみの集積所を置くということは交通の妨げになるとか、目的以外の使用になるということで、許可が必要になります。現在こちらで検討しているもので、折りたたみ式の集積ボックスがあります。ごみを出すときに広げてもらうと箱状になり、収集が終わったら畳める邪魔にならないようなものです。貸し出しを行っており、好評です。
東 中学校区	アパートが多くて、そこの住民が出しているごみが回収されず残っていることが多い。市の方から何とか指導できないものか。	アパート専用の集積所がなくて勝手に置いて行くという相談を良く聞きます。そういった場合は、環境管理課に相談してもらえれば大家さんや不動産会社にお話してい

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
		ます。
東 中学校区	以前ダンボール出しをしていた人に、ダンボールの日に出すようにと注意をして、わかってくれたようであったが、また、燃えるごみの日に出していた。喧嘩になってもあれなのでどうしたものでしょう。	ダンボール出しをしている人については、相談してもらえれば、こちらの方で直接対応することは可能ですので相談ください。
東 中学校区	国が有料化により税金の二重取りを認めたのであれば、国からもお金をもらうべきではないか。次に昔は量り売りをしていたが、今はスーパーなどで過剰包装していることが多いのでごみが出るのは当たり前であり、ごみが出る一番の要因だと思っている。メーカー等からごみ処理費用を負担してもらえないか検討すべきである。	ごみに関しては地方交付税の対象になっていますので、国からお金をもらえばいいという話はもうもらっています。過剰包装についても当市だけが多いわけではなく、全国でも同じです。当市が指定の袋が何もないということもあり出しやすいというのが、ごみの量が多い原因なのではないかと思います。
東 中学校区	食品リサイクルを進めていく計画はあるのでしょうか。あと、減量化・資源化と有料化はイコールではないと思います。後、答申で有料化によりごみの量が減るだろうということですが、一時的には減ると思います。しかし不法投棄も増えるでしょう。後、手数料の使途についてもどういうことに使うのか。後は、缶・ビン等については有価物ということで販売していると思いますが収入についてはどれくらいなのか知りたい。	例えば、現時点で当市が大型の堆肥化施設を作る等は考えていません。そういった堆肥化をやっているような会社がある自治体であればやりやすいとは思います。そこについては、今後の研究課題だと思っています。有料化については、あくまで意識付けの一つであって、それだけで減るとは思っていません。有価物の収入についてですが、缶が２，８００万円、スチールについては３００万、ビンに関しては逆に集めるお金が取られており、紙パックが２７万、ダンボールが８００万、その他紙が２５０万、ペットボトルは１，１００万という収入が入っております。これは、当市に入ってくるお金ではなく、弘前地区環境整備事務組合の収入になっています。当市もごみを燃やすため事務組合にごみの量に応じて負担金を払っています。そして先程の収入を相殺した残りの分を支払っています。
東 中学校区	最終日ということで、これまで出された意見がまとまっているのがあれ	これまで出された意見として、家庭系ごみより事業系ごみの方が悪いのだから、も

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	ば教えてほしい。	っと事業系の方に対策をするべきではないかとか、生ごみ処理機の補助をするべきではないかとか、家具とかの大型ごみのリユースを検討すべきではないか。後は、アパートに住んでいる人や、学生のごみ出しが悪いので対策が必要とか、どうやって減量すればよいのかわからないとか、仮に有料化すればどれくらいの負担になるのか、ごみが減れば有料化しないのかというような様々な意見がありました。
東 中学校区	資源ごみについて、リサイクルしてもごみなのかそうではないのか確認したい。	環境省のカウントの仕方で、資源物もごみにカウントされています。例えば、ペットボトルとかその他の紙とか分別したとしても環境省の数え方ではごみになってしまいます。分別したから、ごみじゃないというのは、そうではないということになります。事業系の方であれば、オフィス町内会というのがあり、そちらは行政を通さないのでごみにはカウントされません。行政が手をかけたものはカウントされますので、分別をして古紙リサイクルセンター等に直接持っていってもらえればそれはカウントされません。
東 中学校区	再生資源回収運動で集めたものはカウントされているのでしょうか。	市が関与しているということでカウントされています。
東 中学校区	それであれば資源ごみは集めれば集めただけ意味がないということなのか。環境省が何と言っていてもそこは切り離すべきだ。	このルールは弘前市だけでやっているわけではなく、全国共通のルールでやっています。そのルールの中で当市が多いです。他の自治体は同じルールの中でごみを減らしていっているので、こちらも検討しています。
東 中学校区	確かにで県や全国平均から見る排出量は多いが、平成１８年から見るとがんばって減ってきている。下がってきているのに有料化をするのはおかしいのではないか。	ごみの減量に有料化が有効であると答申がでているが、有料化が決まっているわけではありません。

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
東 中学校区	弘前市民のごみ出しは意識が低いと思う。埼玉から１年前から来ているが、弘前市は大型ごみを無料で持っていきますよね。埼玉は有料です。コンビニで３００円くらいのシールを買って貼って取りに来てもらっている。後は、弘前市がワーストだとかは役所の人とかはわかっているかもしれませんが、市民がどれくらい知っているかということです。3キリについても私はあることがきっかけで知りましたけど、知らない人は多いと思う。そういうことが浸透していないと思う。草取りについても何日か干しておけば土も取れるしカラカラになります。そういう努力をこちらの人はしていないと思う。細かいことまで考えられるようにならないと減量にならないと思う。自分さえ良ければ良いと思う人が多いと思う。特に町会に入っていればそういう話もあるが、アパートの人たちはそういうことをスルーしていますよね。そういう人たちにわかってもらえないと意味がない。	１２分別をしたときは全国でも先進的な取組だったと思います。ただ、全体的な経費とかを考えたときに、分別を増やせばその分経費がかかります。収集日が増えたり、収集車が多く必要になったりしてお金がかかります。リサイクルもやればやるだけお金はかかっていきます。プラスチックもだんだん複雑化しており、せっかく分けてもらっても全部がリサイクルに回りません。リサイクルに回るプラスチックというのはお金になりますが、リサイクルできないプラスチックは燃やすしかありません。となれば、せっかくみなさんに分けてもらったものを燃やすのはもったいないし、お金もかかるのであればやめた方が良いということで前はそういう決断になりました。当時は意識が高かったと思いますが、他は有料化もしており、ごみというのを意識的に考えることが多いと思います。ルール作りを決めて、みんなで減量を進めていきたいと考えています。
東 中学校区	私は意識が低いという方に賛成です。町会長をやっており、集積所を順番で掃除をしているがとてもじゃないが汚くて仕方がなかった。これはたまったものじゃないということで、出前講座をお願いして勉強した。そして、最初は古紙類が車の後ろに収まる程度しか集まらなかったものが、今は軽トラック２台分集まるようになり、月２回行っている。おかげさまで報奨金を市からたくさんいただいている。７～８年かかって、やっと意識は高まってきたのかなと思う。となりの町会とかを見るとひどい状況だと思う。こ	未回答

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	れは意識が低いからですよ。これは甘んじなければならない。	
東 中学校区	燃やすごみが多いということですが、ドイツではそもそも燃やす文化がないそうです。なので、日本の燃やすという文化が先進国として遅れている。ドイツでは回収ボックスも多く資源化率が非常に高いです。ですからこういった議論はそもそもドイツでは出てきません。そこで、燃えるごみの内訳について聞きたかったのですが、例えば我が家の事例を紹介しますと、ごみとしましては食べ残しというのは無いように努めていますけど、ただトレイとかですね我々が否応なしに持ってきてしまうものについては結構ありますので、１０日に１回くらいはごみを出しています。資源物については回収しているところに持って行きます。なので、有料化で抑制していくようなことではなくて、もっと市民がリサイクルに補助金とかインセンティブを与えて取り組めるようにしてほしい。市民が取り組めばプラスになるような形でごみ問題を解決してもらいたい。	意見を参考に検討させていただきます。
東 中学校区	町会に対する補助が少ないと思う。アパートの話とかもありましたけど、町会にはほとんど入っていないと思います。それでトラブルになることもあります。困っているのは末端の町会の方です。町会は予算も少ないがやることは多く、ここにいる町会長さんについては苦労していると思いますし、中には死ぬまで辞められなかったという人もいます。例えば古紙類についても、私たちの町会はやっていませんが、補助金がもっとでればそのお金で	推進員については、制度の見直しを検討しています。本来の仕事として、不適正排出があれば適性に分けてもらって出し直してもらったり、集積所を清潔にしてもらう仕事が一つです。他には何をやってもらうのか、報奨金はいくらにするのかとか今新たに検討している段階です。他の地区からの持込に関しては、有料化した自治体の話を聞きますと、有料化したからといって不法投棄が増えたという話は聞かないです。集積所の管理費については、難しいと思います。市内に集積所が約４，５００ヵ所あり結

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
	集めてとかもやれると思いますし、そういったインセンティブを与えて町会を活発化させてごみの減量に繋がるような取り組みをしてもらいたい。	構な額になってしまう。そもそも自分たちで管理している集積所は自分たちで綺麗にするということになっております。もちろん丸投げということではなくて、ご相談いただければ対応いたします。
東 中学校区	ごみの集積所についてですが、平川から来ている人が途中の集積所に捨てていく問題があり、市役所と交番にお願いして追及してごみを持ち帰っていってもらった。中に子どもの通知表とかが入っていたのでわかった。有料化をすればこういう違反ごみが増えると思う。その後始末は町内会でやっている。その苦労を考えれば、ごみ集積所１軒につき何千円とか補助金を検討してもらいたい。推進員の手当て必要か。無くてもいいと思う。	他の地区からの持込に関しては、有料化した自治体の話を聞きますと、有料化したからといって不法投棄が増えたという話は聞かないです。集積所の管理費については、難しいと思います。市内に集積所が約４，５００ヵ所あり結構な額になってしまいます。自分たちで管理している集積所は自分たちで綺麗にするということになっております。もちろん丸投げということではなくて、ご相談いただければ対応いたします。

以上